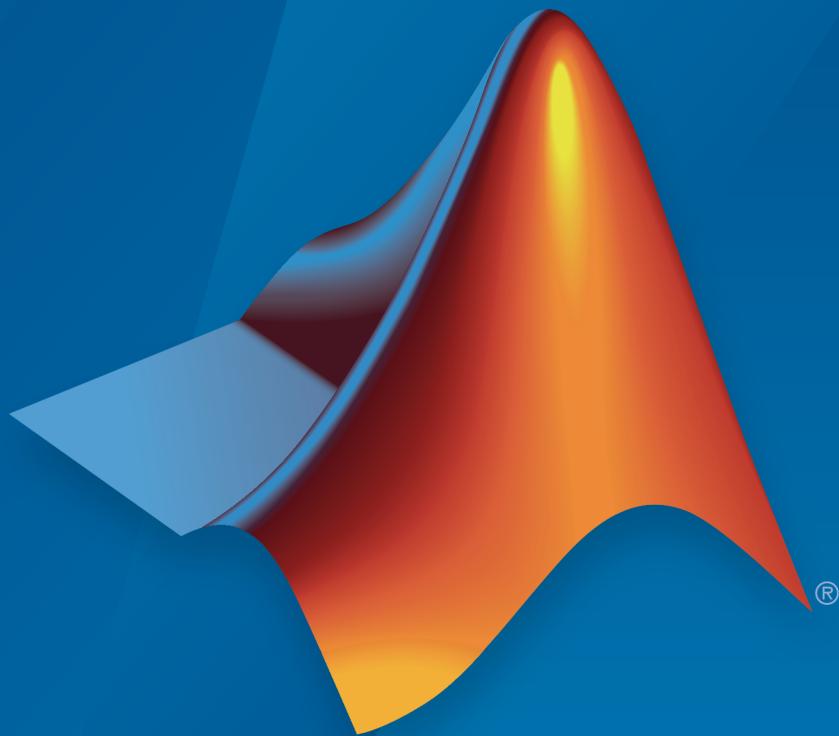


インストール、ライセンスおよびアクティベーション インストール ガイド



MATLAB® & SIMULINK®

R2015b

 MathWorks®

MathWorks へのお問い合わせ



最新情報: www.mathworks.com

営業およびサービス: www.mathworks.com/sales_and_services

ユーザー コミュニティ: www.mathworks.com/matlabcentral

テクニカル サポート: www.mathworks.com/support/contact_us



代表番号: 03-6367-6700



The MathWorks GK
〒107-0052 東京都港区赤坂4丁目15-1
赤坂ガーデンシティ 7F

インストール ガイド

© COPYRIGHT 1996–2015 by The MathWorks, Inc.

The software described in this document is furnished under a license agreement. The software may be used or copied only under the terms of the license agreement. No part of this manual may be photocopied or reproduced in any form without prior written consent from The MathWorks, Inc.

FEDERAL ACQUISITION: This provision applies to all acquisitions of the Program and Documentation by, for, or through the federal government of the United States. By accepting delivery of the Program or Documentation, the government hereby agrees that this software or documentation qualifies as commercial computer software or commercial computer software documentation as such terms are used or defined in FAR 12.212, DFARS Part 227.72, and DFARS 252.227-7014. Accordingly, the terms and conditions of this Agreement and only those rights specified in this Agreement, shall pertain to and govern the use, modification, reproduction, release, performance, display, and disclosure of the Program and Documentation by the federal government (or other entity acquiring for or through the federal government) and shall supersede any conflicting contractual terms or conditions. If this License fails to meet the government's needs or is inconsistent in any respect with federal procurement law, the government agrees to return the Program and Documentation, unused, to The MathWorks, Inc.

商標 (英語)

MATLAB and Simulink are registered trademarks of The MathWorks, Inc. See www.mathworks.com/trademarks for a list of additional trademarks. Other product or brand names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

特許 (英語)

MathWorks products are protected by one or more U.S. patents. Please see www.mathworks.com/patents for more information.

改訂履歴

1996 年 12 月	初版	MATLAB 5.0 新版 (Release 8)
1997 年 5 月	第 2 版	MATLAB 5.1 改訂版 (Release 9)
1998 年 3 月	第 3 版	MATLAB 5.2 改訂版 (Release 10)
1999 年 1 月	第 4 版	MATLAB 5.3 改訂版 (Release 11)
1999 年 11 月	第 5 版	MATLAB 5.3.1 改訂版 (Release 11.1)
2000 年 11 月	第 6 版	MATLAB 6.0 改訂版 (Release 12)
2001 年 6 月	第 7 版	MATLAB 6.1 改訂版 (Release 12.1)
2002 年 7 月	第 8 版	MATLAB 6.5 改訂版 (Release 13)『インストール ガイド Windows 版』と名称変更
2004 年 6 月	第 9 版	MATLAB 7.0 改訂版 (Release 14)
2004 年 10 月	第 10 版	MATLAB 7.0.1 改訂版 (Release 14SP1)
2005 年 3 月	第 11 版	MATLAB 7.0.4 改訂版 (Release 14SP2)
2005 年 9 月	第 12 版	MATLAB 7.1 改訂版 (Release 14SP3)
2006 年 3 月	第 13 版	MATLAB 7.2 改訂版 (Release 2006a)
2006 年 9 月	第 14 版	MATLAB 7.3 改訂版 (Release 2006b)
2007 年 3 月	オンラインのみ	MATLAB 7.4 改訂版 (Release 2007a)
2007 年 9 月	オンラインのみ	MATLAB 7.5 改訂版 (Release 2007b)
2008 年 3 月	オンラインのみ	MATLAB 7.6 改訂版 (Release 2008a)
2008 年 10 月	オンラインのみ	MATLAB 7.7 改訂版 (Release 2008b)
2009 年 3 月	オンラインのみ	MATLAB 7.8 改訂版 (Release 2009a)
2009 年 9 月	オンラインのみ	MATLAB 7.9 改訂版 (Release 2009b)
2010 年 3 月	オンラインのみ	MATLAB 7.10 改訂版 (Release 2010a)
2010 年 9 月	オンラインのみ	MATLAB 7.11 改訂版 (Release 2010b)『インストール ガイド』と名称変更
2011 年 4 月	オンラインのみ	MATLAB 7.12 改訂版 (Release 2011a)
2011 年 9 月	オンラインのみ	MATLAB 7.13 改訂版 (Release 2011b)
2012 年 3 月	オンラインのみ	MATLAB 7.14 改訂版 (Release 2012a)
2012 年 9 月	オンラインのみ	MATLAB 8.0 改訂版 (Release 2012b)
2013 年 3 月	オンラインのみ	MATLAB 8.1 改訂版 (Release 2013a)
2013 年 9 月	オンラインのみ	MATLAB 8.2 改訂版 (Release 2013b)
2014 年 3 月	オンラインのみ	MATLAB 8.3 改訂版 (Release 2014a)
2014 年 10 月	オンラインのみ	MATLAB 8.4 改訂版 (Release 2014b)
2015 年 3 月	オンラインのみ	MATLAB 8.5 改訂版 (Release 2015a)
2015 年 9 月	オンラインのみ	MATLAB 8.6 改訂版 (Release 2015b)

インストールおよびアクティベーションの手順

1

インストールおよびアクティベーション	1-2
MATLAB 学生用ソフトウェア	1-3
MATLAB 学生用ソフトウェア ポリシー	1-3
MathWorks アカウントを使用する製品のインストール	1-4
インストール前の準備	1-4
手順 1: インストーラーの起動	1-6
手順 2: MathWorks アカウントを使用するインストール	1-7
手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認	1-10
手順 4: 自分の MathWorks アカウントへのログイン	1-11
手順 5: インストールするライセンスの選択	1-14
手順 6: インストール フォルダーの指定	1-16
手順 7: インストールする製品の指定	1-18
手順 8: インストール オプションの指定	1-19
手順 9: 選択内容の確認	1-21
手順 10: インストールの完了	1-22
既存のインストールへの製品の追加	1-24
既存のインストールのアップグレード	1-25
MathWorks アカウントを使用するインストールのアクティベーション	1-26
手順 1: アクティベーション アプリケーションの起動	1-26
手順 2: 自動アクティベーションまたは手動アクティベーションの選択	1-27
手順 3: 自分の MathWorks アカウントへのログイン	1-29
手順 4: ライセンスの選択	1-32
手順 5: アクティベーション タイプの選択	1-33
手順 6: ユーザー名の指定	1-34
手順 7: アクティベーション情報の確認	1-36
手順 8: アクティベーションの完了	1-37

ファイル インストール キーを使用した製品のインストール	1-39
インストール前の準備	1-39
手順 1: インストーラーの起動	1-41
手順 2: ファイル インストール キーを使用するインストール	1-42
手順 3: ライセンス許諾書の確認	1-43
手順 4: ファイル インストール キーの指定	1-43
手順 5: インストール フォルダーの指定	1-45
手順 6: インストールする製品の指定	1-46
手順 7: インストール オプションの指定	1-47
手順 8: 選択内容の確認	1-49
手順 9: インストールの完了	1-50
インターネットを使用しないインストールのアクティベーション	1-52
手順 1: アクティベーションの開始	1-52
手順 2: ライセンス ファイルのパスの指定	1-53
手順 3: アクティベーションの完了	1-54
インストール管理の作業	1-55
MATLAB ソフトウェアの起動	1-55
ライセンスの更新	1-56
MATLAB 起動フォルダーの設定	1-56
MATLAB 環境オプションの設定	1-56
MATLAB ソフトウェアに関する情報ソース	1-57
MathWorks 製品のアンインストール	1-58
Windows システム上の製品の削除	1-58
Linux システム上の製品のアンインストール	1-60
Mac OS X システム上の製品のアンインストール	1-60
インストールのアクティベーションの停止	1-62
システム要件	1-67

2

ライセンス管理者向けのインストール

ライセンス管理者向けのインストール手順	2-2
---------------------------	-----

個々のコンピューターへのインストール	2-3
はじめる前に	2-3
手順 1: インストーラーの起動	2-3
手順 2: ログイン オプションの選択	2-5
手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認	2-7
手順 4: 自分の MathWorks アカウントへのログイン	2-7
手順 5: [インストール] の選択	2-8
手順 6: ライセンスの選択	2-9
手順 7: インストール フォルダーの指定	2-10
手順 8: インストールする製品の指定	2-11
手順 9: 選択内容の確認	2-13
手順 10: インストールの完了	2-13
アクティベーション	2-14
 インストールを後で行う場合の製品のダウンロード	2-15
はじめる前に	2-15
手順 1: インストーラーのダウンロードおよび起動	2-15
手順 2: ログイン オプションの選択	2-16
手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認	2-18
手順 4: 自分の MathWorks アカウントへのログイン	2-18
手順 5: [ダウンロードのみ] オプションの選択	2-19
手順 6: ダウンロード フォルダーとプラットフォームの指定	2-20
手順 7: ダウンロードする製品の指定	2-21
手順 8: 選択内容の確認	2-22
手順 9: ダウンロードの完了	2-23
ダウンロードしたソフトウェアのインストールおよびアクティベーション	2-24

ネットワーク ライセンス オプションのインストール

3

ライセンス ファイルについて	3-2
ライセンス ファイルの説明	3-2
ライセンス ファイルの検索パス	3-2
 ネットワーク インストールの計画	3-4
ネットワーク インストールの設計	3-5
 推薦されるインストール手順	3-9

ファイル インストール キーを使用したライセンス マネージャーのインストール	3-10
インストール前の準備	3-10
手順 1: インストーラーの起動	3-13
手順 2: [ファイル インストール キーを使用する] の選択	3-14
手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認	3-15
手順 4: ファイル インストール キーの指定	3-15
手順 5: インストール フォルダーの指定	3-16
手順 6: インストールに使用するライセンス マネージャーの選択	3-17
手順 7: ライセンス ファイルの場所の指定	3-18
手順 8: ライセンス マネージャーの設定: Windows システムのみ	3-19
手順 9: 選択内容の確認	3-20
手順 10: インストールの完了	3-21
 MathWorks アカウントを使用したライセンス マネージャーのインストール	3-22
インストール前の準備	3-22
手順 1: インストーラーの起動	3-25
手順 2: [MathWorks アカウントでログインする] の選択	3-26
手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認	3-28
手順 4: 自分の MathWorks アカウントへのログイン	3-28
手順 5: インストール オプションの選択	3-29
手順 6: インストールするライセンスの選択	3-30
手順 7: インストール フォルダーの指定	3-31
手順 8: インストールに使用するライセンス マネージャーの選択	3-32
手順 9: ライセンス ファイルの場所の指定	3-34
手順 10: ライセンス マネージャーの設定: Windows システムのみ	3-34
手順 11: 選択内容の確認	3-35
手順 12: インストールの完了	3-38
 ライセンス マネージャー デーモンのダウンロード	3-39
 クライアントへの製品とライセンス情報の提供	3-40
 クライアント システムへの MathWorks ソフトウェアのインストール	3-41
インストール前の準備	3-41
手順 1: インストーラーの起動	3-43
手順 2: インストール方法の選択	3-45
手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認	3-46
手順 4: ファイル インストール キーの指定	3-46
手順 5: 自分の MathWorks アカウントへのログイン	3-47
手順 6: インストールするライセンスの選択	3-50
手順 7: インストール フォルダーの指定	3-51
手順 8: インストールする製品の指定	3-52
手順 9: ライセンス ファイルの場所の指定	3-54

手順 10: インストール オプションの指定	3-54
手順 11: 選択内容の確認	3-56
手順 12: インストールの完了	3-59
 ライセンス マネージャーでの作業	3-60
ライセンス マネージャーの起動	3-60
Linux システムでライセンス マネージャーを自動的に起動するための 設定	3-61
ライセンス マネージャーの管理	3-62
 非対話モードのインストール (サイレント インストール)	3-66
非対話モードのインストールを使用する状況	3-66
インストーラー プロパティ ファイルの使用	3-66
 非対話モードでのアンインストール	3-68

トラブルシューティング

4

インストール中の問題	4-2
インストーラーが自動的に起動しない	4-2
製品の依存関係のメッセージが表示される理由	4-2
プロキシ サーバーの設定を指定する方法	4-2
MathWorks アカウントなしでアクティベーションを行う方法	4-3
 インストール後の問題	4-5
ライセンス マネージャーでエラーが発生する意味	4-5
ライセンス マネージャー デーモンへのアクセスを許可する方法	4-5

インストールおよびアクティベーションの手順

この章では、コンピューターに MathWorks® 製品をインストールし、インストールのアクティベーションを行う方法を説明します。

- ・ 「インストールおよびアクティベーション」(p. 1-2)
- ・ 「MATLAB 学生用ソフトウェア」(p. 1-3)
- ・ 「MathWorks アカウントを使用する製品のインストール」(p. 1-4)
- ・ 「既存のインストールへの製品の追加」(p. 1-24)
- ・ 「既存のインストールのアップグレード」(p. 1-25)
- ・ 「MathWorks アカウントを使用するインストールのアクティベーション」(p. 1-26)
- ・ 「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」(p. 1-39)
- ・ 「インターネットを使用しないインストールのアクティベーション」(p. 1-52)
- ・ 「インストール管理の作業」(p. 1-55)
- ・ 「MathWorks 製品のアンインストール」(p. 1-58)
- ・ 「インストールのアクティベーションの停止」(p. 1-62)
- ・ 「システム要件」(p. 1-67)

インストールおよびアクティベーション

MathWorks インストーラーを使用すると、次のオペレーティング システムのいずれかを実行しているコンピューターに MathWorks 製品をインストールしてアクティベーションを行うことができます。

- Microsoft® Windows® オペレーティング システム (32 ビットまたは 64 ビット)
- Linux® オペレーティング システム (64 ビット)
- Mac OS X オペレーティング システム

一般的なシナリオの詳しい手順は、以下のトピックを参照してください。

- 「MathWorks アカウントを使用する製品のインストール」(p. 1-4)
- 「MathWorks アカウントを使用するインストールのアクティベーション」(p. 1-26)
- 「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」(p. 1-39)
- 「インストール管理の作業」(p. 1-55)
- 「MathWorks 製品のアンインストール」(p. 1-58)
- 「インストールのアクティベーションの停止」(p. 1-62)
- 「システム要件」(p. 1-67)

これらの手順は、インディビジュアル ライセンスまたはグループ ライセンスを保有している場合に使用してください。ネットワーク ライセンス オプションの設定の詳細は、「ネットワーク ライセンス オプションのインストール」を参照してください。

MATLAB 学生用ソフトウェア

エンジニアリング、科学、数学、金融学を勉強中の方には、MATLAB® 学生用ソフトウェアは不可欠の技術計算リソースです。

MATLAB 学生用ソフトウェアには、世界有数の大学、研究所、技術系企業、政府研究機関において活躍する技術者、科学者、数学者が使用している、MATLAB および Simulink® 両方のフル機能バージョンが含まれています。MATLAB 学生用ソフトウェアには、その他にも複数の MathWorks アドオン製品が含まれており、信号処理、制御設計、統計、最適化、シンボリック計算などの分野における学習課程で役立ちます。

学生用ソフトウェアの内容およびその使用方法についての詳細は、「MATLAB for Student Use」を参照してください。

MATLAB 学生用ソフトウェア ポリシー

MATLAB 学生用ソフトウェアのライセンスは、学位取得用のコースで使用するためのものです。このライセンスは、MathWorks が学生の皆さんに特別なサービスとして提供しています。必ずライセンス条件に従って使用してください。

MATLAB 学生用ソフトウェアのライセンスを使用するには、学位を授与する高等教育機関に在籍しているか、高校の生徒または教員でなければなりません。学生用ソフトウェアのライセンスは、企業または政府の研究機関では使用できません。さらに、大学の講師による使用、または研究、商業、産業上の目的による使用は禁止されています。これらの目的で使用する場合は、www.mathworks.co.jp/jstudent で適切な正規ライセンスまたはアカデミック ライセンスを取得してください。

MathWorks アカウントを使用する製品のインストール

この節の内容...

- 「インストール前の準備」(p. 1-4)
- 「手順 1: インストーラーの起動」(p. 1-6)
- 「手順 2: MathWorks アカウントを使用するインストール」(p. 1-7)
- 「手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認」(p. 1-10)
- 「手順 4: 自分の MathWorks アカウントへのログイン」(p. 1-11)
- 「手順 5: インストールするライセンスの選択」(p. 1-14)
- 「手順 6: インストール フォルダーの指定」(p. 1-16)
- 「手順 7: インストールする製品の指定」(p. 1-18)
- 「手順 8: インストール オプションの指定」(p. 1-19)
- 「手順 9: 選択内容の確認」(p. 1-21)
- 「手順 10: インストールの完了」(p. 1-22)

インストール前の準備

インストーラーを実行するには、次のものを準備する必要があります。

- ・ 電子メール アドレスと MathWorks アカウントのパスワード。これらは、インストール中にユーザー アカウントにログインするために必要になります。アカウントに複数のライセンスが関連付けられている場合は、どのライセンスをインストールするか決定しておきます。

MathWorks アカウントを保有していない場合は、インストール中にアカウントを作成できます。アカウントを作成するには、“アクティベーション キー”が必要です。アクティベーション キーとは、ライセンスを識別する固有のコードのことです。アクティベーション キーは、ライセンス管理者から入手できます。

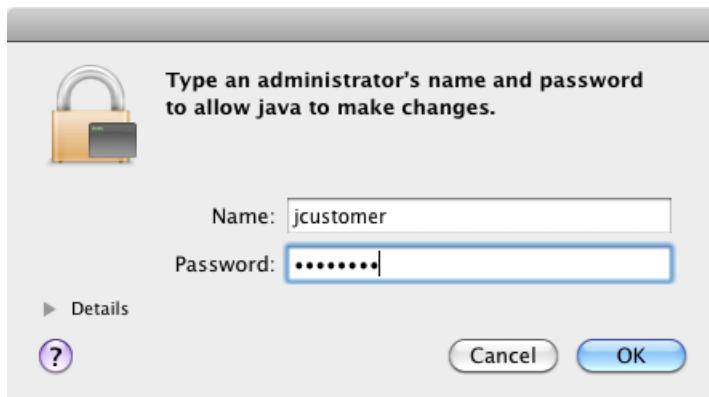
MATLAB 学生用ソフトウェアを購入した場合、アクティベーション キーは製品パッケージに含まれているか、MathWorks Web サイトのライセンス センターから取得できます。

- ・ ソフトウェアのインストールに適した権限。権限に関する質問は、システム管理者にお問い合わせください。

メモ: ソフトウェアをインストールするために管理者アカウントまたはルート権限を使用しますが、通常、管理ユーザー アカウントに対してはソフトウェアのアクティベーションを行いません。soft

ウェアをアクティベートするときは、ソフトウェアの使用者となるこれらの権限をもたないアカウントを指定します。管理者権限またはルート権限をもつユーザーとして MATLAB を実行することは推奨しません。

- Windows – 使用しているコンピューターの管理者権限をもつアカウントの名前とパスワードを取得します。
- Linux – ルート パスワードを取得します。MATLAB ソフトウェアはスーパーユーザー権限がなくてもインストールできますが、特定のインストール オプションが制限されます。たとえば、matlab コマンドへのシンボリック リンクの設定、保護されているフォルダーへの製品ファイルのインストール、またはシステム起動スクリプトの編集を行うには、スーパーユーザーのステータスを保有していなければなりません。
- Mac OS X – 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。管理者アカウントは Mac OS X システムの構成時に設定されたユーザー アカウントであり、MathWorks アカウントではありません。インストール中に、この名前とパスワードを [Authenticate] ダイアログ ボックスに入力します。



- インストール中は、システムのウイルス対策ソフトウェアとインターネット セキュリティ アプリケーションを無効にしてください。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応が示されない可能性もあります。

インストール中にインターネットに接続できない場合は、「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」(p. 1-39)を参照してください。

手順 1: インストーラーの起動

メモ: MATLAB 学生用ソフトウェアには DVD は含まれていません。代わりに MathWorks Web サイトからインストーラーをダウンロードします。

- 1 MathWorks Web サイトからインストーラーをダウンロードするか、お持ちの MATLAB の DVD を見つけます。

Web サイトでインストーラーを選択すると、製品ファイルではなく、選択したプラットフォームでインストーラーを実行するために必要なファイルが渡されます。インストーラーを実行して、ログインしているコンピューターにインストールする製品を選択します。必要に応じて、インストーラーが MathWorks から製品をダウンロードします。

- 2 インストーラーを起動します。インストーラーの起動方法は、プラットフォームによって異なります。また、MathWorks Web サイトからインストーラーをダウンロードしたか、DVD を使用するかによっても異なります。

- Windows

- ダウンロードしたインストーラー ファイル – MathWorks Web サイトでインストーラーを選択して [実行] をクリックすると、インストーラーが自動的に起動します。インストーラーを保存した場合は、保存先のフォルダーにある自己解凍形式のインストーラー ファイルをダブルクリックします。自己解凍形式のインストーラー ファイルの名前は `matlab_release_$.ARCH` です。`release` はインストールするリリース (R2015b など) を、`$.ARCH` は選択したアーキテクチャを示します。

解凍の完了後に、インストーラーが自動的に起動します。

後でインストーラーを再起動するには、`setup.exe` をクリックします。このファイルは、ファイルを解凍したフォルダーの最上位にあります。

- DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入します。通常、インストーラーが自動的に起動します。

- Mac OS X

- ダウンロードしたインストーラー ファイル – MathWorks Web サイトからダウンロードしたアーカイブ ファイルをダブルクリックして、ファイルを解凍します。ファイルの解凍後、インストーラー フォルダーを開いて `InstallForMacOSX.app` をダブルクリックします。
- DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入します。DVD アイコンがデスクトップに表示されたら、アイコンをダブルクリックして DVD の

内容を表示し、InstallForMacOSX アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。



- Linux
 - ダウンロードしたインストーラー ファイル – unzip コマンドを使用して、MathWorks Web サイトからダウンロードしたアーカイブ ファイルからファイルを解凍します。ファイルの解凍後、次のインストーラー コマンドを実行します。
`./install`

DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入し、次のコマンドを実行します。

```
/path_to_dvd/install &
```

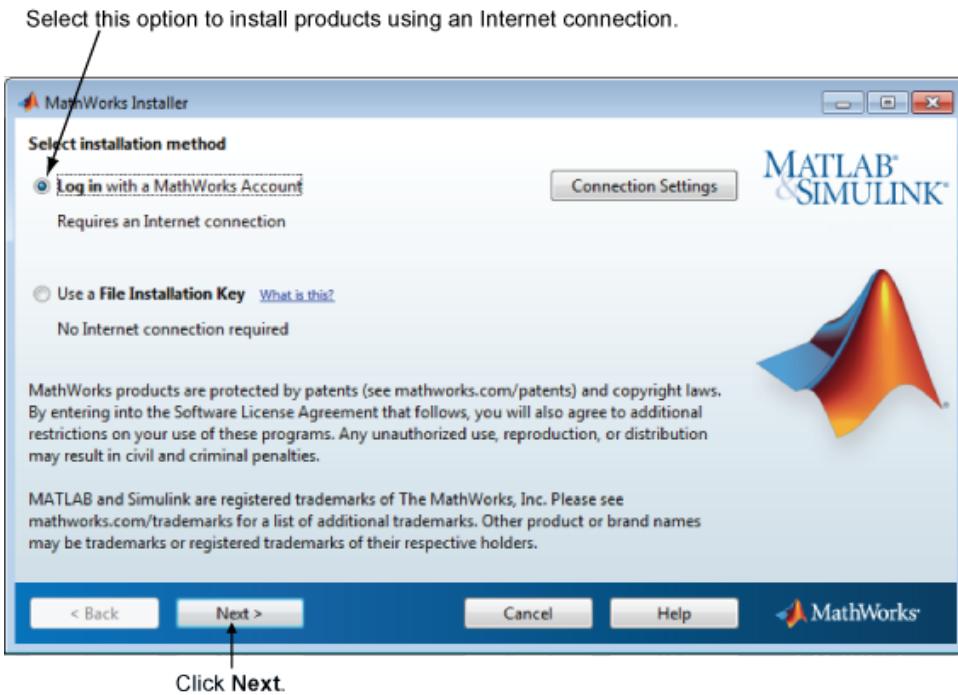
システムの構成によっては、最初に DVD をマウントしなければならないことがあります。次の例のように、必ず実行権限を指定してマウントしてください。DVD ドライブの名前は、お使いのシステムでは異なっている場合があります。

```
mount -o exec /media/cdrom0
```

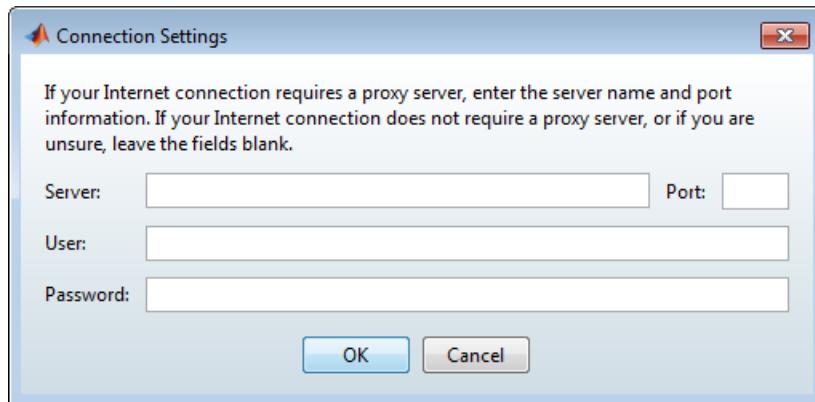
手順 2: MathWorks アカウントを使用するインストール

[MathWorks アカウントでログインする] オプションをオン（既定）にしておき、[次へ] をクリックします。インストール中に MathWorks アカウントにログインし、インストールするライセンスを選択してインストーラーの指示に従います。

1 インストールおよびアクティベーションの手順



インターネット接続にプロキシ サーバーを必要とする場合は、[接続設定] をクリックします。[接続設定] ページに、サーバー名、ポートおよびパスワードを入力します。MathWorks は基本認証とダイジェスト認証のプロキシ設定をサポートしています。



メモ: Windows システムでは、インストーラーは、既定でシステムのプロキシ設定を使用します。プロキシ サーバーがログインを要求する場合、インストーラーはログイン情報の入力を指示するプロンプトを表示します。

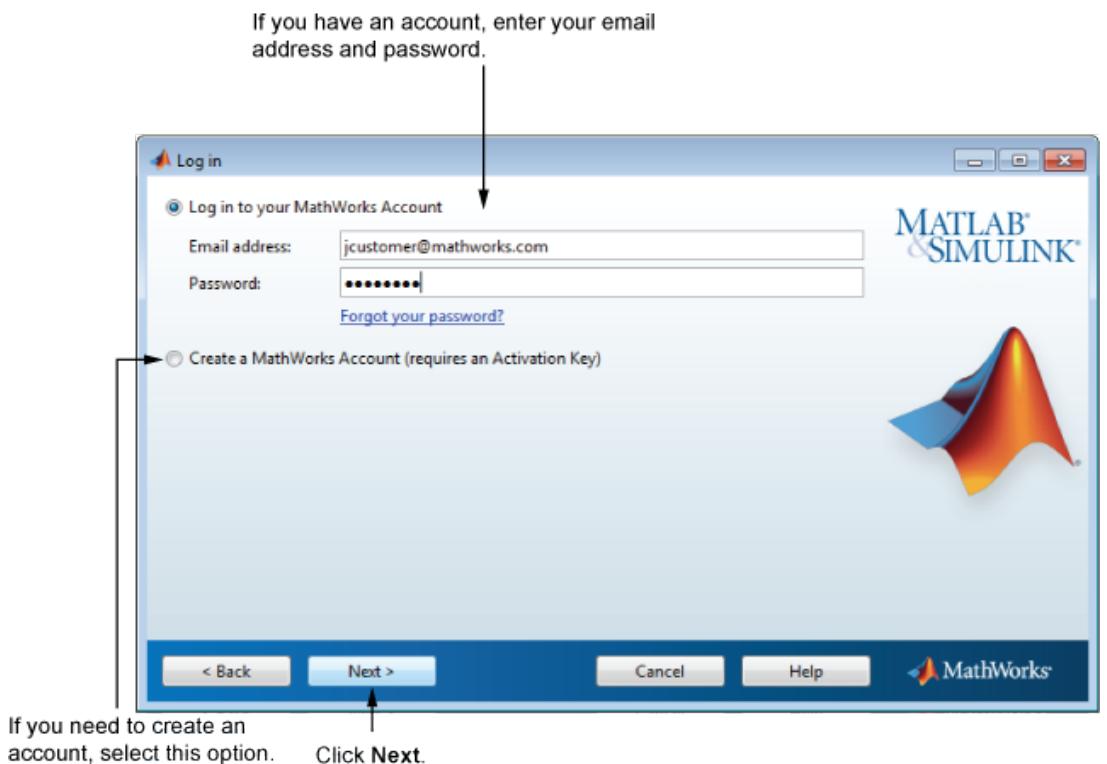
手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択し [次へ] をクリックします。

手順 4: 自分の MathWorks アカウントへのログイン

MathWorks アカウントにログインするには、電子メール アドレスとパスワードを入力して、[次へ] をクリックします。インストーラーにより MathWorks へのアクセスが行われ、アカウントに関連付けられたライセンスに関する情報が取得されます。

MathWorks アカウントを保有していない場合は、[MathWorks アカウントを作成する (アクティベーション キーが必要)] オプションを選択して [次へ] をクリックします。アカウントの作成に必要なデータの入力を指示するプロンプトが表示されます。



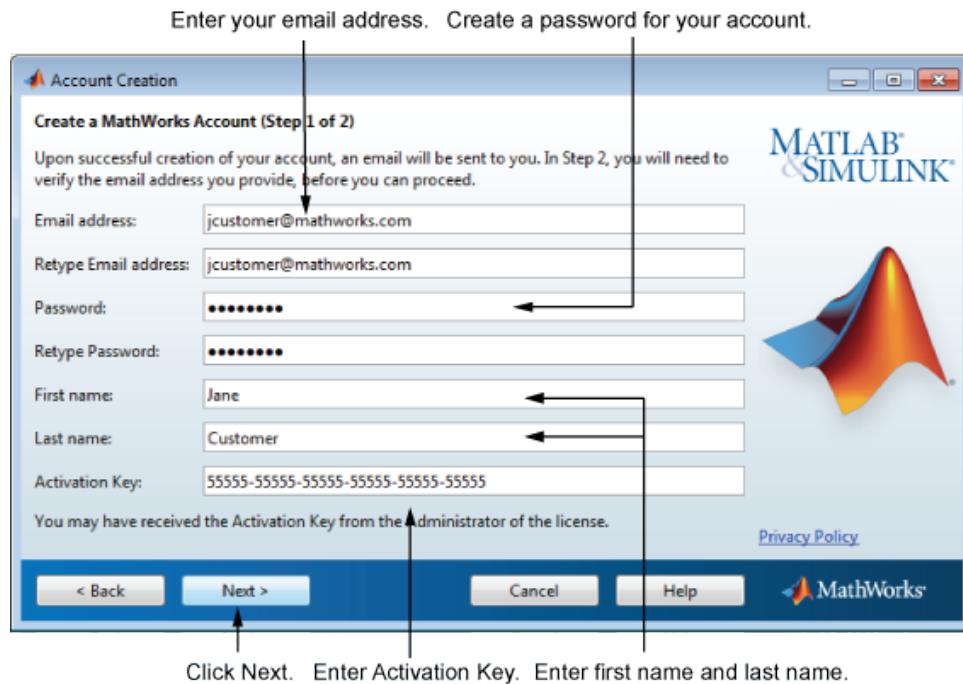
MathWorks アカウントを作成します。

アカウントを作成するには、電子メール アドレス、姓、名およびパスワードを入力します。新しく作成したアカウントにはライセンスが関連付けられていないので、アクティベーション キーも入力しなければなりません。

アクティベーション キーによって、インストールするライセンスが識別されます。このライセンスの管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからキーを取得できます。MATLAB 学生用ソフトウェアを購入した場合、アクティベーション キーは製品パッケージに含まれています。

メモ: アクティベーション キーのダッシュやスペースの入力は任意です。

[次へ] をクリックして、アカウントを作成します。



メモ: 新しい MathWorks アカウントを作成したら、インストールを続行する前に、電子メール アドレスを確認しなければなりません。[電子メールの確認が必要] ダイアログ ボックスの [次へ] をクリックする前に、電子メール プログラムに移動して MathWorks から送信されたメッセージを開き、確認リンクをクリックします。次に、このダイアログ ボックスに戻り、[次へ] をクリックします。



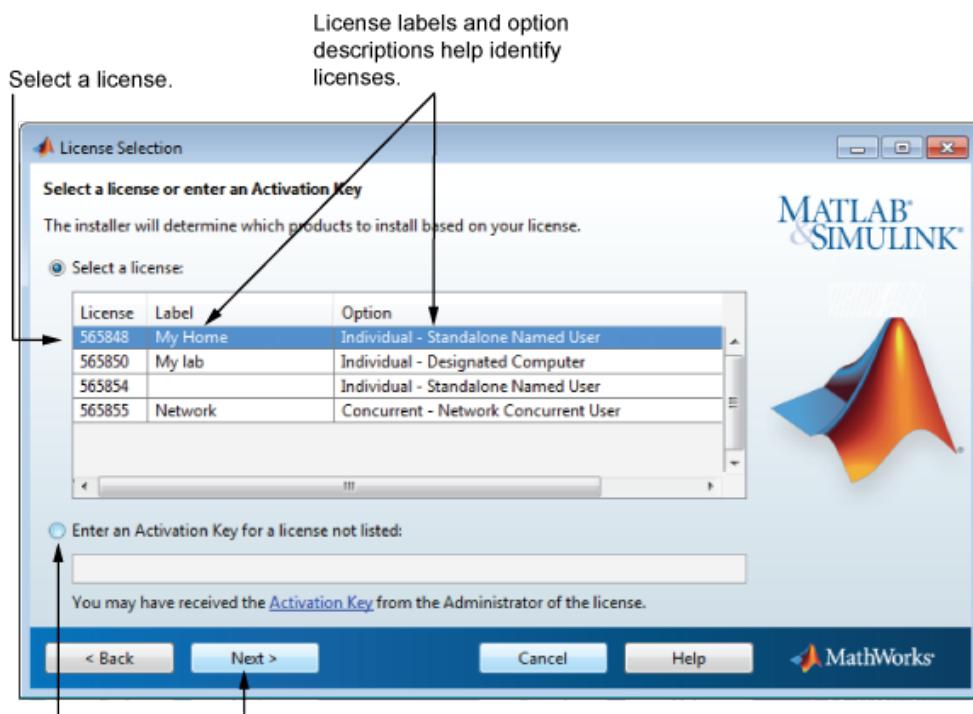
手順 5: インストールするライセンスの選択

MathWorks アカウントに関連付けられたライセンスの一覧からライセンスを選択して、[次へ] をクリックします。

自分の MathWorks アカウントに関連付けられていないライセンスを使用して製品をインストールする場合は、次の操作を行います。

- 1 [リストされていないライセンスのアクティベーション キーを入力] オプションをオンにします。
- 2 アクティベーション キーを入力して、[次へ] をクリックします。

“アクティベーション キー”とは、ライセンスを識別する固有のコードのことです。このコードを使用して、ライセンスのアクティベーションを行います。また、ライセンスを付与されたエンド ユーザーは各自の MathWorks アカウントをライセンスに関連付けることができます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからアクティベーション キーを取得できます。MATLAB 学生用ソフトウェアを購入した場合、アクティベーション キーは製品パッケージに含まれています。もしくは、MathWorks Web サイトのライセンス センターからキーを取得できます。



Select option
and enter
Activation Key.

Click Next.

アクティベーション キーの指定

アカウントにライセンスが関連付けられていない場合、または、選択したライセンスでアクティベーションを行う権限が無効になっている場合、インストーラーによって「アクティベーション キー」ダイアログ ボックスが表示されることがあります。要求されたアクティベーション キーを入力して、「次へ」をクリックします。アクティベーション キーは、ライセンス管理者から入手できます。

メモ: アクティベーション キーのダッシュやスペースの入力は任意です。

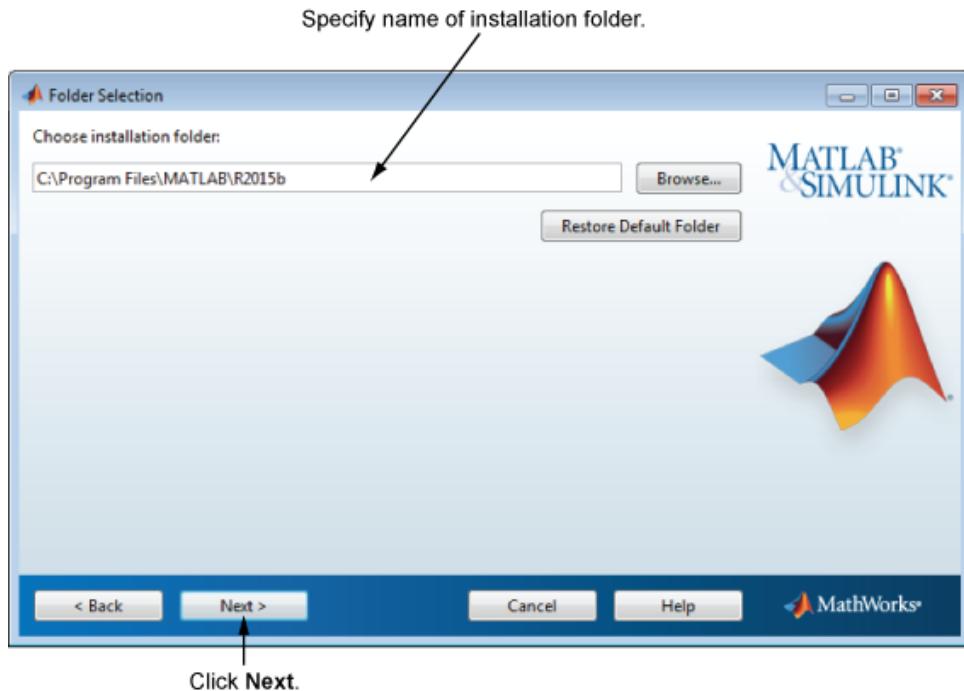
MATLAB 学生用ソフトウェアをインストールする場合、アクティベーション キーは製品パッケージに含まれているか、MathWorks Web サイトのライセンス センターから取得できます。



手順 6: インストール フォルダーの指定

MathWorks 製品をインストールするフォルダーの名前を指定します。既定のインストール フォルダーを使うか、[参照] をクリックして別のフォルダーを選択します。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

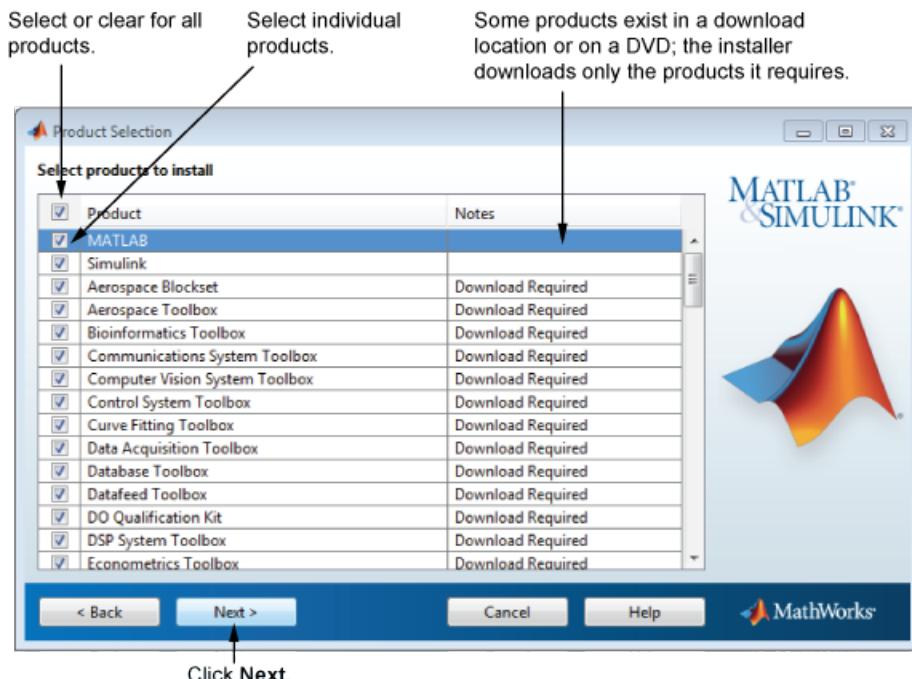
フォルダ名を指定するときは、任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。フォルダ名の入力を誤った場合にやり直すには、[既定のフォルダーに戻す] をクリックします。選択を行ったら、[次へ] をクリックします。



手順 7: インストールする製品の指定

製品リストから、インストールする製品を指定します。このリストには、選択したライセンス、あるいは指定したアクティベーション キーまたはファイル インストール キーに関連付けられているすべての製品が表示されます。インストール対象外の製品がある場合は、製品名の横のチェック ボックスをオフにします。

メモ: 選択した製品がお使いのコンピューターの既定のダウンロード場所または DVD に存在している場合、インストーラーは MathWorks Web サイトからファイルをダウンロードする代わりに、ローカルファイルを使用してインストールを実行します。製品を再度ダウンロードする場合は、[フォルダーの選択] ダイアログ ボックスに戻り、別のインストール フォルダーを選択します。



インストールする製品の選択が完了したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

手順 8: インストール オプションの指定

インストール先のプラットフォームに応じて、次のようないくつかのインストール オプションを指定できます。

Windows

Windows では、[インストール オプション] ダイアログ ボックスで、[スタート] メニューとデスクトップに MATLAB の起動用ショートカットを配置するかどうかを選択できます。

インストール オプションを選択したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

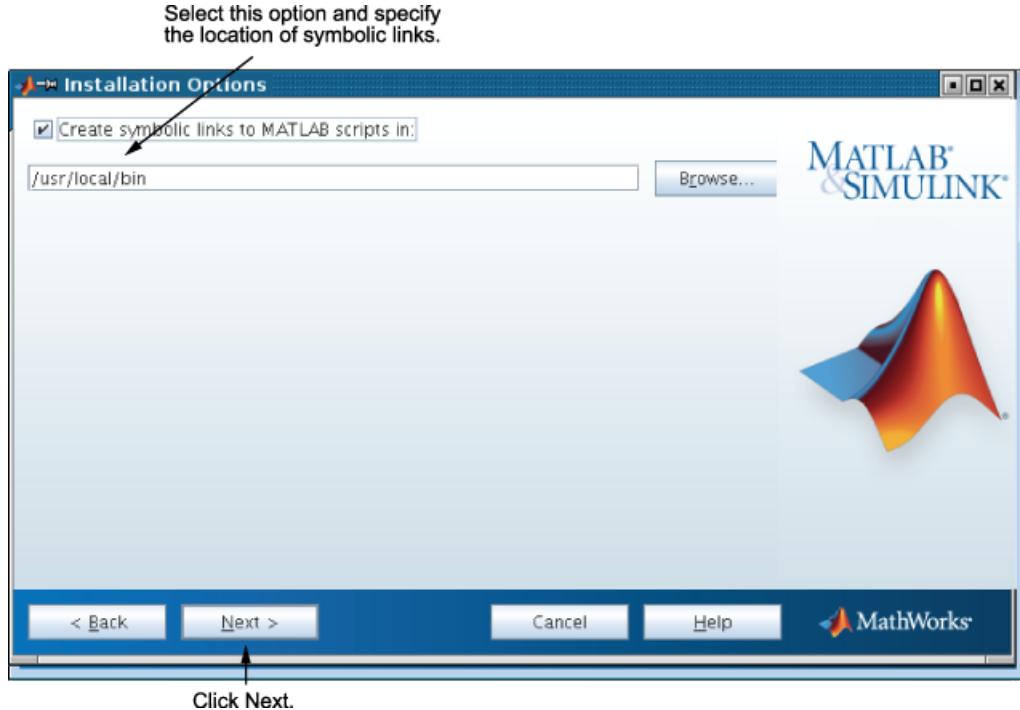


Linux

Linux システムでは、matlab および mex スクリプトへのシンボリック リンクを作成するかどうかを指定できます。書き込み権限のあるフォルダーを指定します。すべてのユーザーのパスに共通する、/usr/local/bin などのフォルダーにしてください。

インストール オプションを選択したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

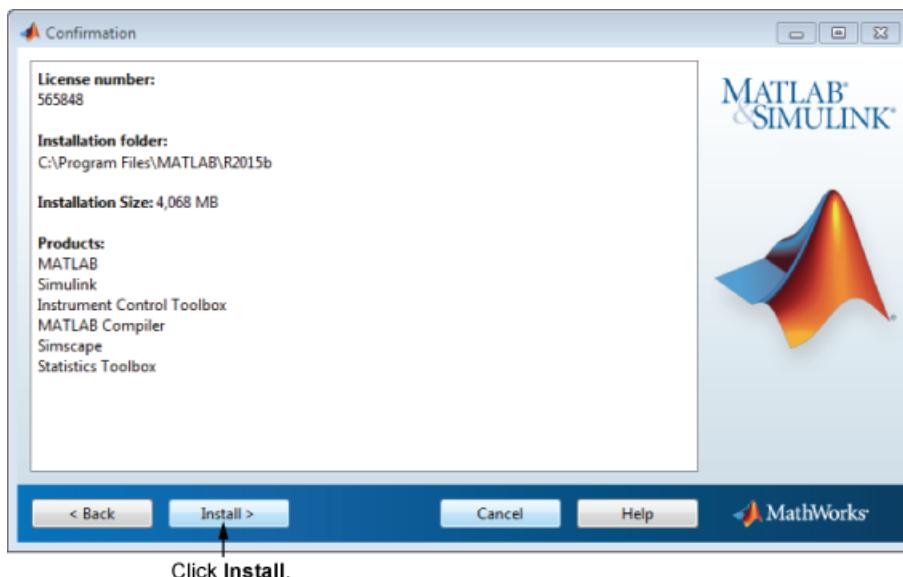
1 インストールおよびアクティベーションの手順



手順 9: 選択内容の確認

ソフトウェアをハードディスクにインストールする前に、インストーラーにインストール内容の要約が表示されます。設定を変更するには、[戻る] をクリックします。インストールを続行するには、[インストール] をクリックします。

メモ: 使用するインストール方法によっては、確認情報がここで示される例とは異なる場合があります。

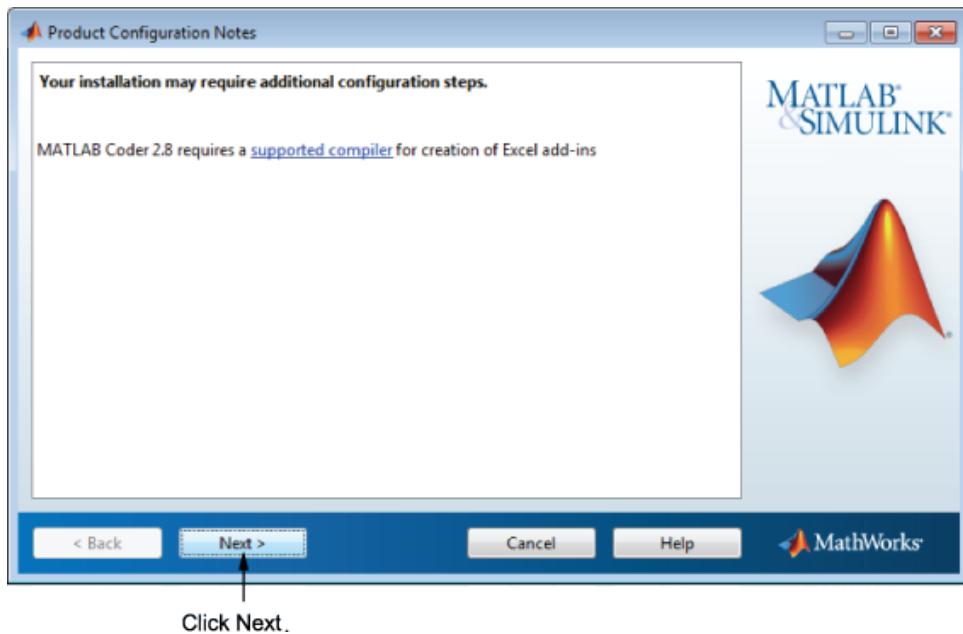


製品設定に関するメモの確認

インストールする製品によっては、インストーラーで次のような情報を含むダイアログボックスが表示されることがあります。

- 製品の設定情報 – 一部の製品では追加の設定が必要になります。これらの製品をインストールした場合は、このダイアログボックスに設定コマンドの一覧が表示されます。これらのコマンドは、システムのクリップボードにコピーして、インストールの完了後に使用することができます。

[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



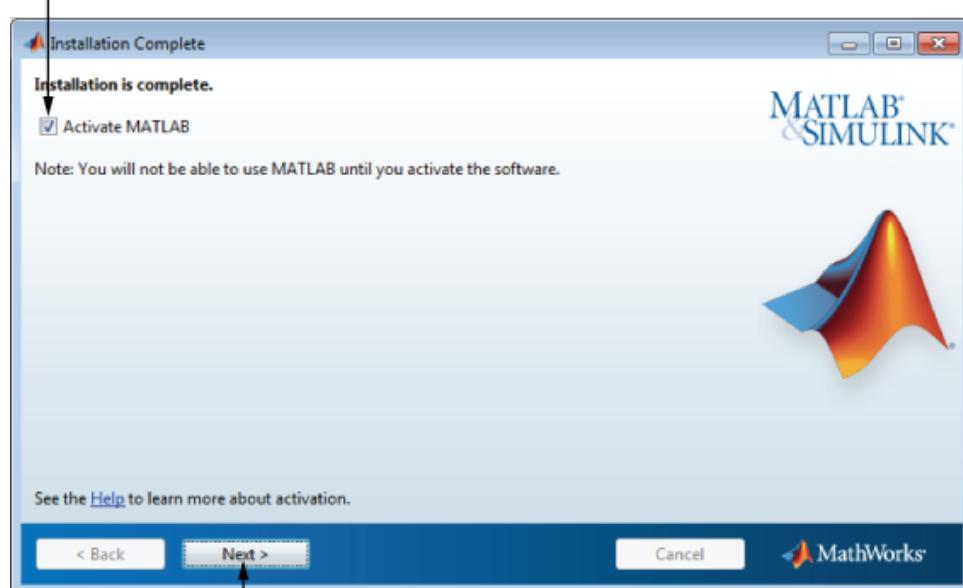
Click Next.

手順 10: インストールの完了

インストールが正常に完了した後、インストールしたソフトウェアのアクティベーションを行うかどうかを選択できます。インストールしたソフトウェアは、アクティベーションを行うまで使用できません。インストール直後にアクティベーションを行うと、最も早く MATLAB の使用を開始できます。[次へ] をクリックして、アクティベーションを実行します。

ソフトウェアのアクティベーションを行わずにインストーラーを終了する場合は、[MATLAB のアクティベーション] オプションをオフにします。ラベルが [終了] に変更されたボタンをクリックします。後でソフトウェアのアクティベーションを行うときには、アクティベーション アプリケーションを使用します。ソフトウェアのアクティベーションが行われていない場合、MATLAB を起動したときにアクティベーション アプリケーションが自動的に起動します。

To activate your software, leave this selected.



関連するトピック

アクティベーション プロセスの手順の詳細は、「MathWorks アカウントを使用するインストールのアクティベーション」(p. 1-26)を参照してください。

既存のインストールへの製品の追加

既存の MATLAB インストールに製品を追加するには、ご使用のリリースのインストーラーを再度実行し、プロンプトに従ってください。インストーラーが見つからない場合や、インストーラーにアクセスできない場合は、MathWorks Web サイトのダウンロード ページにアクセスしてください。

インストール時は次のようにします。

- 最初のインストールで使用した同じインストール フォルダーを指定します。
- 追加でインストールする製品を選択します。
- ソフトウェアのアクティベーションを促されたら、それを実行します。

既存のインストールのアップグレード

既存のインストールをアップグレードするには、MATLAB インストーラーを再度実行します。インストーラーにアクセスできない場合は、MathWorks Web サイトのダウンロード ページにアクセスしてダウンロードしてください。

MATLAB を最新リリースにアップグレードする場合は、新しいバージョンを新しいインストール フォルダーにインストールします。ソフトウェアのプレリリース バージョンのインストールをアップグレードする場合は、リリースされたバージョンを新しいインストール フォルダーにインストールしてください。

新しいリリースをインストールする前に既存の MATLAB を削除する必要はありません。各リリースは以前のリリースとは独立しており、同じシステムで複数のリリースを実行できます。

メモ: 既にインストールされている以前のリリースを上書きすると、インストール フォルダーにあるすべての製品が削除され、現在のライセンスに含まれる製品のみがインストールされます。この動作により、製品間の互換性に関する問題を回避できます。たとえば、既存のインストールに 10 製品が含まれていても、現在のライセンスにこのうちの 9 製品しか含まれていない場合は、MATLAB のインストールは現在のライセンスに含まれる 9 つの製品のみとなります。

MathWorks アカウントを使用するインストールのアクティベーション

この節の内容...

- 「手順 1: アクティベーション アプリケーションの起動」(p. 1-26)
- 「手順 2: 自動アクティベーションまたは手動アクティベーションの選択」(p. 1-27)
- 「手順 3: 自分の MathWorks アカウントへのログイン」(p. 1-29)
- 「手順 4: ライセンスの選択」(p. 1-32)
- 「手順 5: アクティベーション タイプの選択」(p. 1-33)
- 「手順 6: ユーザー名の指定」(p. 1-34)
- 「手順 7: アクティベーション情報の確認」(p. 1-36)
- 「手順 8: アクティベーションの完了」(p. 1-37)

手順 1: アクティベーション アプリケーションの起動

アクティベーション アプリケーションを起動するには、次のいずれかの方法を使用します。

- ・ インストールの終了後、「インストールの完了」ダイアログ ボックスで、[MATLAB のアクティベーション] チェック ボックスをオンのままにしておきます。
- ・ アクティベーションが行われていない MATLAB のインストールを開始します。
- ・ MATLAB を実行している場合は、[ホーム] タブの [リソース] セクションで [ヘルプ]、[ライセンス]、[ソフトウェアのアクティベーションを行う] を選択します。
- ・ MATLAB インストール フォルダーに移動し、アクティベーション アプリケーションを開きます。

Windows – matlabroot/bin/\$ARCH フォルダーにある activate_matlab.exe ファイルをダブルクリックします。この matlabroot は MATLAB インストール フォルダーであり、\$ARCH は matlabroot\bin\win64 のようなプラットフォーム固有のサブフォルダーです。

Linux および Mac OS X – matlabroot/bin フォルダーにある activate_matlab.sh スクリプトを実行します。

- ・ Mac OS X – MATLAB アプリケーション パッケージに含まれているアクティベーション アプリケーション アイコンをダブルクリックします。MATLAB アプリケーション パッケージの内容を表示するには、パッケージを右クリック（または Ctrl キーを押しながらクリック）し、[パッケージの内容を表示] を選択します。

手順 2: 自動アクティベーションまたは手動アクティベーションの選択

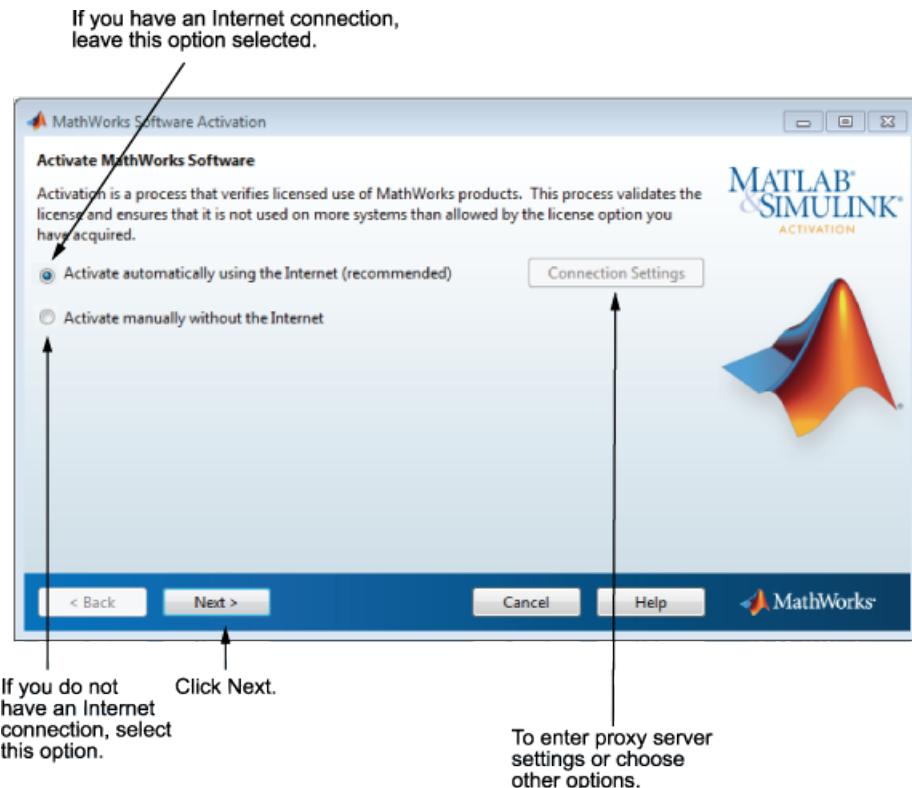
“アクティベーション”は、ライセンス許可を受けて MathWorks 製品を使用することを確認するプロセスです。このプロセスでは、ライセンスを検証して、ライセンス オプションで許可されている数を超えるコンピューターまたはユーザーによってソフトウェアが使用されないようにします。

インストーラーによってアクティベーション アプリケーションを開始し、インストール中に MathWorks アカウントにログインした場合は、アクティベーション プロセスでも同じログイン セッションが続行されます。[次へ] をクリックして、アクティベーションを実行します。



インストール中に MathWorks アカウントにログインしなかった場合や、アクティベーション アプリケーションを単独で起動した場合は、自動アクティベーションか手動アクティベーションを選択しなければなりません。インターネットに接続している場合は、[インターネットを使って自動的にアクティベーションを行う (推奨)] オプションを選択した状態のままにします。インストール直後にアクティベーションを行うと、最も早く MATLAB の使用を開始できます。

インターネットに接続していない場合は、[インターネットを使わずに手動でアクティベーションを行う] を選択します。このオプションを選択した場合、手動アクティベーションを行うにはライセンス ファイルが必要です。ライセンス ファイルによって、実行できる製品が特定されます。ライセンス ファイルがない場合は、ライセンス管理者に連絡して取得してください。



プロキシ サーバーの指定

メモ: Windows システムでは、アクティベーション アプリケーションは、既定でシステムのプロキシ設定を使用します。

インターネット接続にプロキシ サーバーを必要とする場合は、[接続設定] ボタンをクリックします。[プロキシ設定] ダイアログ ボックスでは、サーバー名とポートの情報を入力し、他のアクティベーション オプションにアクセスすることができます。MathWorks では、いくつかの種類のプロキシ設定をサポートしています。基本認証、ダイジェスト認証などです。

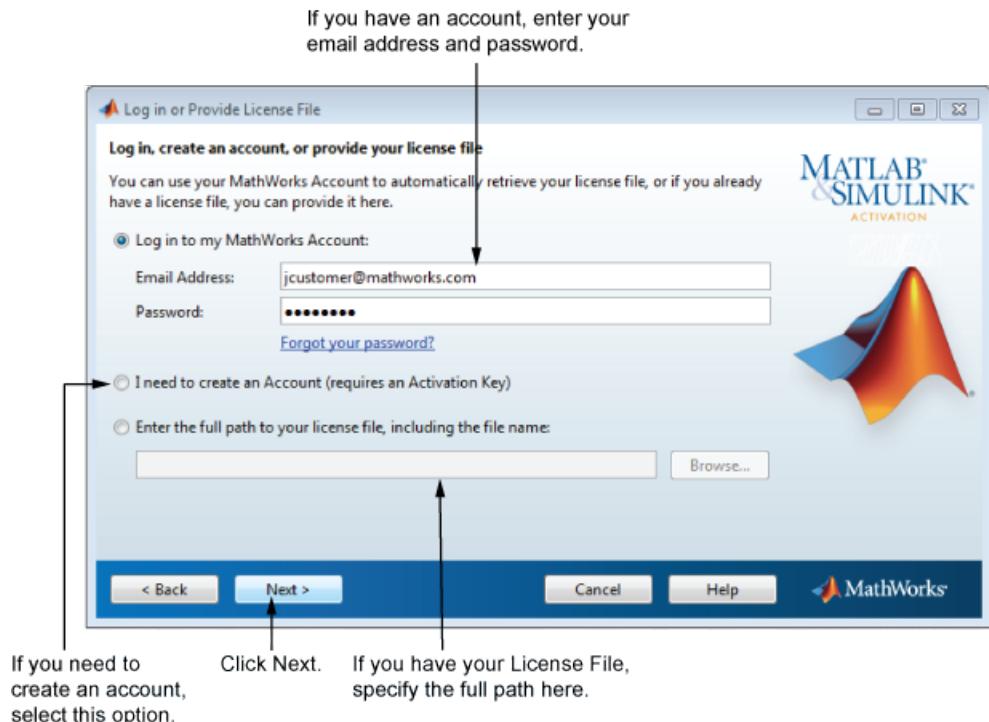
手順 3: 自分の MathWorks アカウントへのログイン

メモ: インストール中にアカウントにログインし、インストールの直後にアクティベーションを続けて行う場合、アクティベーション アプリケーションではこの手順が省略されます。

MathWorks アカウントの電子メール アドレスとパスワードを入力して、[次へ] をクリックします。アクティベーション アプリケーションにより MathWorks へのアクセスが行われ、アカウントに関連付けられたライセンスが取得されます。

MathWorks アカウントがない場合は、[アカウントを作成する (アクティベーション キーが必要)] オプションを選択して [次へ] をクリックします。

既にライセンス ファイルを保有している場合は、[ライセンス ファイルのファイル名を含む絶対パスを入力してください] オプションを選択し、ファイルへの絶対パスを指定して、[次へ] をクリックします。ライセンス ファイルによって、実行できる製品が特定されます。ライセンス管理者に連絡して、ライセンス ファイルを取得してください。ライセンス ファイルを指定した後、アクティベーション アプリケーションではプロセスの後続の手順がすべて省略され、[アクティベーションの完了] ダイアログ ボックスが開きます。



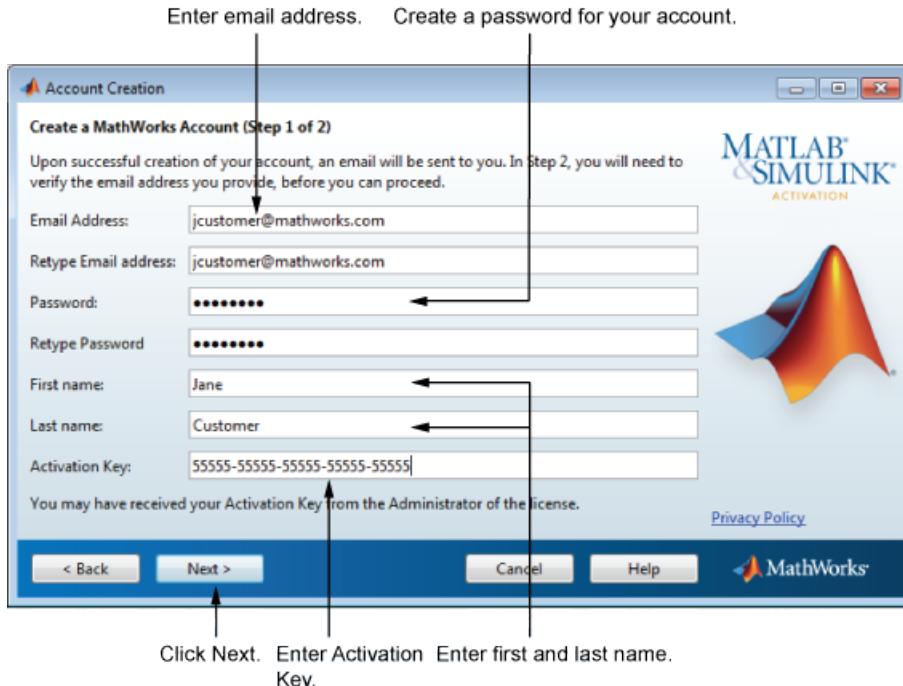
MathWorks アカウントを作成します。

アカウントを作成するには、電子メール アドレス、姓、名およびパスワードを入力します。アクティベーション キーの入力も必要です。新しく作成したアカウントには、ライセンスが関連付けられていません。アクティベーション キーによって、アクティベーションを行うライセンスが識別されます。

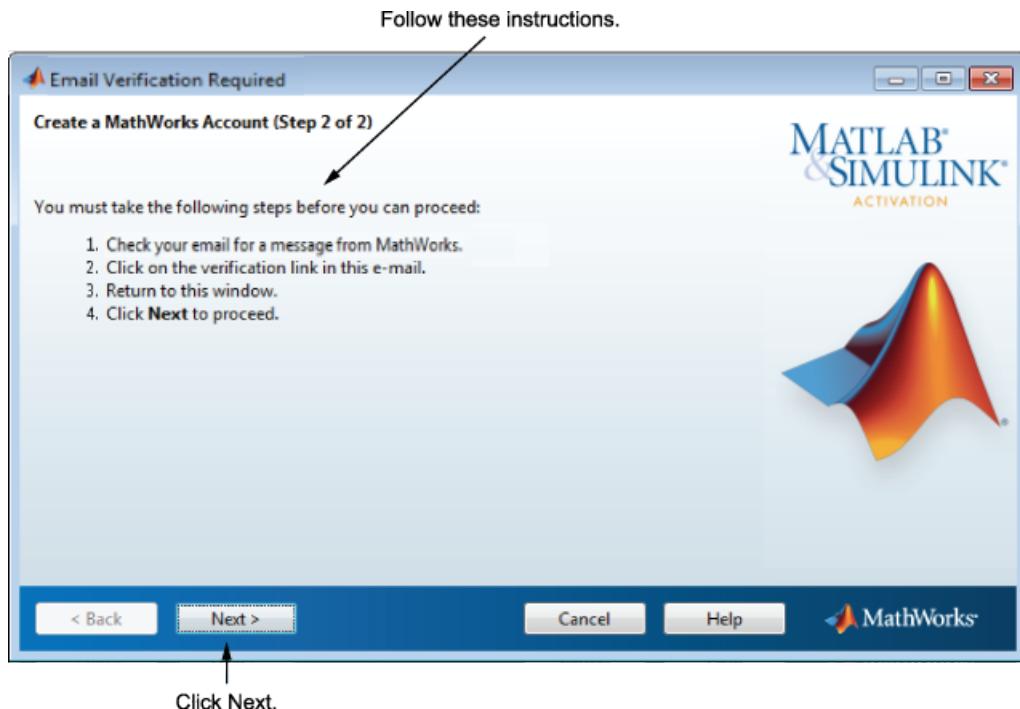
メモ: アクティベーション キーのダッシュやスペースの入力は任意です。

ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからアクティベーション キーを取得できます。MATLAB 学生用ソフトウェアのアクティベーションを行う場合、アクティベーション キーは製品パッケージに含まれているか、MathWorks Web サイトのライセンス センターから取得できます。

[次へ] をクリックして、アカウントを作成します。



メモ: 新しい MathWorks アカウントを作成した場合、アクティベーションを続行するには電子メールアドレスを確認しなければなりません。[電子メールの確認が必要] ダイアログ ボックスの [次へ] をクリックする前に、電子メール プログラムに移動して MathWorks から送信されたメッセージを開き、確認リンクをクリックします。次に、このダイアログ ボックスに戻り、[次へ] をクリックします。



手順 4: ライセンスの選択

メモ: インストールの直後にアクティベーションを続けて行う場合、アクティベーション アプリケーションでは、インストールしたライセンスをアクティベートするものと仮定して、この手順が省略されます。同様に、前の手順でアカウントを作成してアクティベーション キーを指定した場合も、この手順が省略されます。

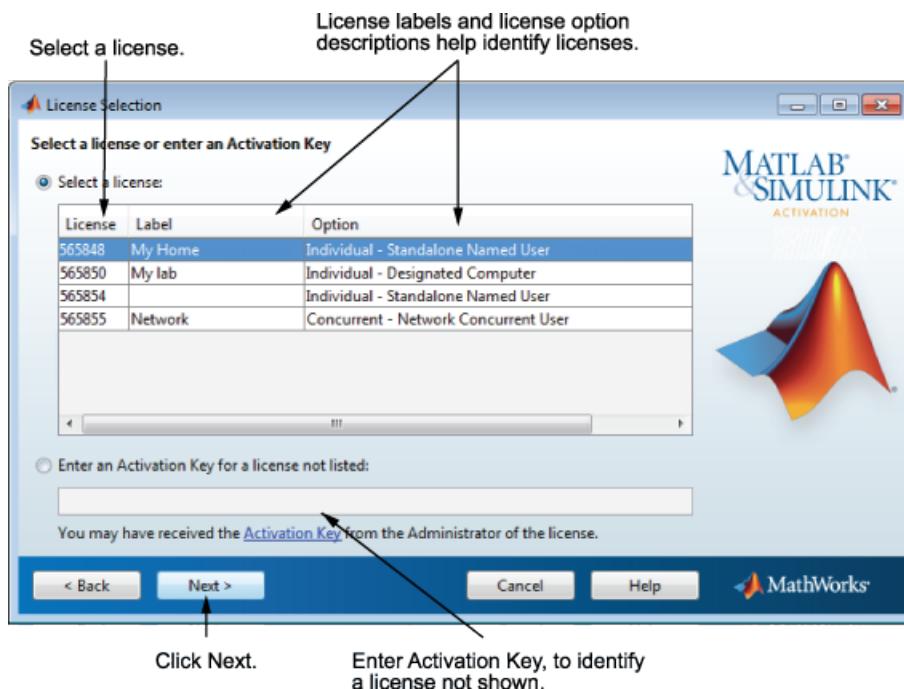
MathWorks アカウントに関連付けられたライセンスの一覧からライセンスを選択して、[次へ] をクリックします。この一覧には、ライセンスに関する以下の情報が含まれています。

自分の MathWorks アカウントに関連付けられていないライセンスの製品アクティベーションを行う場合は、[リストされていないライセンスのアクティベーション キーを入力] オプションを選択し、アクティベーション キーを入力して、[次へ] をクリックします。“アクティベーション キー”とは、ライセンスを識別する固有のコードのことです。このキーを使用して、ライセンスのアクティベーションを行ったり、

ライセンスをアカウントに関連付けたりできます。アクティベーション キーは、ライセンス管理者から入手できます。

メモ: アクティベーション キーのダッシュやスペースの入力は任意です。

MATLAB 学生用ソフトウェアのアクティベーションを行う場合、アクティベーション キーは製品パッケージに含まれているか、MathWorks Web サイトのライセンス センターから取得できます。

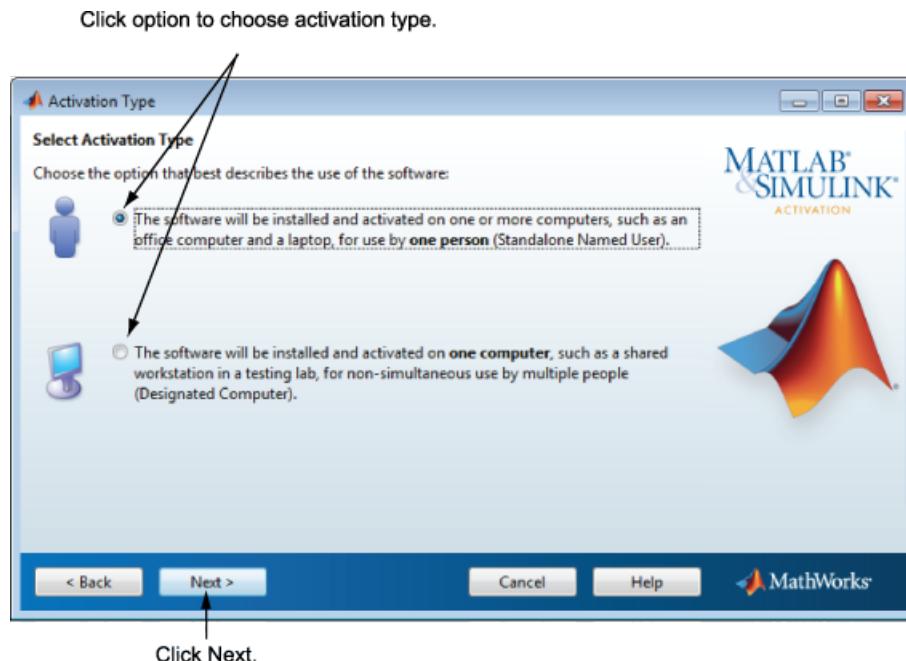


手順 5: アクティベーション タイプの選択

メモ: インストールしたライセンスまたは前の手順で選択したライセンスに、アクティベーション タイプが事前設定されているか、または学生用ソフトウェアのライセンスである場合、この手順は省略されます。

ライセンスのアクティベーション タイプを選択します。ソフトウェアを自分のみで使用する場合は、[スタンドアロン ネームド ユーザー] オプションを選択します。同時には使用しないという条件で、複数のユーザーがインストールを共有する場合は、[コンピューター指定] オプションを選択します。

選択が完了したら、[次へ] をクリックしてアクティベーションを続行します。



手順 6: ユーザー名の指定

メモ: ライセンスのアクティベーション タイプとして [コンピューター指定] を選択した場合、この手順は省略されます。

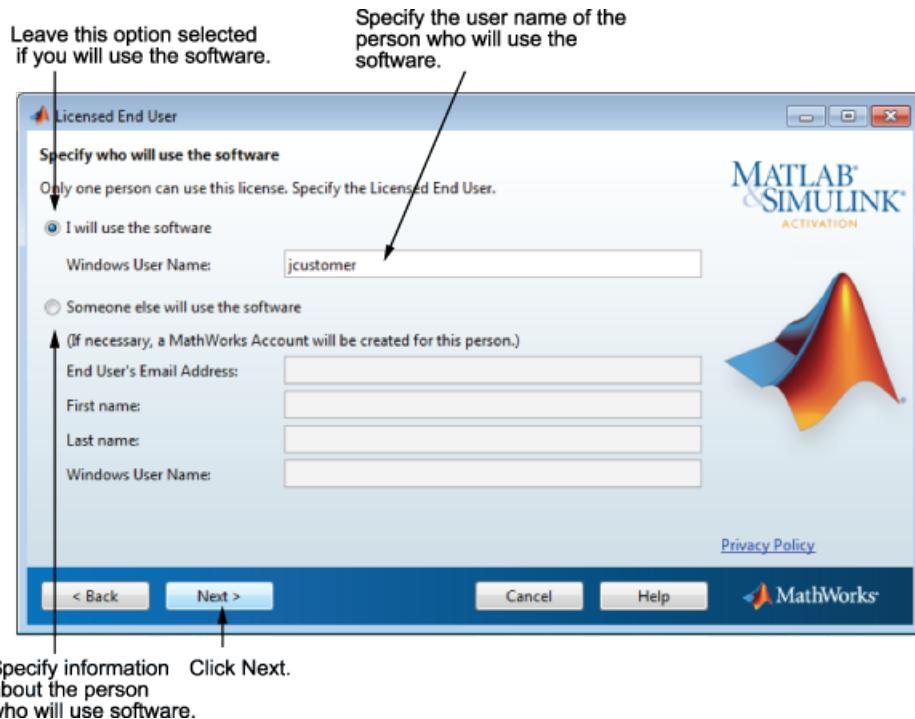
スタンドアロン ネームド ユーザーのアクティベーション タイプを選択した場合は、ソフトウェアを使用するユーザーのオペレーティング システムにおけるユーザー名を指定しなければなりません。アクティベーション タイプが「スタンドアロン ネームド ユーザー」の場合、ソフトウェアの使用は特定のコンピューター上の特定のユーザーに制限されます。MathWorks では、オペレーティング システムのユーザー名を使用してこのユーザーを識別しています。オペレーティング システム ユーザー名と

は、ユーザーがコンピューターにアクセスするための ID で、コンピューターのログイン名とも呼ばれます。MathWorks ソフトウェアを使用するには、指定したユーザー名でコンピューターにログインしなければなりません。

既定では、アクティベーション アプリケーションによって、アプリケーションを実行中のユーザー名が自動的に記入されます。この既定値を使うには、[私がソフトウェアを使用します] オプションを選択した状態で、[次へ] をクリックします。管理者アカウントを使用してソフトウェアをインストールした後、別のアカウントを使用してソフトウェアにアクセスする場合は、そのユーザー名をここで指定できます。

他のユーザーのためにライセンスのアクティベーションを行う場合は、[他の人がソフトウェアを使用します] オプションを選択し、対象のユーザーの電子メール アドレス、名前、およびオペレーティング システム ユーザー名を指定して、[次へ] をクリックします。アクティベーション アプリケーションによって、ユーザーの MathWorks アカウントが検索され、アカウントが存在しない場合は新しいアカウントが作成されます。このオプションは、他のユーザーのためにソフトウェアのアクティベーションを行うシステム管理者に便利です。

メモ: 学生用ソフトウェアのライセンスの場合、他のユーザーのライセンスについてアクティベーションを行うオプションは使用できません。

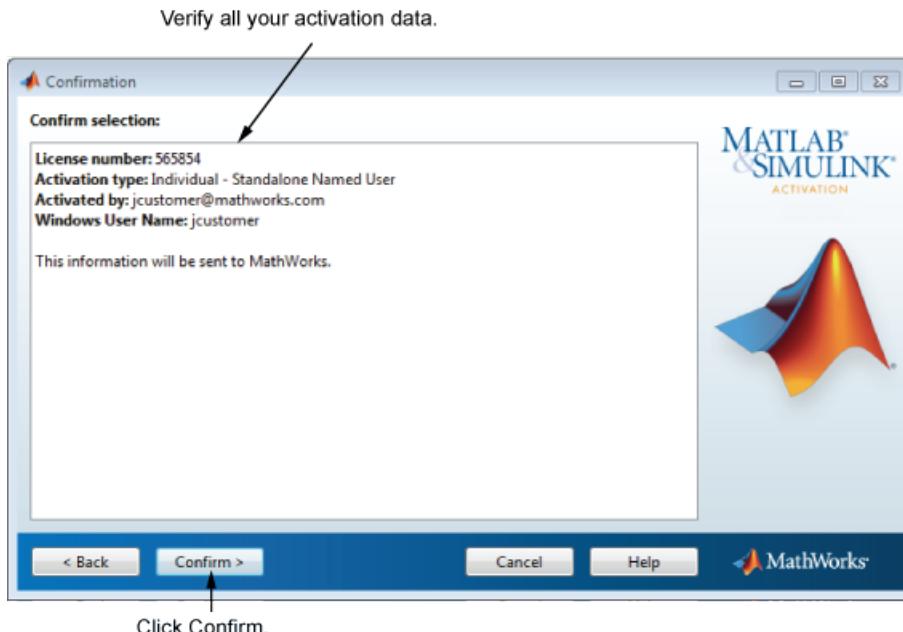


手順 7: アクティベーション情報の確認

表示されている情報がすべて正しい場合は、[アクティベーション] をクリックします。

メモ: 使用するインストール方法およびオペレーティング システムによっては、確認情報がここで示される例とは異なる場合があります。

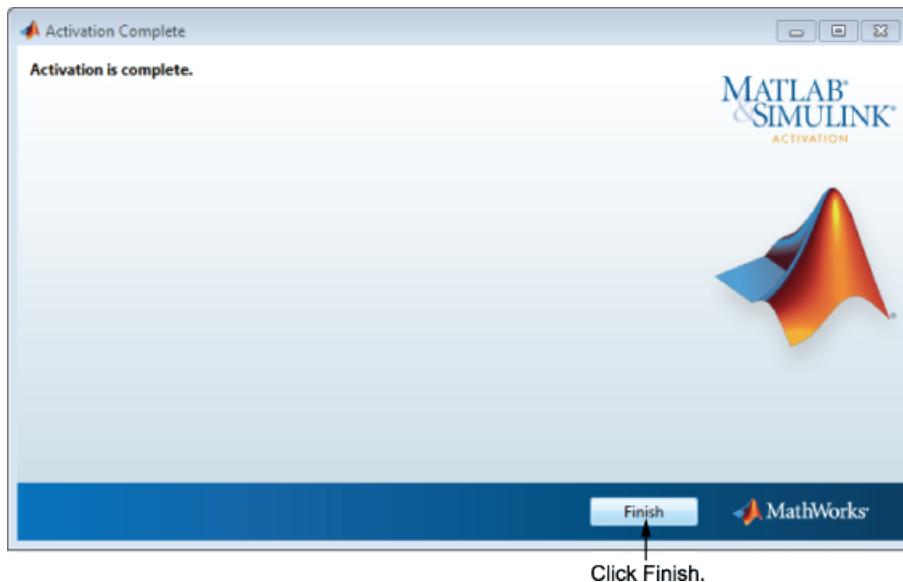
インストールのアクティベーションでは、MathWorks によってコンピューターにロックされた（アクティベーション タイプとして「スタンドアロン ネームド ユーザー」を選択した場合は特定のユーザーにロックされた）ライセンス ファイルが作成され、ユーザーのコンピューターにこのライセンス ファイルがコピーされます。このライセンス ファイルによって、コンピューターで MathWorks 製品を実行できるようになります。また、MathWorks では MathWorks システム内にアクティベーションの記録を保持します。



手順 8: アクティベーションの完了

インストールをアクティベートした後、[終了] をクリックしてアクティベーション プロセスを終了します。

1 インストールおよびアクティベーションの手順



ファイル インストール キーを使用した製品のインストール

この節の内容...

- 「インストール前の準備」(p. 1-39)
- 「手順 1: インストーラーの起動」(p. 1-41)
- 「手順 2: ファイル インストール キーを使用するインストール」(p. 1-42)
- 「手順 3: ライセンス許諾書の確認」(p. 1-43)
- 「手順 4: ファイル インストール キーの指定」(p. 1-43)
- 「手順 5: インストール フォルダーの指定」(p. 1-45)
- 「手順 6: インストールする製品の指定」(p. 1-46)
- 「手順 7: インストール オプションの指定」(p. 1-47)
- 「手順 8: 選択内容の確認」(p. 1-49)
- 「手順 9: インストールの完了」(p. 1-50)

インストール前の準備

インストーラーを実行する前に、以下の準備を行います。

- ・ MATLAB インストーラーを含む製品ファイルが、コンピューターの既定のダウンロード フォルダ、ネットワーク共有フォルダーまたは DVD などのアクセス可能な場所から利用できることを確認します。製品ファイルがコンピューターの既定のダウンロード フォルダー以外の場所にある場合は、インストーラー ファイルは製品ファイルと同じフォルダ内に存在しなければなりません。

MATLAB 学生用ソフトウェアには DVD は含まれていません。製品をダウンロードしてインストールするには、MathWorks に接続します。

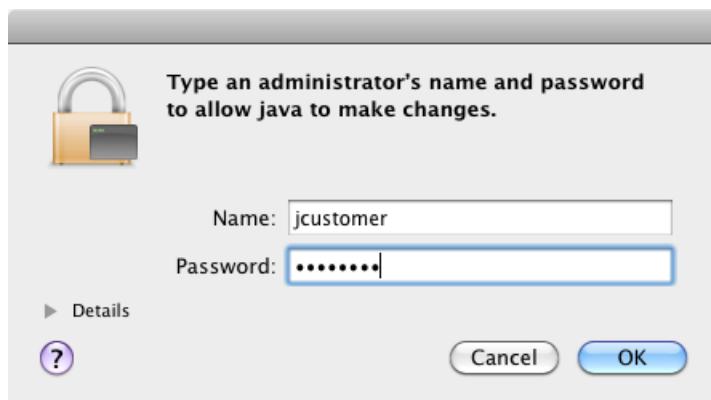
- ・ “ファイル インストール キー”とライセンス ファイルをお手元にご用意ください。これらは、ネットワーク接続なしにインストールとアクティベーションを実行する際に必要になります。

ファイル インストール キーによって、インストール可能な製品が特定されます。ライセンス ファイルでは、実行できる製品が特定され、インストールがアクティベートされます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターから、ファイル インストール キーとライセンス ファイルを取得できます。詳細は、ライセンス センターのヘルプを参照してください。

- ・ ソフトウェアをインストールするための適切な権限があることを確認してください。これに関する質問は、システム管理者に問い合わせてください。

メモ: ソフトウェアをインストールするために管理者アカウントまたはルート権限を使用しますが、通常、管理ユーザー アカウントに対してはソフトウェアのアクティベーションを行いません。ソフトウェアをアクティベートするときは、ソフトウェアの使用者となるこれらの権限をもたないアカウントを指定します。管理者権限またはルート権限をもつユーザーとして MATLAB を実行することは推奨しません。

- Windows システム – 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。インストーラーによってインストール中にシステム レジストリが変更されます。
- Linux システム – ルート パスワードを取得します。MATLAB ソフトウェアはスーパーユーザー権限がなくてもインストールできますが、特定のインストール オプションが制限されます。たとえば、matlab コマンドへのシンボリック リンクの設定、保護されているフォルダーへの製品ファイルのインストール、またはシステム起動スクリプトの編集を行うには、スーパーユーザーのステータスを保有していなければなりません。
- Mac OS X システム – 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。管理者アカウントは Mac OS X システムの構成時に設定したユーザー アカウントで、MathWorks アカウントではありません。インストール中に、この名前とパスワードを以下に示す [Authenticate] ダイアログ ボックスに入力しなければなりません。



- インストール中は、システムのウイルス対策ソフトウェアとインターネット セキュリティ アプリケーションを無効にしてください。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応がなくなったりすることがあります。

インターネットに接続している場合は、「MathWorks アカウントを使用する製品のインストール」(p. 1-4)の説明に従ってください。MathWorks では、インターネット接続を使用してインストールとアクティベーションを行うことを推奨しています。

この手順は、スタンドアロンまたはネットワーク ライセンス オプションをインストールする場合に使用できます。ネットワーク ライセンス オプションでこの方法を使用する場合は、ライセンス ファイルのパスを指定して、ライセンス マネージャーを設定するかどうかを選択しなければなりません。これらの追加手順の詳細は、「クライアントシステムへの MathWorks ソフトウェアのインストール」(p. 3-41)を参照してください。

手順 1: インストーラーの起動

メモ: 製品ファイルを含むフォルダーのルートにインストーラー ファイルとアーカイブ フォルダーが含まれていることを確認します。インストーラー ファイルは、Windows では setup.exe、Linux では install、Mac OS X では InstallForMacOSX です。アーカイブ サブフォルダー内のファイル数が 3 つ未満である場合は、必要なファイルが欠落している可能性があります。管理者に「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」(p. 2-15)の手順を使用してファイルを再度ダウンロードするように要請してください。

- 1 製品ファイル（インストーラー ファイルを含む）をコンピューターまたはアクセス可能な場所（DVD、USB ドライブ、ネットワーク共有フォルダーなど）にコピーします。
- 2 インストーラーを起動します。インストーラーの起動方法は、プラットフォームによって異なります。また、ダウンロード済みの製品ファイルにアクセスするか、DVD を使用するかによっても異なります。
 - Windows
 - ダウンロード済みの製品ファイル – ユーザーまたは管理者が以前に製品ファイルをダウンロードして、製品ファイルをコンピューター、ネットワーク共有フォルダーまたはメディアにコピーしている場合は、製品ファイルが格納されているフォルダーの最上位に移動し、setup.exe をクリックします。
 - DVD によるインストーラーシステムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入します。通常、インストーラーが自動的に起動します。
 - Mac OS X
 - DVD によるインストーラーシステムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入します。DVD アイコンがデスクトップに表示されたら、アイコンをダブルクリックして DVD の

内容を表示し、InstallForMacOSX アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。



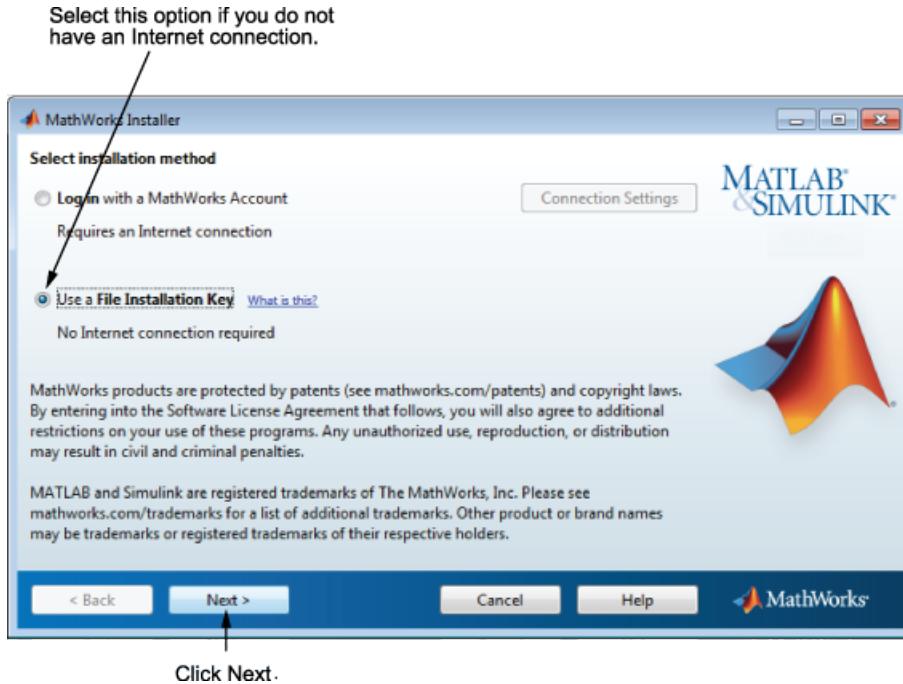
- 内容を表示し、InstallForMacOSX アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。
- Linux
 - ダウンロード済みの製品ファイル – ユーザーまたは管理者が以前に製品ファイルをダウンロードして、解凍したファイルをコンピューター、ネットワーク共有フォルダーまたはメディアにコピーしている場合は、製品ファイルが格納されているフォルダーの最上位に移動し、InstallForMacOSX アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。
 - ./install
 - DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入し、次のコマンドを実行します。
`/path_to_dvd/install &`

システムの構成によっては、最初に DVD をマウントしなければならないことがあります。次のように入力して、実行権限のあるシステムでマウントしてください。DVD ドライブの名前はお使いのシステムで異なる場合があります。

```
mount -o exec /media/cdrom0
```

手順 2: ファイル インストール キーを使用するインストール

インターネットに接続していないなくても、コンピューター、ネットワーク共有フォルダーまたは DVD に格納された製品ファイルにアクセスできる場合は、[ファイル インストール キーを使用する] オプションを選択し、[次へ] をクリックします。



手順 3: ライセンス許諾書の確認

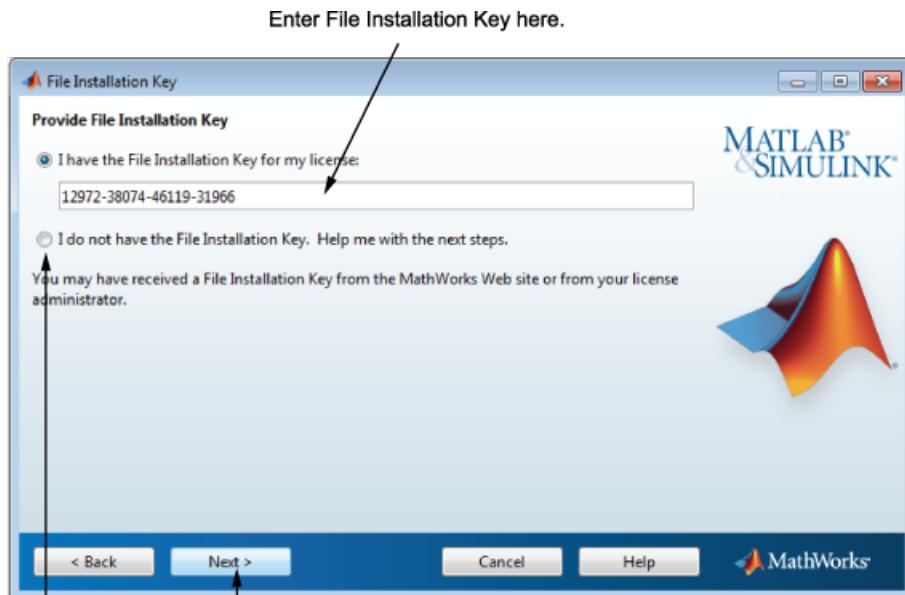
ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択し [次へ] をクリックします。

手順 4: ファイル インストール キーの指定

インターネットへ接続せずに、手動インストールを選択した場合、[ファイル インストール キー] ダイアログ ボックスが表示されます。ファイル インストール キーによって、インストール可能な製品が特定されます。

キーを保有している場合は、[ライセンスに対するファイル インストール キーを保有しています] オプションを選択して、ファイル インストール キーを入力し、[次へ] をクリックします。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからファイル インストール キーを取得できます。

キーを保有していない場合は、[ファイル インストール キーがありません。] オプションを選択して、[次へ] をクリックします。インストーラーには、キーの取得に必要な情報が表示されます。



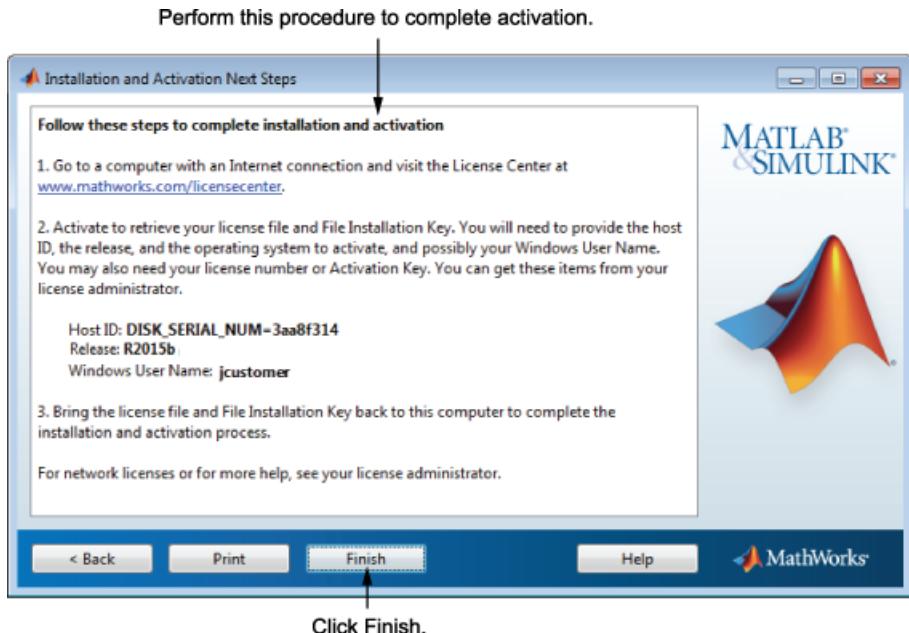
Select this option to
gather the information
needed to get a File
Installation Key.

Click Next.

ファイル インストール キーがない場合

[インストールとアクティベーションの次のステップ] ダイアログ ボックスには、MathWorks Web サイトのライセンス センターからファイル インストール キーを取得するために必要な情報が表示されます。この情報は、次の項目を含みます。

- ・ ホスト ID
- ・ リリース番号 (例: R2015b)
- ・ オペレーティング システムのユーザー名 (アクティベーション時にはユーザー名の大文字と小文字が区別されます)。



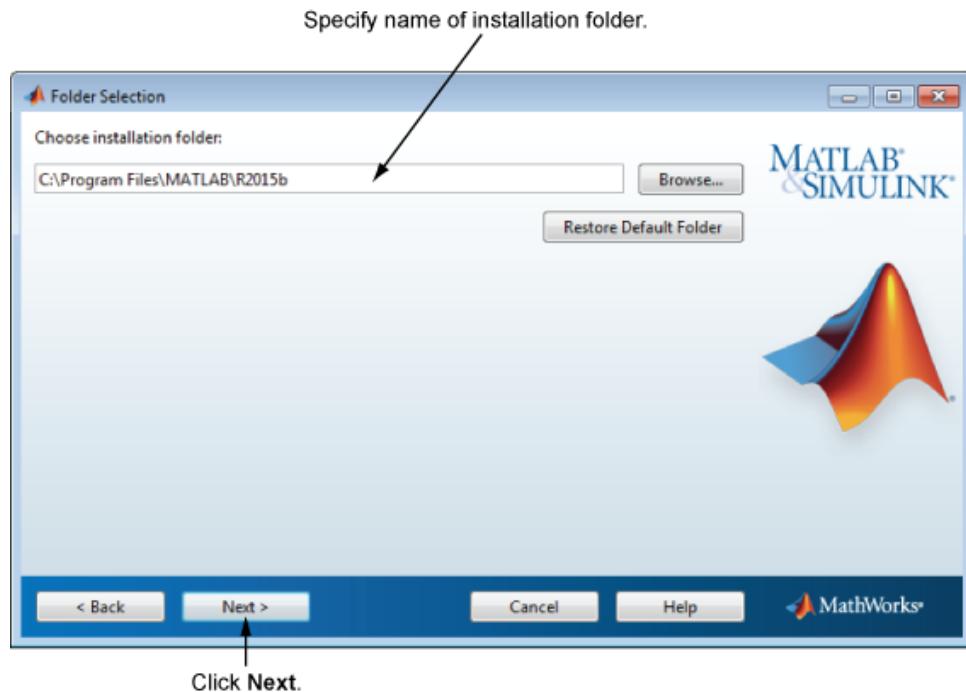
ファイル インストール キーを取得するには、次の手順に従います。

- 1 このダイアログ ボックスに表示される情報をコピーし、[終了] をクリックしてインストーラーを終了します。Windows および Linux システムでは、[印刷]/[Print] をクリックして情報を印刷できます。
- 2 インターネットに接続しているコンピューターに移動し、MathWorks Web サイトのアカウントにログインします。
- 3 ライセンス センターにアクセスし、このダイアログ ボックスに表示されていた情報を入力します。MathWorks では、この情報を使用してライセンス ファイルとライセンス用のファイル インストール キーを生成します。
- 4 インストールを実行するコンピューターに戻り、インストーラーを再実行します。ファイル インストール キーとライセンス ファイルの取得により、インターネットに接続していないソフトウェアをインストールし、アクティベートできるようになりました。

手順 5: インストール フォルダーの指定

MathWorks 製品をインストールするフォルダーの名前を指定します。既定のインストール フォルダーを使うか、[参照] をクリックして別のフォルダーを選択します。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

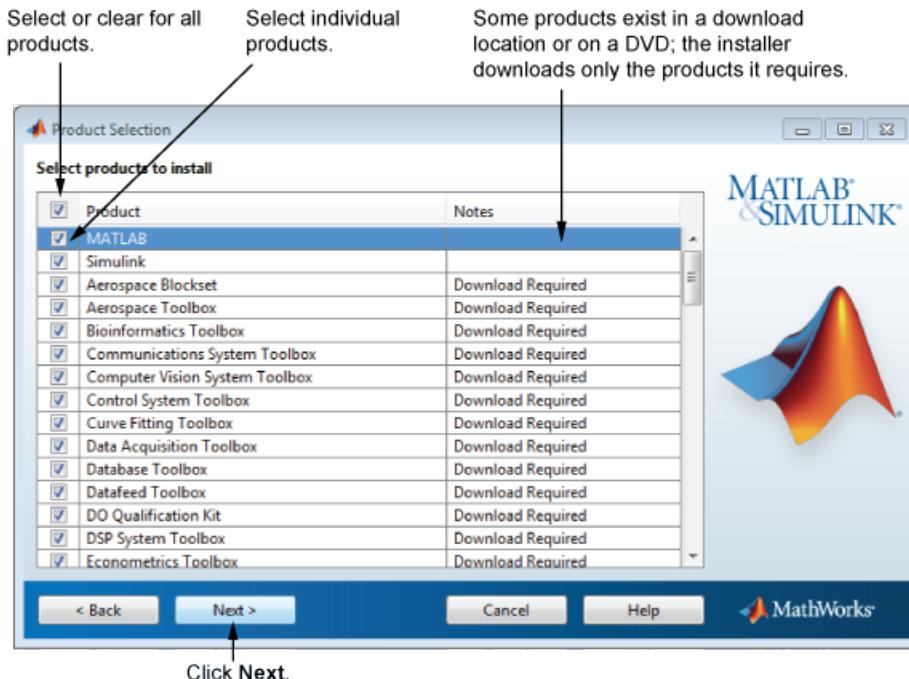
フォルダ名を指定するときは、任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。フォルダ名の入力を誤った場合にやり直すには、[既定のフォルダーに戻す] をクリックします。選択を行ったら、[次へ] をクリックします。



手順 6: インストールする製品の指定

[製品選択] ダイアログ ボックスで、インストールする製品を指定します。このダイアログ ボックスには、選択したライセンス、または指定したアクティベーション キーに関連付けられているすべての製品が一覧表示されます。ダイアログ ボックスでは、すべての製品があらかじめ選択された状態になっています。インストール対象外の製品がある場合は、製品名の横のチェック ボックスをオフにします。

インストールする製品の選択が完了したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



メモ: 製品ファイルがコンピューターに存在しない、またはインストーラーが製品ファイルと同じフォルダー内に存在しない場合、インストーラーはインストールする製品を検出できません。

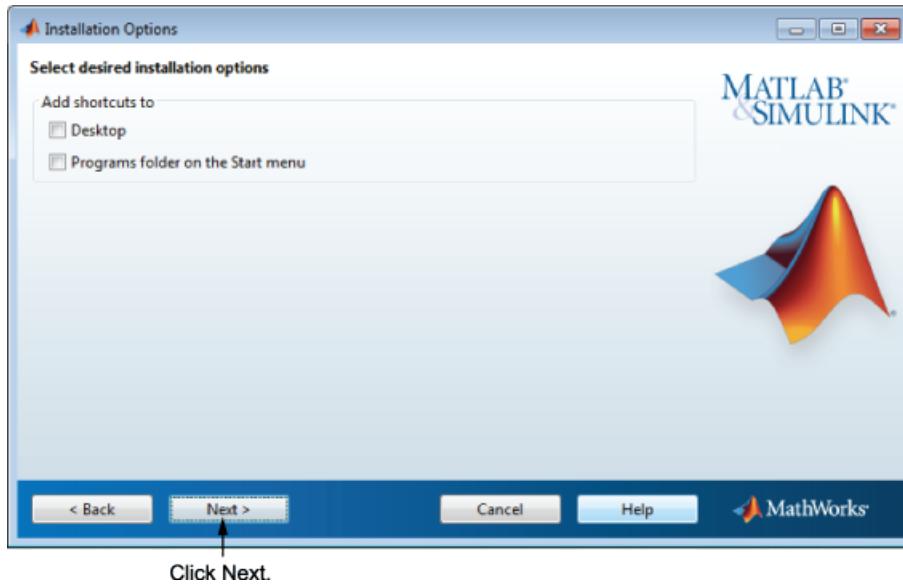
手順 7: インストール オプションの指定

プラットフォームに応じて、次のようないくつかのインストール オプションを指定できます。

Windows システム

Windows では、[インストール オプション] ダイアログ ボックスで、[スタート] メニューとデスクトップに MATLAB の起動用ショートカットを配置するかどうかを選択できます。

インストール オプションを選択したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

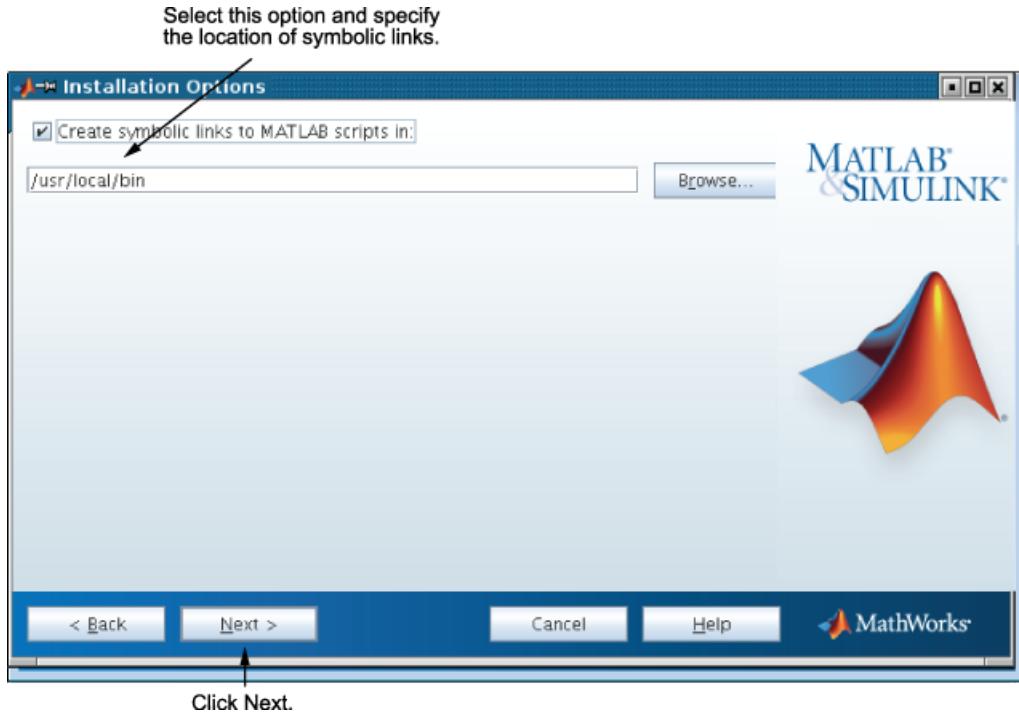


Click Next.

Linux システム

Linux システムでは、matlab および mex スクリプトへのシンボリックリンクを作成するかどうかを指定できます。書き込み権限のあるフォルダーを指定します。すべてのユーザーのパスに共通する、/usr/local/bin などのフォルダーにしてください。

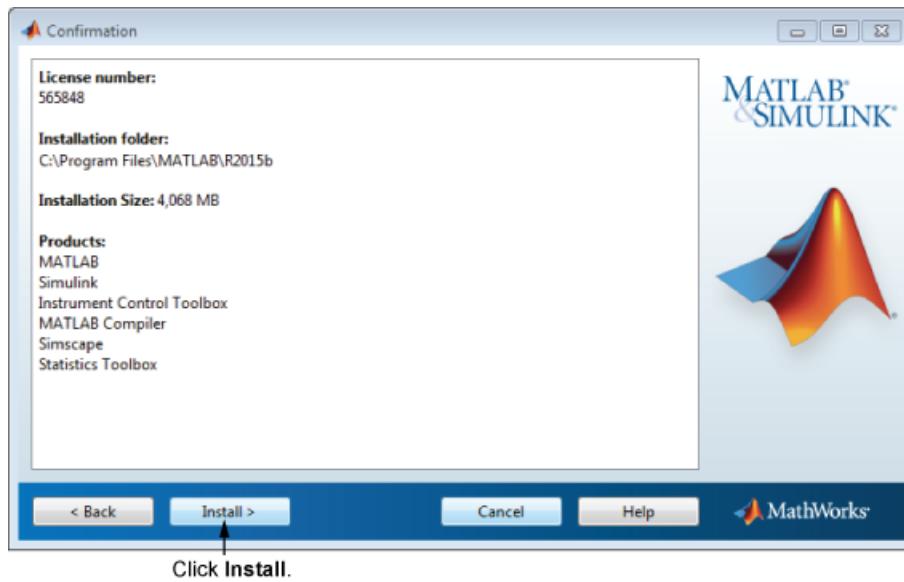
インストール オプションを選択したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



手順 8: 選択内容の確認

ソフトウェアをハードディスクにインストールする前に、インストーラーにインストール内容の要約が表示されます。設定を変更するには、[戻る] をクリックします。インストールを続行するには、[インストール] をクリックします。

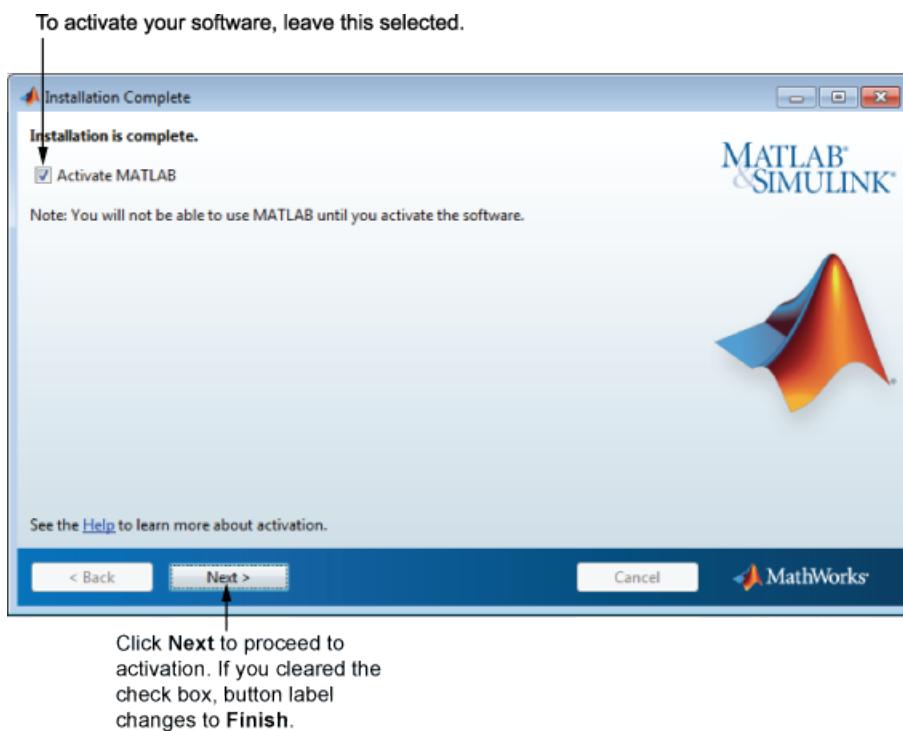
メモ: 使用するインストール方法によっては、確認情報がここで示される例とは異なる場合があります。



手順 9: インストールの完了

インストールが正常に完了すると、[インストールの完了] ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスでは、インストールしたソフトウェアのアクティベーションを行うかどうかを選択できます。インストールしたソフトウェアは、アクティベーションを行うまで使用できません。インストール直後にアクティベーションを行うと、最も早く MATLAB の使用を開始できます。[次へ] をクリックして、アクティベーションを実行します。

アクティベーションを行わずにインストーラーを終了する場合は、[MATLAB のアクティベーション] オプションをオフにします。ボタンのラベルが変更されるので、[終了] をクリックします。この場合は、アクティベーション アプリケーションを使用して、後でアクティベーションを行うことができます。



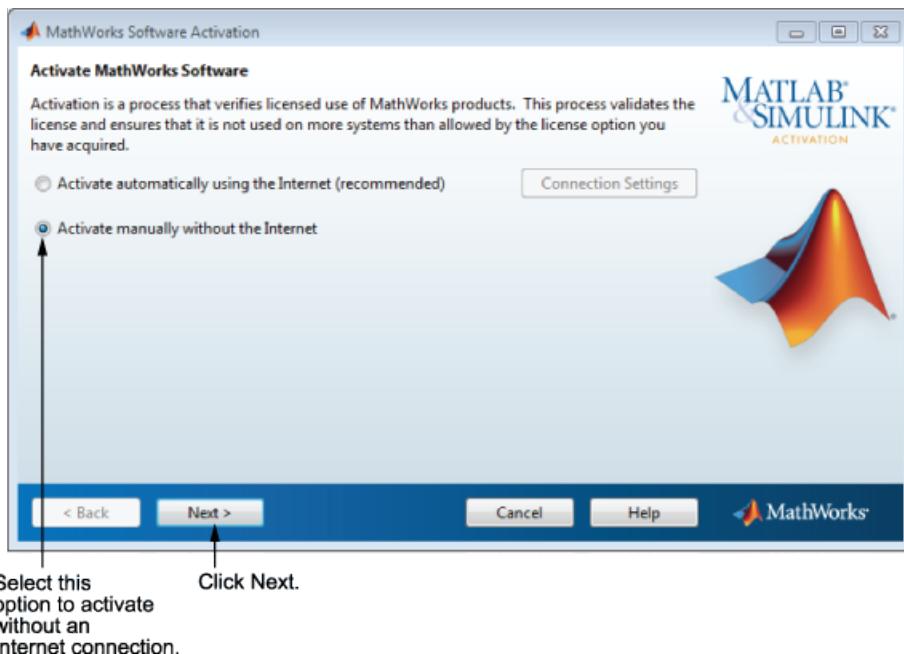
インターネットを使用しないインストールのアクティベーション

この節の内容...

- 「手順 1: アクティベーションの開始」(p. 1-52)
- 「手順 2: ライセンス ファイルのパスの指定」(p. 1-53)
- 「手順 3: アクティベーションの完了」(p. 1-54)

手順 1: アクティベーションの開始

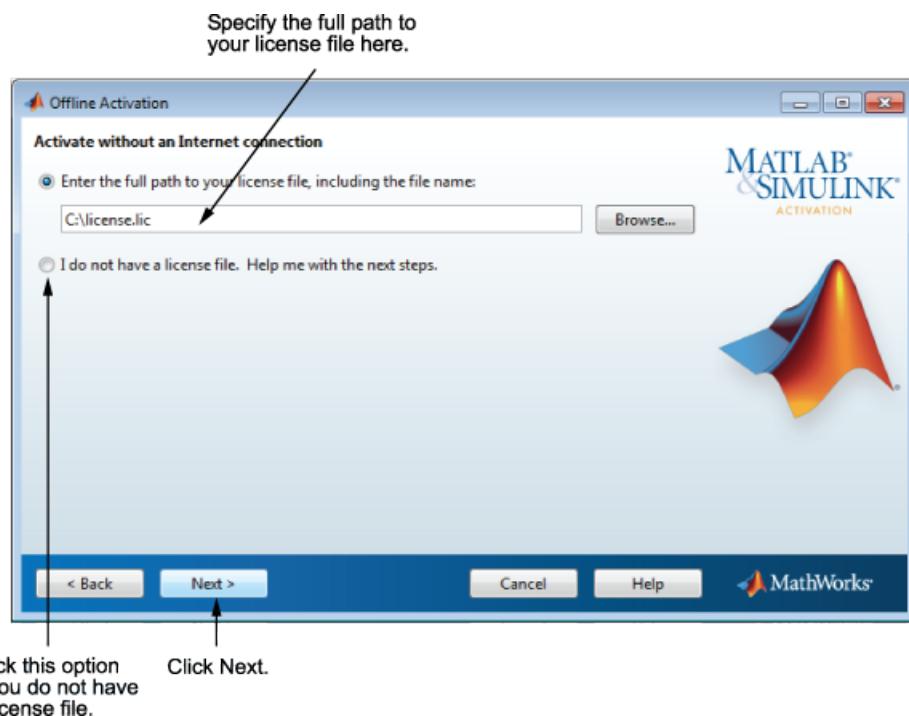
インストール中に MathWorks アカウントにログインしなかった場合、またはアクティベーション アプリケーションを単独で起動した場合は、アクティベーションを自動または手動のいずれで実行するかを選択しなければなりません。[インターネットを使わずに手動でアクティベーションを行う (推奨)] オプションを選択して、[次へ] をクリックします。



手順 2: ライセンス ファイルのパスの指定

インターネットに接続しないでアクティベーションを行うには、ライセンス ファイルが必要です。ライセンス ファイルによって、実行できる製品が特定されます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからライセンス ファイルを取得できます。[ライセンスファイルへのパスを入力] オプションを選択し、ライセンス ファイルの絶対パスをテキスト ボックスに入力するか、ファイルをドラッグ アンド ドロップして、[次へ] をクリックします。

ライセンス ファイルを保有していない場合は、[ライセンス ファイルがありません。] オプションを選択し、[次へ] をクリックして、ライセンス ファイルの取得方法に関する情報を入手します。

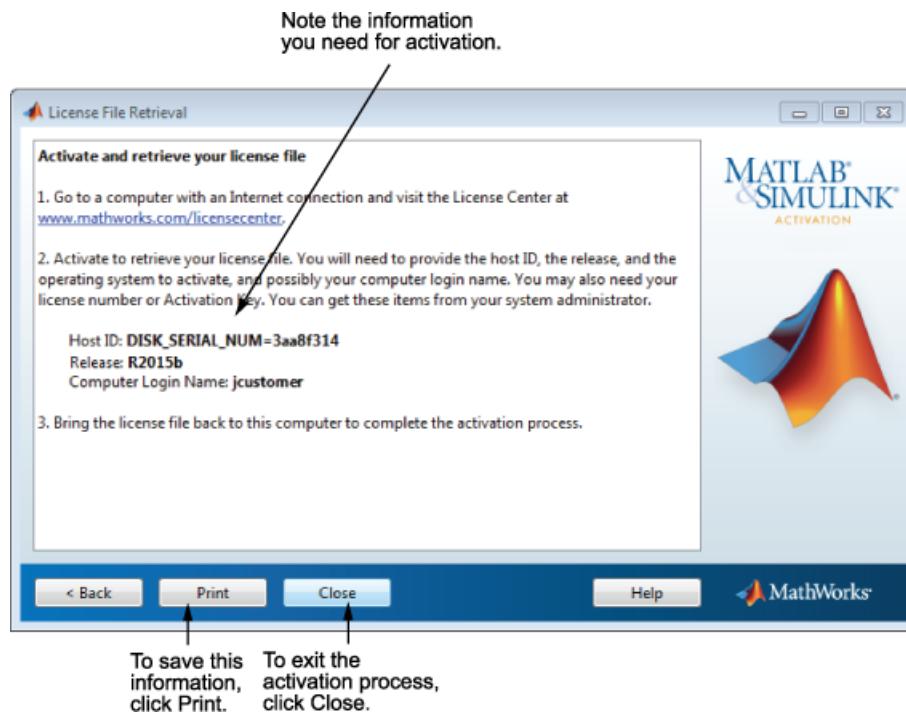


ライセンス ファイルがない場合

このダイアログ ボックスに表示されている情報を保存します。[印刷] をクリックして、この情報を印刷することができます。印刷した情報をもってインターネットに接続されているコンピューターに移動し、MathWorks Web サイトのライセンス センターにアクセスします。MathWorks では、この情報を使用してライセンス ファイルとライセンス用のファイル インストール キーを生成します。ソフトウェアを

インストールしてアクティベーションを行うコンピューターに戻る際には、この情報を使用してください。アクティベーション アプリケーションを終了するには、[終了] をクリックします。

メモ: インストールのアクティベーションはまだ行われていません。ライセンス ファイルを取得するまでは MATLAB を実行できません。



手順 3: アクティベーションの完了

インストールをアクティベートした後、[終了] をクリックしてアクティベーション プロセスを終了します。

インストール管理の作業

この節の内容...

- 「MATLAB ソフトウェアの起動」(p. 1-55)
- 「ライセンスの更新」(p. 1-56)
- 「MATLAB 起動フォルダーの設定」(p. 1-56)
- 「MATLAB 環境オプションの設定」(p. 1-56)
- 「MATLAB ソフトウェアに関する情報ソース」(p. 1-57)

MATLAB ソフトウェアの起動

MATLAB ソフトウェアの起動方法は、プラットフォームによって異なります。

- Windows システム:
 - Windows 8 を実行しているシステムでは、Windows のスタート画面またはデスクトップに移動して、[MATLAB R2015b] アイコンをクリックします。



- Windows 7 を実行しているシステムでは、Windows の [スタート] メニューをクリックして、[MATLAB R2015b] を選択します。
- Windows XP を実行しているシステムでは、Windows の [スタート] メニューをクリックし、[すべてのプログラム]、[MATLAB]、[R2015b] を選択して、[MATLAB R2015b] をクリックします。
- インストール中にショートカットをデスクトップに作成するように選択した場合は、デスクトップの MATLAB アイコンをダブルクリックします。



- matlabroot/bin に移動します。ここで、matlabroot は MATLAB をインストールしたフォルダーです。matlab.exe をダブルクリックします。
- Linux システム:
 - matlab コマンドをシステム プロンプトで入力します。インストール中に [インストール オプション] ダイアログ ボックスでシンボリック リンクを設定しなかった場合は、絶対パス名

`matlabroot/bin/matlab` を入力しなければなりません。ここで、`matlabroot` は MATLAB インストール フォルダーの名前です。

- Mac OS X システム:
 - インストール フォルダーに移動し、MATLAB アイコンをダブルクリックします。



ライセンスの更新

ライセンス契約期間中、MATLAB インストールは定期的に MathWorks と通信して、ライセンスが最新のものであることを確認します。ライセンスが最新のものである場合、ユーザーは検証の過程に気付きません。検証プロセスによってライセンスの更新が必要であると判断されると、ライセンス更新のオプションを提供するダイアログ ボックスが表示されます。

この検証プロセスは、MathWorks Web サイトのライセンス センターで無効にすることができます。手順の詳細は、ライセンス センターのヘルプを参照してください。

MATLAB 起動フォルダーの設定

デスクトップのショートカットを使用して MATLAB を起動する場合、初期の現在のフォルダー（または起動フォルダー）は `My Documents\MATLAB` になります（「手順 8: インストール オプションの指定」(p. 1-19) でインストーラーによってこのショートカットを作成することを選択できます）。起動フォルダーの指定方法の詳細は、MATLAB の『デスクトップ ツールと開発環境』ドキュメンテーションを参照してください。

MATLAB 環境オプションの設定

MATLAB 環境オプションをカスタマイズするには、`matlabroot/toolbox/local` フォルダーに `startup.m` という名前のファイルを作成して、それにコマンドを追加します。たとえば、`startup.m` ファイルを使用すると、ようこそメッセージや既定の定義を指定したり、MATLAB の起動時に毎回実行する MATLAB 式を指定したりできます。`local` フォルダーに `startupsav.m` という名前のサンプルのスタートアップ ファイルがあります。このファイルの名前を変更して、自分のニーズにあったスタートアップ ファイルを作成する開始点として使用することができます。

MATLAB コマンド プロンプトで適切なコマンドを入力し、追加の設定を行います。たとえば、MATLAB Notebook を設定するには、notebook -setup と入力します。MATLAB 外部インターフェイスと連動するコンパイラを設定するには、mex -setup と入力します。

MATLAB ソフトウェアに関する情報ソース

MATLAB を正常にインストールした後は、MATLAB をすぐに使用したいと思われていることでしょう。次の表には、MATLAB を初めて使用する際に役立つ、さまざまな情報源や機能説明のソースをまとめてあります。

タスク	説明
MATLAB とその機能に関する概要を確認する	MATLAB の『ご利用の前に』を参照してください。
本リリースの新機能を確認する	『リリース ノート』を参照してください。
製品を起動する、または、製品のデモ プログラムにアクセスする	[アプリケーション] タブをクリックし、アプリケーション ギャラリーを参照して、起動するアプリケーションを見つけます。
MATLAB の特定の機能に関する情報を取得する	[ホーム] タブの [リソース] セクションで、[ヘルプ]、[ドキュメンテーション] をクリックして、HTML 形式でハイパークリンクされた参照先やチュートリアルを表示します。
ドキュメンテーションで回答が見つからない特定の質問に役立つヘルプを取得する	MathWorks Web サイト (www.mathworks.com) にアクセスし、[サポート] をクリックしてから回答を検索します。

MathWorks 製品のアンインストール

MathWorks ソフトウェアをコンピューターからアンインストールする方法は、プラットフォームによって異なります。

メモ: ライセンスのアクティベーションの停止とソフトウェアの削除は、2つの独立した操作です。コンピューターからソフトウェアを削除せずに、ライセンスのアクティベーションを停止することができます。ソフトウェアのアクティベーション停止の詳細は、「インストールのアクティベーションの停止」(p. 1-62)を参照してください。

Windows システム上の製品の削除

MathWorks 製品をシステムから削除(アンインストール)するには、次の手順に従います。

- 1 MATLAB ソフトウェアを終了します。
- 2 以下のいずれかの方法を使用して、アンインストーラーを起動します。
 - Windows 8 を実行しているシステムでは、スタート画面からコントロール パネルを見つけてます。[コントロール パネル] の [プログラム] カテゴリから、[プログラムのアンインストール] を選択します。表示されている製品リストで [MATLAB R2015b] をクリックします。
 - Windows 7 を実行しているシステムでは、[スタート] ボタンをクリックし、[コントロール パネル] を選択します。[コントロール パネル] の [プログラム] カテゴリから、[プログラムのアンインストール] を選択します。表示されている製品リストで [MATLAB R2015b] をクリックします。
 - Windows XP を実行しているシステムでは、[スタート] ボタンをクリックし、[設定]、[コントロール パネル]、[プログラムの追加と削除] を選択します。製品リストから [MATLAB R2015b] を選択し、[変更と削除] をクリックします。
 - `matlabroot/uninstall/bin/$ARCH` フォルダーに移動します。ここで、`matlabroot` は MATLAB をインストールしたフォルダーで、`$ARCH` は `win64` などのプラットフォーム固有のサブフォルダーです。アンインストーラーの実行可能ファイル、`uninstall.exe` をダブルクリックします。

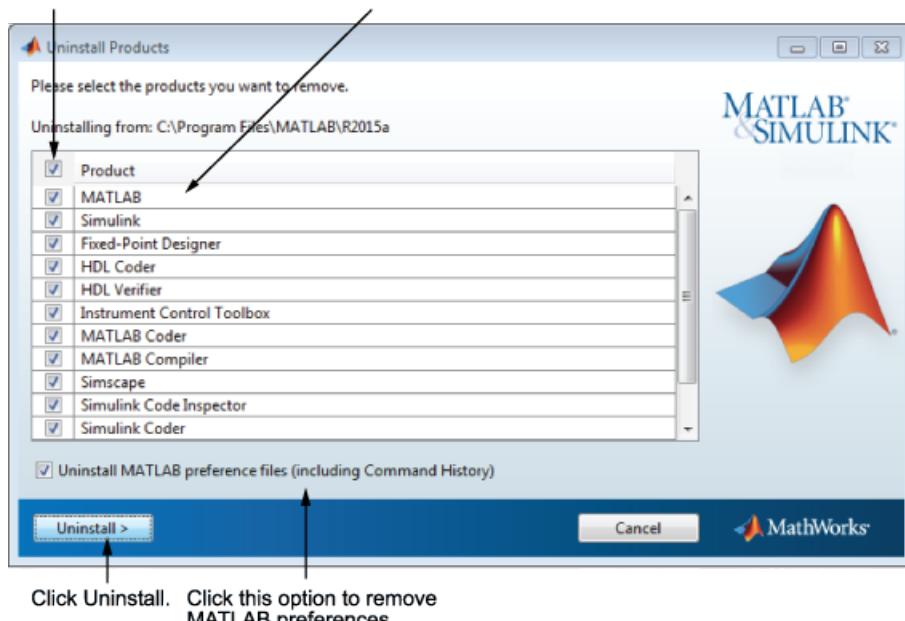
アンインストーラーのプロパティ ファイルを使用してアンインストーラーを非対話モードで実行する方法は、「非対話モードでのアンインストール」(p. 3-68)を参照してください。

- 3 [製品のアンインストール] ダイアログ ボックスで、削除する製品を選択し、[アンインストール] をクリックします。

MATLAB を選択すると、他のすべての MathWorks 製品が自動的に削除されます。

Select or uncheck all products in the list.

Select products you want to uninstall.



Click Uninstall. Click this option to remove MATLAB preferences.

アンインストールしようとしている製品に、別の製品が依存していることを知らせるメッセージが表示される場合があります。たとえば、ほとんどの MathWorks 製品には MATLAB 製品が必要です。メッセージを閉じて製品のアンインストールを続行するには、[OK] をクリックします。削除する製品を変更する場合は、[キャンセル] をクリックします。

MATLAB のユーザー設定も削除する場合は、「MATLAB の設定ファイルのアンインストール (コマンド履歴を含む)」チェック ボックスをオンにします。既定では、アンインストーラーはこれらの設定ファイルを削除しません。MATLAB 設定ファイルには、コマンド履歴やヘルプのお気に入りなどの環境設定が含まれています。MATLAB 設定ファイルの保存場所を見つけるには、次の例に示すように MATLAB プロンプトで `prefdir` コマンドを使用します。

- 4 (オプション) ダウンロードのアーカイブ ファイルを削除するかどうかを選択します。MATLAB インストール フォルダーにダウンロードした製品のアーカイブ ファイルが含まれる場合は、これらのファイルを削除するかどうかを確認するメッセージが表示されます。アーカイブ ファイルは `matlabroot/archives` フォルダーに格納されています。ファイルを削除するには、[はい] をクリックします。

- 5 削除を続行するには [アンインストール] ボタンをクリックします。アンインストーラーでは、操作の進捗状況が表示され、操作が完了するとダイアログ ボックスが表示されます。[終了] をクリックしてアンインストーラーを終了します。MATLAB をアンインストールする場合は、インストールのアクティベーションの停止を推奨するメッセージがダイアログ ボックスに表示されます。アクティベーションの停止の詳細は、「インストールのアクティベーションの停止」(p. 1-62)を参照してください。

Linux システム上の製品のアンインストール

メモ: ライセンスのアクティベーションを停止してソフトウェアを削除する場合は、ソフトウェアを削除する前に、アクティベーションを停止してください。ソフトウェアを削除すると、ソフトウェアのアクティベーションを停止するために使用するアプリケーションも削除されます。アクティベーションの停止の詳細は、「インストールのアクティベーションの停止」(p. 1-62)を参照してください。

- 1 MATLAB プログラムを終了します。
- 2 次のコマンドを Linux プロンプトで入力します。

```
rm -rf matlabroot
```

ここで、matlabroot は最上位の MATLAB インストール フォルダーの名前を表します。

Mac OS X システム上の製品のアンインストール

メモ: MATLAB インストールを削除すると、アクティベーション停止アプリケーションも削除されるため、インストールを削除する前にアクティベーションを停止するのが最適です。ソフトウェアのアクティベーションの停止の詳細は、「インストールのアクティベーションの停止」(p. 1-62)を参照してください。

MATLAB のインストールを削除するには、次の手順に従います。

- 1 Mac OS X システムの管理者アカウントのユーザー名とパスワードを取得します。MATLAB ソフトウェアをインストールした場所に応じて、削除するには管理者権限が必要な場合があります。
- 2 MATLAB のインストールを削除する前に MATLAB を終了します。lmdown コマンドを使用してライセンス マネージャーを停止します。

- 3 MATLAB インストール フォルダーに移動します。たとえば、インストール フォルダーには、Applications フォルダー内で MATLAB_R2015b.app という名前が付けられています。
- 4 MATLAB インストール フォルダーをゴミ箱にドラッグし、[Finder] メニューの [ゴミ箱を空にする] を選択します。

インストールのアクティベーションの停止

インストールのアクティベーションを停止すると、特定のコンピューターで MathWorks ソフトウェアが使用できなくなります。アクティベーションの停止は、複数のコンピューターにおけるソフトウェアの使用を管理するためには効果的な方法です。たとえば、新しいコンピューターにソフトウェアをインストールしてアクティベーションを行う際に、ライセンスで許可されているアクティベーションが既にすべて実行済である場合、1 台のコンピューターで既存のアクティベーションを停止すれば、新しいコンピューターでアクティベーションを行えるようになります。

アクティベーションを停止するには、2 つの段階があります。まず、ご利用のコンピューターでライセンスのアクティベーションを停止してから、MathWorks のシステムでライセンスのアクティベーションを停止します。インターネットに接続している場合は、MathWorks のアクティベーション停止アプリケーションによって、両方の操作が処理されます。インターネットに接続していない場合は、アクティベーション停止アプリケーションによってコンピューターのソフトウェアが無効になり、アクティベーション停止文字列が提示されます。アクティベーション停止処理を完了するには、MathWorks Web サイトにアクセスしてアカウントにログインし、アクティベーション停止文字列を使用してアクティベーションを停止します。ライセンスのアクティベーションを停止すると、特定のコンピューターで、このライセンスのすべてのインストールに対するアクティベーションが停止されます。

メモ: ライセンスのアクティベーションの停止とソフトウェアの削除は、2 つの独立した操作です。コンピューターからソフトウェアを削除せずに、ライセンスのアクティベーションを停止することができます。インストールの削除の詳細は、「MathWorks 製品のアンインストール」(p. 1-58)を参照してください。

コンピューター上のライセンスのアクティベーションを停止するには、以下の手順に従います。

- 1 以下のいずれかの方法を使用して、アクティベーション停止アプリケーションを起動します。
 - ・ アンインストーラーの実行後に、アクティベーション停止の開始を選択します。
 - ・ 認証確認でインストールが有効でないことが検出された後に、アクティベーション停止の開始を選択します。
 - ・ MATLAB デスクトップの [ヘルプ]、[ライセンス] メニューから、アクティベーション停止のオプションを選択します。
 - ・ MATLAB インストール フォルダーに移動します。matlabroot を実行し、アクティベーション停止アプリケーションの実行可能ファイルを起動します。

Windows システム:

```
matlabroot\uninstall\bin\win64\deactivate_matlab.exe
```

Linux システム:

matlabroot/bin/deactivate_matlab.sh

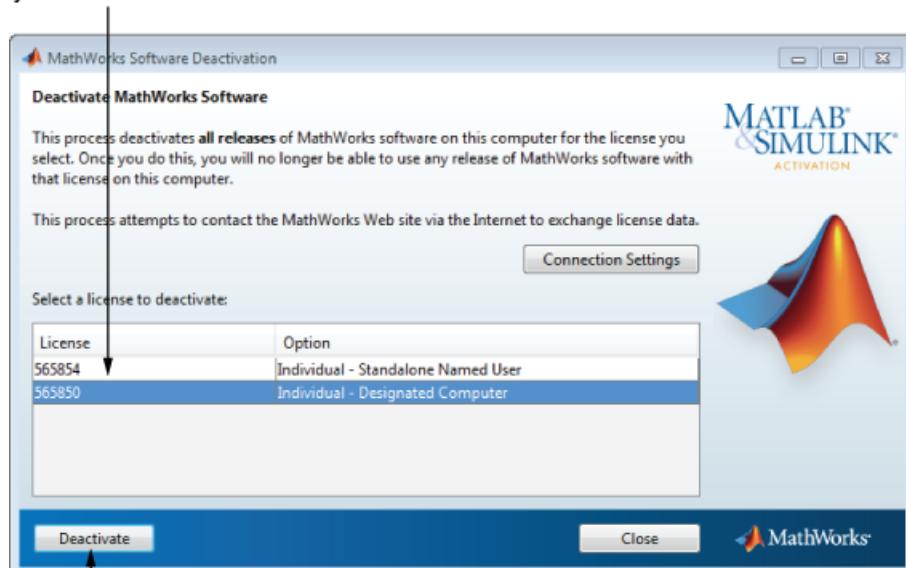
Mac OS X システム:

/Applications/MATLAB_R2015b.app/bin/deactivate_matlab.sh

- Windows 7 を実行しているシステムでは、[スタート] ボタンをクリックし、[MATLAB] を選択します。アクティベーション停止アプリケーションがリストに表示されます。
 - Windows XP を実行しているシステムでは、[スタート] メニューをクリックし、[すべてのプログラム]、[MATLAB]、[R2015b]、[MATLAB R2015b のアクティベーション停止] を選択することができます。
- 2 アクティベーションを停止するライセンスを選択して、[アクティベーション停止] をクリックします。

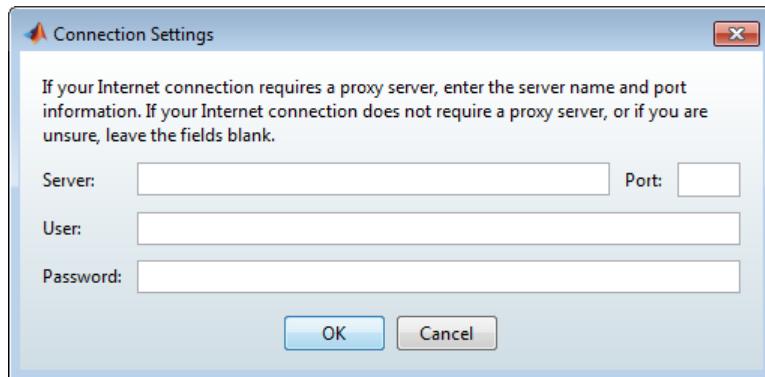
アクティベーション停止アプリケーションが起動すると、現在システムにインストールされていて、アクティベートされているライセンスが表示されます。MATLAB 内からこのアプリケーションを起動すると、使用しているライセンスがあらかじめ選択されています。

Select the license that
you want to deactivate.

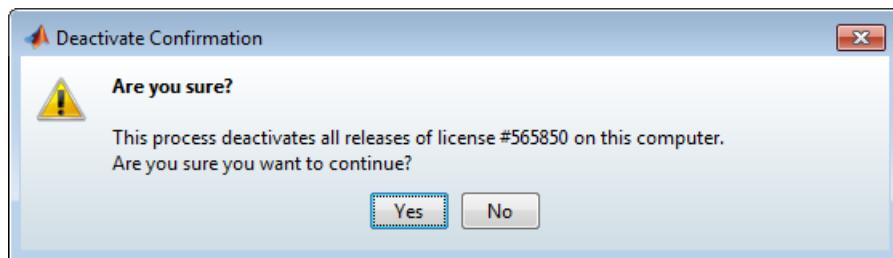


Click Deactivate.

インターネット接続でプロキシ サーバーを必要とする場合は、[接続設定] ボタンをクリックしてサーバー名とポート情報を入力します。[OK] をクリックして、[MathWorks ソフトウェアのアクティベーション停止] ダイアログ ボックスに戻ります。

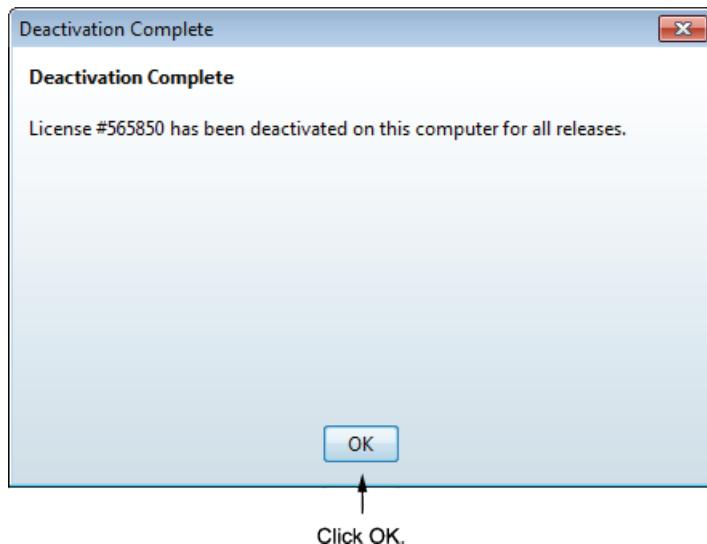


- 3 アクティベーションの停止を確認します。[はい] をクリックすると、アクティベーション停止アプリケーションによって MathWorks への連絡が行われます。

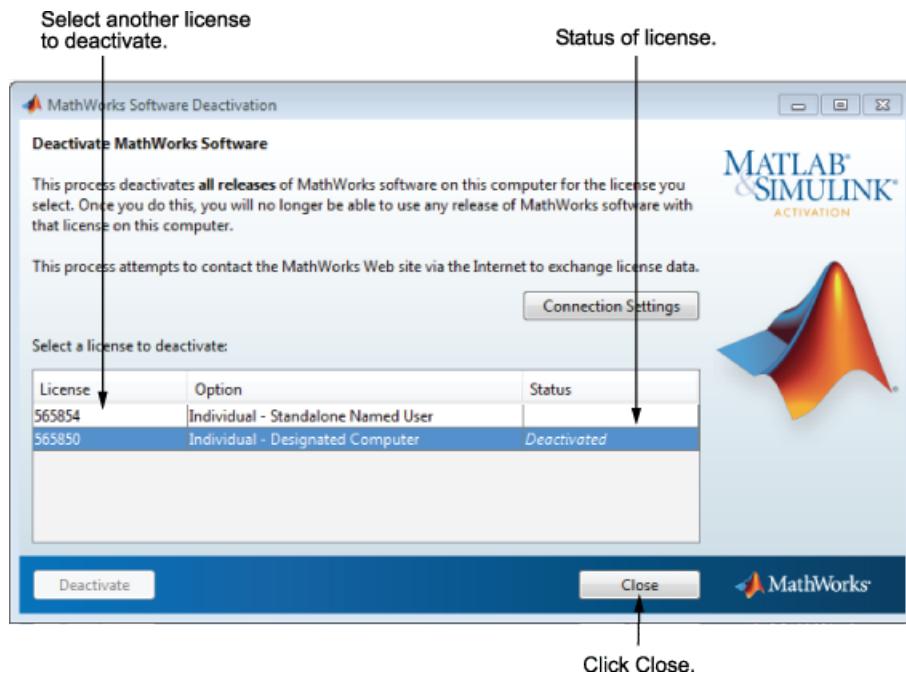


- 4 アクティベーションの停止を完了します。[OK] をクリックします。

アクティベーション停止アプリケーションによって、コンピューターと MathWorks システムのライセンスのアクティベーションを停止できた場合は、[アクティベーション停止完了] ダイアログ ボックスが表示されます。[OK] をクリックして [MathWorks ソフトウェアのアクティベーション停止] ダイアログ ボックスに戻ります。必要であれば、このダイアログ ボックスで他のライセンスを選択して、ライセンスのアクティベーションを停止することができます。



- 5 ライセンスのアクティベーションの停止後、[MathWorks ソフトウェアのアクティベーション停止] ダイアログ ボックスには新しい列が追加され、ライセンスの状態が表示されます。別のライセンスのアクティベーションを停止するには、一覧からそのライセンスを選択し、[アクティベーション停止] をクリックします。完了したら、[閉じる] をクリックしてアクティベーション停止アプリケーションを終了します。



システム要件

システム要件に関する最新情報は、MathWorks Web サイト (www.mathworks.com) にアクセスしてください。

ライセンス管理者向けのインストール

- ・ 「ライセンス管理者向けのインストール手順」(p. 2-2)
- ・ 「個々のコンピューターへのインストール」(p. 2-3)
- ・ 「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」(p. 2-15)

ライセンス管理者向けのインストール手順

ライセンス管理者がインストールを行う場合は、以下を実行できます。

- ・ ログインしているコンピューターに MATLAB ソフトウェアをダウンロードし、インストールする。
- ・ 場所を指定して MATLAB 製品をダウンロードし、その製品を後でインストールする。以下の操作を実行できます。
 - ・ 複数のプラットフォーム用に製品をダウンロードする。
 - ・ ダウンロードしたソフトウェアを 1 台または複数台のコンピューターにインストールする。
- ・ ファイル インストール キーを使用した製品のインストールこの手順は、DVD またはダウンロード済みの製品をお持ちで、インターネットへの接続がない場合に使用します。ファイル インストール キーを使用したインストール手順の詳細は、「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」(p. 1-39)を参照してください。

自分が 1 つまたは複数のライセンスの管理者であるかどうかを調べるには、以下の手順に従います。

- 1 MathWorks アカウントにログインします。
- 2 [ライセンスを管理する] を選択します。
- 3 表示されたリストからライセンスを見つけます。

どちらのインストール方法でも、アクティベーションは、ライセンスを付与されたエンド ユーザーの場合と同じです。アクティベーションの詳細は、「MathWorks アカウントを使用するインストールのアクティベーション」(p. 1-26)を参照してください。

個々のコンピューターへのインストール

この節の内容...

- 「はじめる前に」(p. 2-3)
- 「手順 1: インストーラーの起動」(p. 2-3)
- 「手順 2: ログイン オプションの選択」(p. 2-5)
- 「手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認」(p. 2-7)
- 「手順 4: 自分の MathWorks アカウントへのログイン」(p. 2-7)
- 「手順 5: [インストール] の選択」(p. 2-8)
- 「手順 6: ライセンスの選択」(p. 2-9)
- 「手順 7: インストール フォルダーの指定」(p. 2-10)
- 「手順 8: インストールする製品の指定」(p. 2-11)
- 「手順 9: 選択内容の確認」(p. 2-13)
- 「手順 10: インストールの完了」(p. 2-13)
- 「アクティベーション」(p. 2-14)

はじめる前に

この手順を使用するには、インストーラーで選択するライセンスの管理者でなければなりません。

インストール中は、システムのウイルス対策ソフトウェアとインターネット セキュリティ アプリケーションを無効にしてください。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応が示されない可能性もあります。

インターネットに接続できない場合は、「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」(p. 2-15)の説明に従って製品ファイルをダウンロードし、ファイルをアクセス可能な場所にコピーするか、お持ちの MATLAB DVD を見つけます。次に、ファイル インストール キーを使用して製品をインストールします。詳細は、「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」(p. 1-39)を参照してください。

手順 1: インストーラーの起動

- 1 MathWorks Web サイトからインストーラーをダウンロードするか、お持ちの MATLAB の DVD を見つけます。

Web サイトでインストーラーを選択すると、製品ファイルではなく、選択したプラットフォームでインストーラーを実行するために必要なファイルが渡されます。インストーラーを実行して、ログインしているコンピューターにインストールする製品を選択します。必要に応じて、インストーラーが MathWorks から製品をダウンロードします。

- 2 インストーラーを起動します。インストーラーの起動方法は、プラットフォームによって異なります。また、MathWorks Web サイトからインストーラーをダウンロードしたか、DVD を使用するかによっても異なります。

- Windows

- ダウンロードしたインストーラー ファイル – MathWorks Web サイトでインストーラーを選択して [実行] をクリックすると、インストーラーが自動的に起動します。インストーラーを保存した場合は、保存先のフォルダーにある自己解凍形式のインストーラー ファイルをダブルクリックします。自己解凍形式のインストーラー ファイルの名前は `matlab_release_{$ARCH}` です。`release` はインストールするリリース (R2015b など) を、`ARCH` は選択したアーキテクチャを示します。

解凍の完了後に、インストーラーが自動的に起動します。

後でインストーラーを再起動するには、`setup.exe` をクリックします。このファイルは、ファイルを解凍したフォルダーの最上位にあります。

- DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入します。通常、インストーラーが自動的に起動します。

- Mac OS X

- ダウンロードしたインストーラー ファイル – MathWorks Web サイトからダウンロードしたアーカイブ ファイルをダブルクリックして、ファイルを解凍します。ファイルの解凍後、インストーラー フォルダーを開いて `InstallForMacOSX.app` をダブルクリックします。
- DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入します。DVD アイコンがデスクトップに表示されたら、アイコンをダブルクリックして DVD の内容を表示し、`InstallForMacOSX` アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。



- Linux

- ・ ダウンロードしたインストーラー ファイル – unzip コマンドを使用して、MathWorks Web サイトからダウンロードしたアーカイブ ファイルからファイルを解凍します。ファイルの解凍後、次のインストーラー コマンドを実行します。

```
./install
```

DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入し、次のコマンドを実行します。

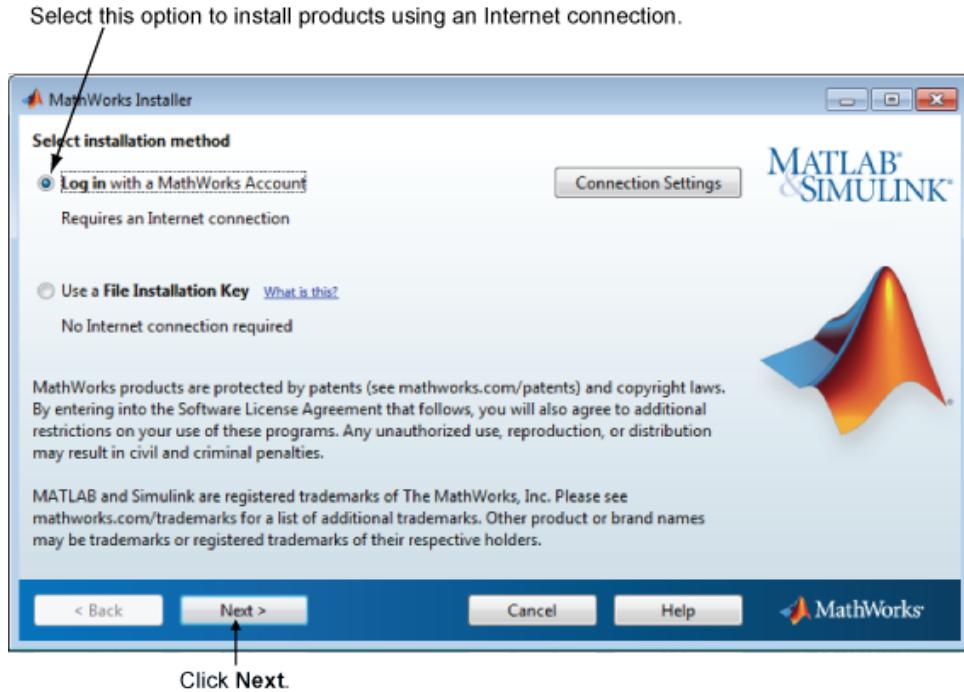
```
/path_to_dvd/install &
```

システムの構成によっては、最初に DVD をマウントしなければならないことがあります。次の例のように、必ず実行権限を指定してマウントしてください。DVD ドライブの名前は、お使いのシステムでは異なっている場合があります。

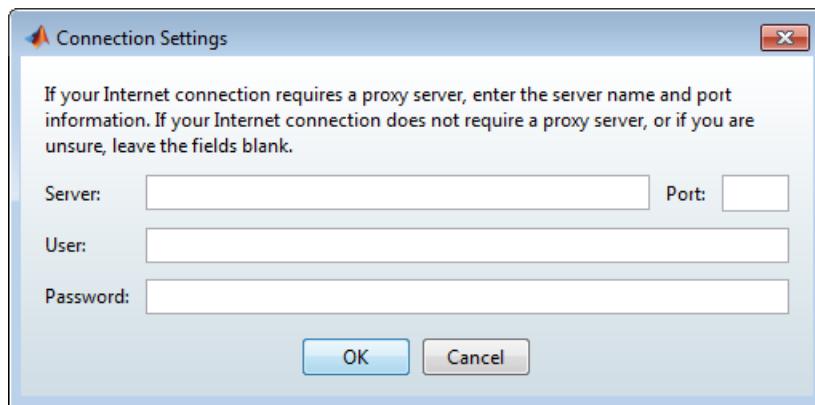
```
mount -o exec /media/cdrom0
```

手順 2: ログイン オプションの選択

[MathWorks アカウントでログインする] オプションをオン (既定) にしておき、[次へ] をクリックします。インストール中に MathWorks アカウントにログインし、インストールするライセンスを選択してインストーラーの指示に従います。



インターネット接続にプロキシ サーバーを必要とする場合は、[接続設定] をクリックします。[接続設定] ページに、サーバー名、ポートおよびパスワードを入力します。MathWorks は基本認証とダイジェスト認証のプロキシ設定をサポートしています。



メモ: Windows システムでは、インストーラーは、既定でシステムのプロキシ設定を使用します。プロキシ サーバーがログインを要求する場合、インストーラーはログイン情報の入力を指示するプロンプトを表示します。

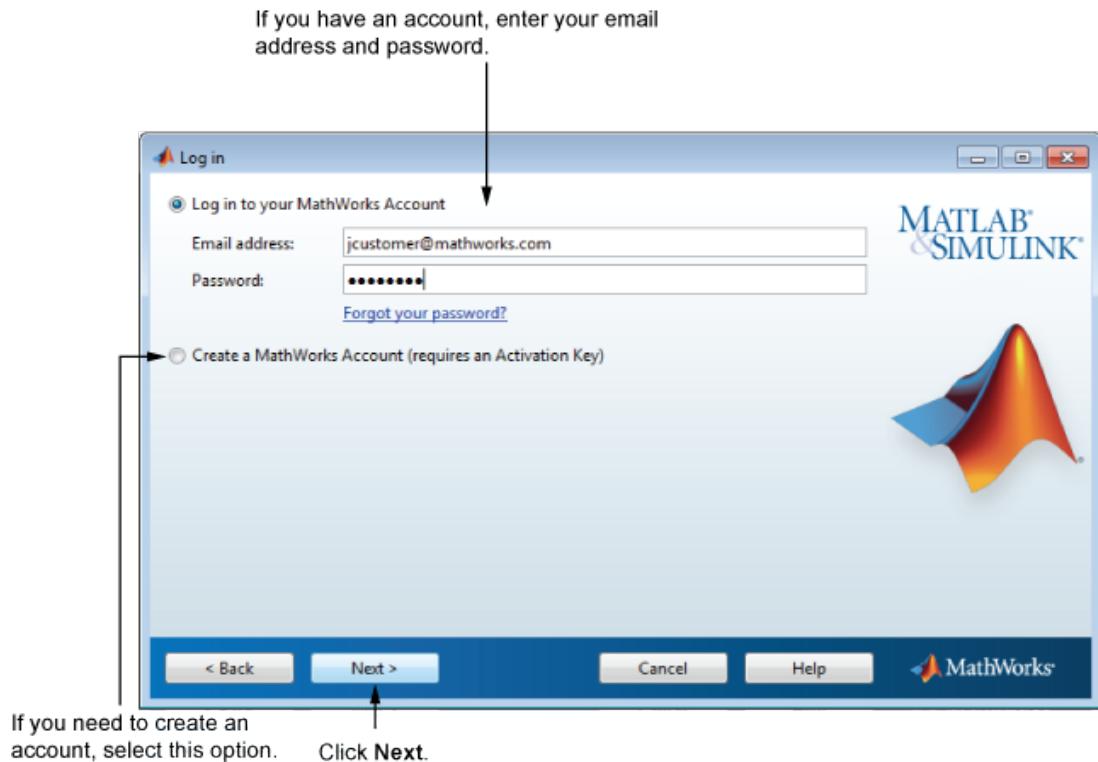
手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択し [次へ] をクリックします。

手順 4: 自分の MathWorks アカウントへのログイン

MathWorks アカウントにログインするには、電子メール アドレスとパスワードを入力して、[次へ] をクリックします。インストーラーにより MathWorks へのアクセスが行われ、アカウントに関連付けられたライセンスに関する情報が取得されます。

MathWorks アカウントを保有していない場合は、[MathWorks アカウントを作成する (アクティベーション キーが必要)] オプションを選択して [次へ] をクリックします。アカウントの作成に必要なデータの入力を指示するプロンプトが表示されます。

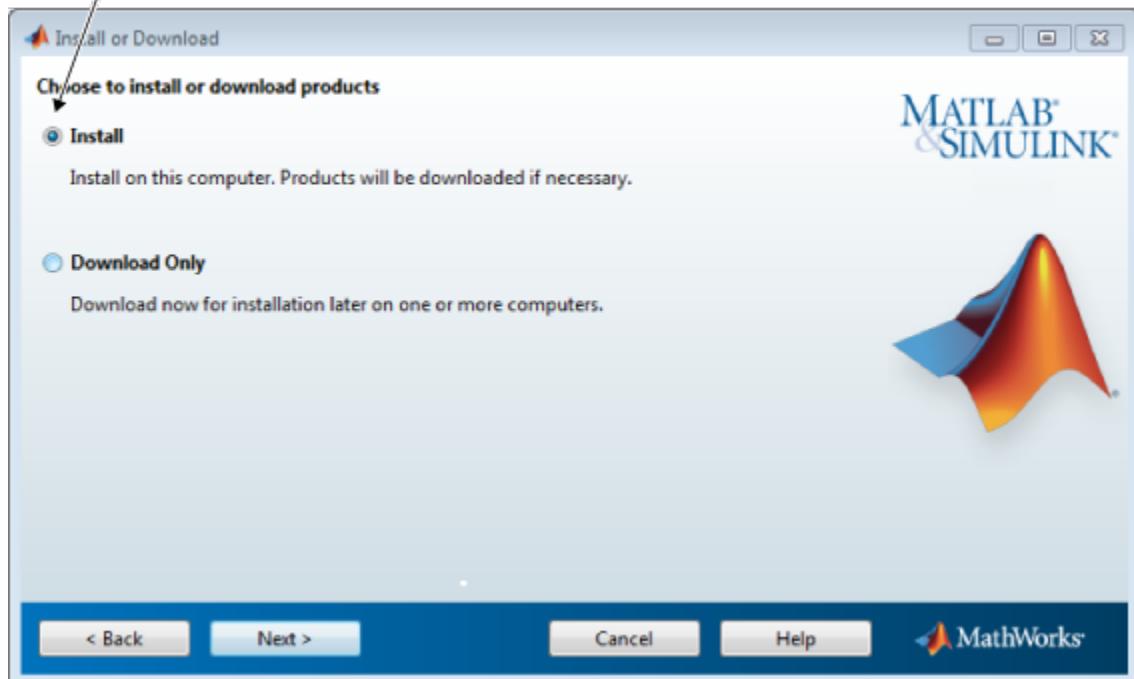


手順 5: [インストール] の選択

[インストール] を選択します。

このオプションを選択すると、必要に応じて MathWorks からソフトウェアがダウンロードされ、現在ログインしているコンピューターにソフトウェアがインストールされます。

To download and install the software immediately, select this option.



手順 6: ライセンスの選択

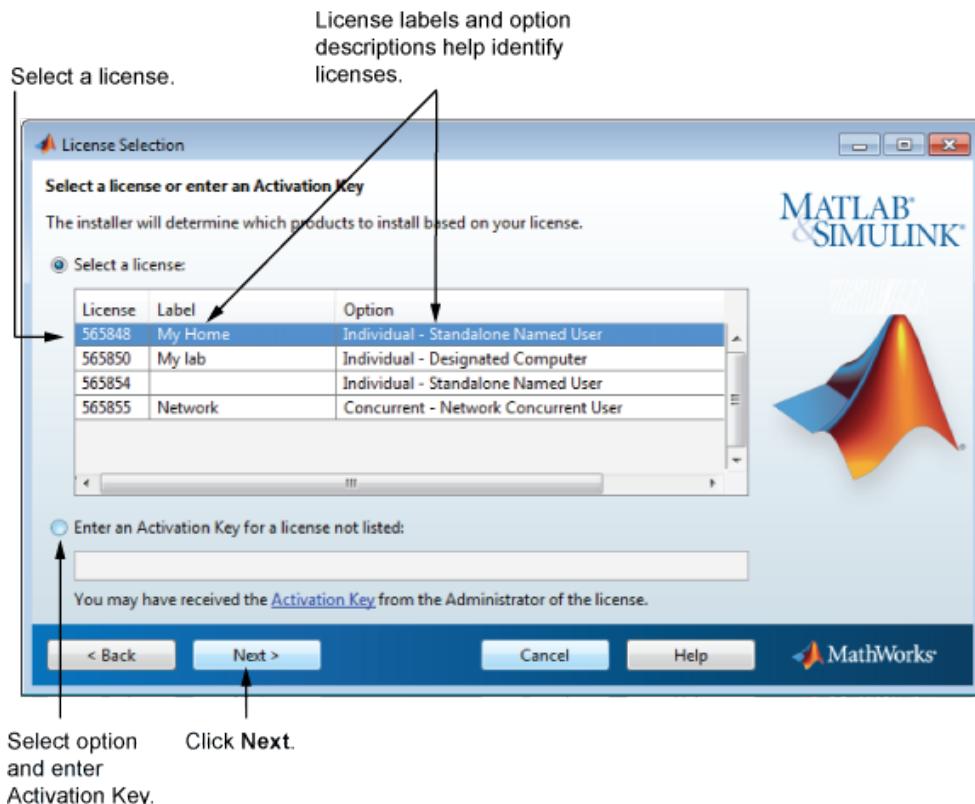
MathWorks アカウントに関連付けられたライセンスの一覧からライセンスを選択して、[次へ] をクリックします。

自分の MathWorks アカウントに関連付けられていないライセンスを使用して製品をインストールする場合は、次の操作を行います。

- 1 [リストされていないライセンスのアクティベーション キーを入力] オプションをオンにします。
- 2 アクティベーション キーを入力して、[次へ] をクリックします。

“アクティベーション キー”とは、ライセンスを識別する固有のコードのことです。このコードを使用して、ライセンスのアクティベーションを行います。また、ライセンスを付与されたエンド ユー

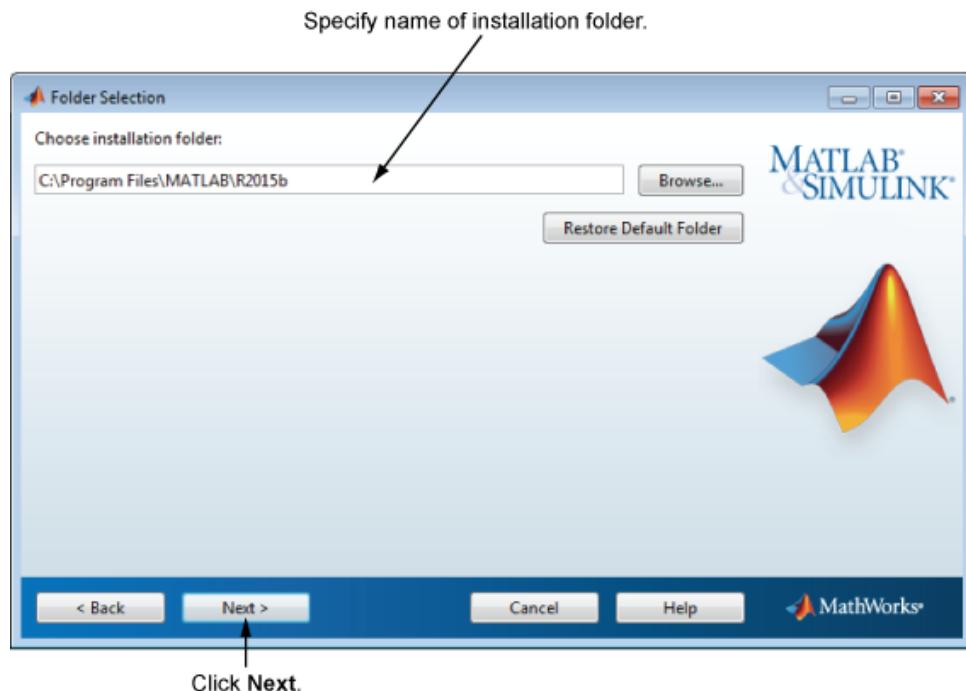
ユーザーは各自の MathWorks アカウントをライセンスに関連付けることができます。ライセンス管理者は、MathWorks Web サイトのライセンスセンターからアクティベーションキーを取得できます。MATLAB 学生用ソフトウェアを購入した場合、アクティベーションキーは製品パッケージに含まれています。もしくは、MathWorks Web サイトのライセンスセンターからキーを取得できます。



手順 7: インストール フォルダーの指定

MathWorks 製品をインストールするフォルダーの名前を指定します。既定のインストール フォルダーを使うか、[参照] をクリックして別のフォルダーを選択します。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

フォルダ名を指定するときは、任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。フォルダ名の入力を誤った場合にやり直すには、[既定のフォルダーに戻す] をクリックします。選択を行ったら、[次へ] をクリックします。

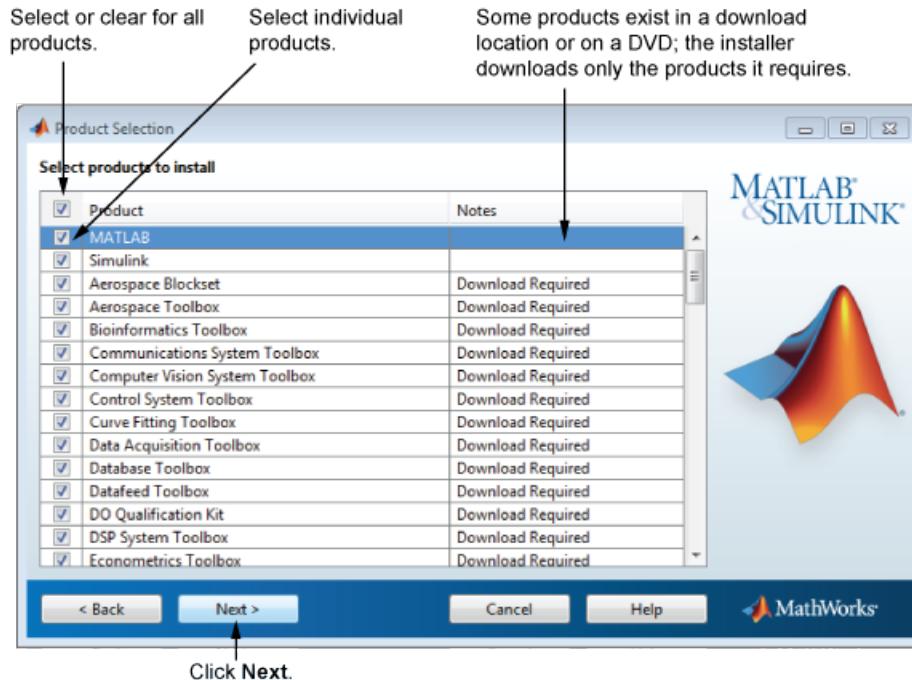


手順 8: インストールする製品の指定

製品リストから、インストールする製品を指定します。このリストには、選択したライセンスまたは指定したアクティベーションキーに関連付けられているすべての製品が表示されます。インストール対象外の製品がある場合は、製品名の横のチェックボックスをオフにします。

メモ: 選択した製品がお使いのコンピューターの既定のダウンロード場所またはDVDに存在している場合、インストーラーは MathWorks Web サイトからファイルをダウンロードせずに、ローカル ファイルを使用してインストールを実行します。

選択した製品のいずれかが他の製品に依存しているかどうかがインストーラーによって確認されます。不適切な製品の依存が存在する場合は、警告が発せられます。選択した製品が、適切であるかどうかを検討します。

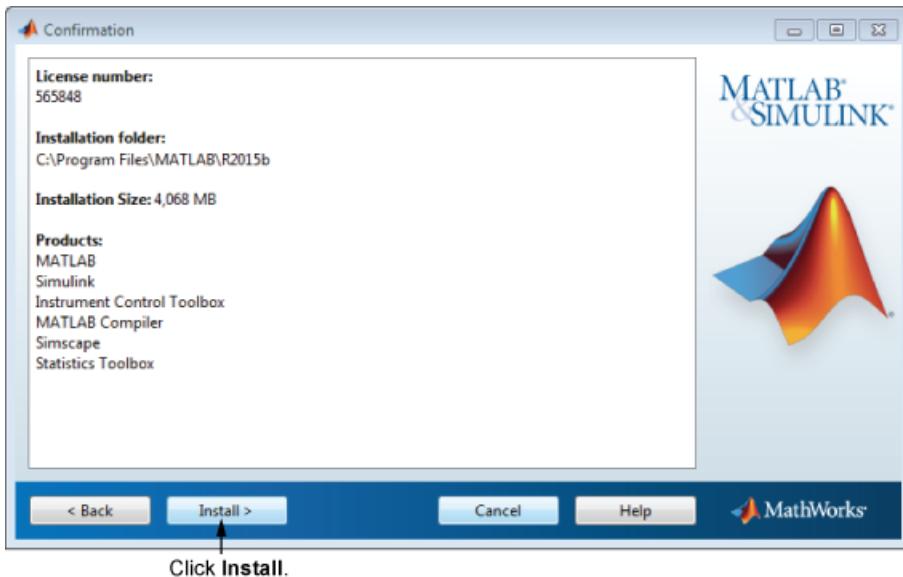


インストールする製品を選択した後、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

手順 9: 選択内容の確認

ソフトウェアをハードディスクにインストールする前に、インストーラーにインストール内容の要約が表示されます。設定を変更するには、[戻る] をクリックします。インストールを続行するには、[インストール] をクリックします。

メモ: 使用するインストール方法によっては、確認情報がここで示される例とは異なる場合があります。



手順 10: インストールの完了

インストールが正常に完了した後、インストールしたソフトウェアのアクティベーションを行うかどうかを選択できます。インストールしたソフトウェアは、アクティベーションを行うまで使用できません。インストール直後にアクティベーションを行うと、最も早く MATLAB の使用を開始できます。[次へ] をクリックして、アクティベーションを実行します。

ソフトウェアのアクティベーションを行わずにインストーラーを終了する場合は、[MATLAB のアクティベーション] オプションをオフにします。ラベルが [終了] に変更されたボタンをクリックします。後でソフトウェアのアクティベーションを行うときには、アクティベーション アプリケーションを使用します。ソフトウェアのアクティベーションが行われていない場合、MATLAB を起動したときにアクティベーション アプリケーションが自動的に起動します。



アクティベーション

この手順でのアクティベーションは、ライセンスを付与されたエンド ユーザーのアクティベーションと同じです。詳細は、「MathWorks アカウントを使用するインストールのアクティベーション」(p. 1-26)を参照してください。

インストールを後で行う場合の製品のダウンロード

この節の内容...

- 「はじめる前に」(p. 2-15)
- 「手順 1: インストーラーのダウンロードおよび起動」(p. 2-15)
- 「手順 2: ログイン オプションの選択」(p. 2-16)
- 「手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認」(p. 2-18)
- 「手順 4: 自分の MathWorks アカウントへのログイン」(p. 2-18)
- 「手順 5: [ダウンロードのみ] オプションの選択」(p. 2-19)
- 「手順 6: ダウンロード フォルダーとプラットフォームの指定」(p. 2-20)
- 「手順 7: ダウンロードする製品の指定」(p. 2-21)
- 「手順 8: 選択内容の確認」(p. 2-22)
- 「手順 9: ダウンロードの完了」(p. 2-23)
- 「ダウンロードしたソフトウェアのインストールおよびアクティベーション」(p. 2-24)

この手順では、すぐにインストールを実行せずに製品をダウンロードする方法について説明します。この手順は、製品をダウンロードしておいて、後で 1 台以上のコンピューターに製品をインストールする場合に便利です。

はじめる前に

この手順を使用する当事者は、自分の MathWorks アカウントに関連付けられているライセンスの管理者でなければなりません。

インストール中は、システムのウイルス対策ソフトウェアとインターネット セキュリティ アプリケーションを無効にしてください。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応がなくなったように見えたりすることがあります。

手順 1: インストーラーのダウンロードおよび起動

- 1 MathWorks Web サイトからインストーラーをダウンロードします。

Web サイトでインストーラーを選択すると、製品ファイルではなく、選択したプラットフォームでインストーラーを実行するために必要なファイルが渡されます。インストーラーを実行

し、Windows、Linux および Mac OS X のプラットフォーム用の製品を選択します。必要に応じて、インストーラーが製品を MathWorks からダウンロードします。

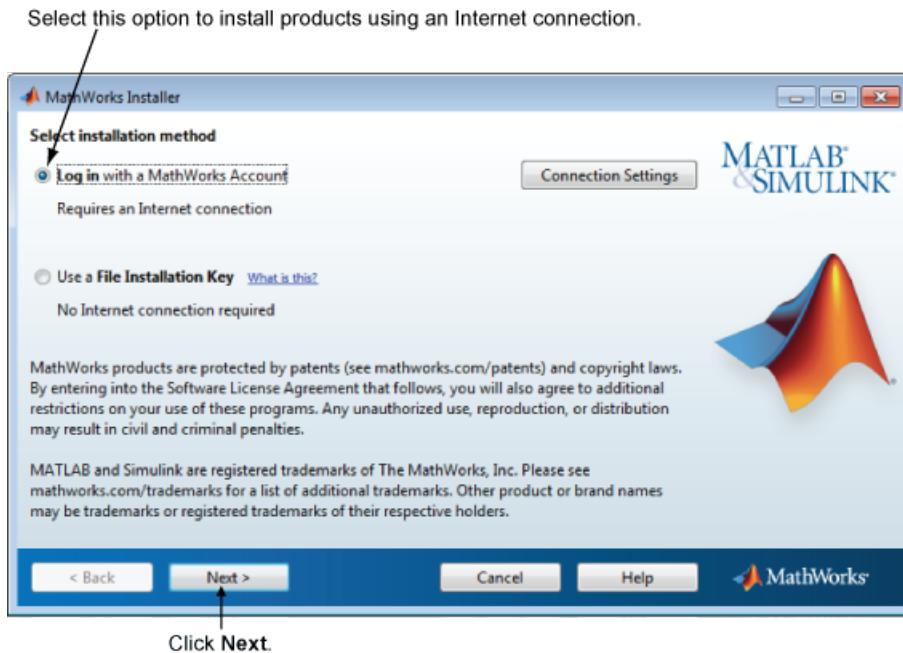
- 2 インストーラーを起動します。インストーラーの起動方法は、プラットフォームによって異なります。
 - Windows – MathWorks Web サイトでインストーラーを選択し、[実行] をクリックすると、インストーラーが自動的に起動します。インストーラーを保存した場合は、保存先のフォルダーにある自己解凍形式のインストーラー ファイルをダブルクリックします。解凍の完了後に、インストーラーが自動的に起動します。
- 後でインストーラーを再起動するには、`setup.exe` をクリックします。このファイルは、ファイルを解凍したフォルダーの最上位にあります。
- Mac OS X – MathWorks Web サイトからダウンロードしたアーカイブ ファイルをダブルクリックして、ファイルを解凍します。ファイルの解凍後、インストーラー フォルダーを開いて、`InstallForMacOSX.app` をダブルクリックします。
 - Linux – `unzip` コマンドを使用して MathWorks Web サイトからダウンロードしたアーカイブ ファイルからファイルを解凍し、次のコマンドを実行します。

```
./install
```

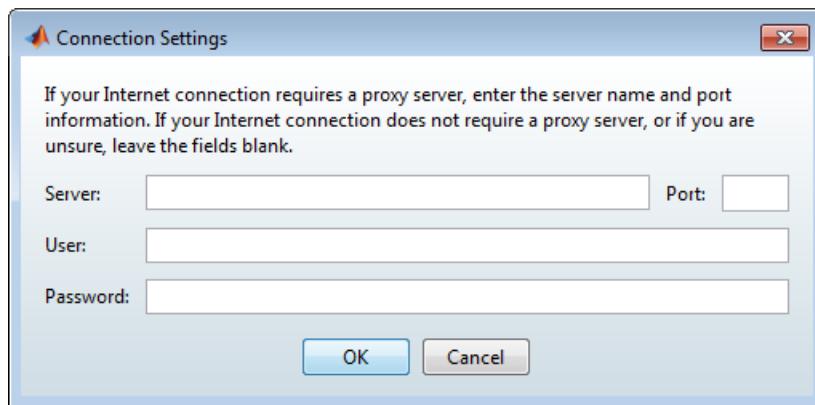
メモ: DVD からインストーラーを起動することもできますが、インストーラーは DVD の製品を使用する代わりに、MathWorks Web サイトから製品ファイルをダウンロードします。

手順 2: ログイン オプションの選択

[MathWorks アカウントでログインする] オプションをオン (既定) にしておき、[次へ] をクリックします。インストール中に MathWorks アカウントにログインし、インストーラーの指示に従います。



インターネット接続にプロキシ サーバーを必要とする場合は、[接続設定] ボタンをクリックします。[接続設定] ダイアログ ボックスに、サーバー名、ポートおよびパスワードを入力します。MathWorks は基本認証とダイジェスト認証のプロキシ設定をサポートしています。



メモ: Windows システムでは、インストーラーは、既定でシステムのプロキシ設定を使用します。プロキシ サーバーがログインを要求する場合、インストーラーはログイン情報の入力を指示するプロンプトを表示します。

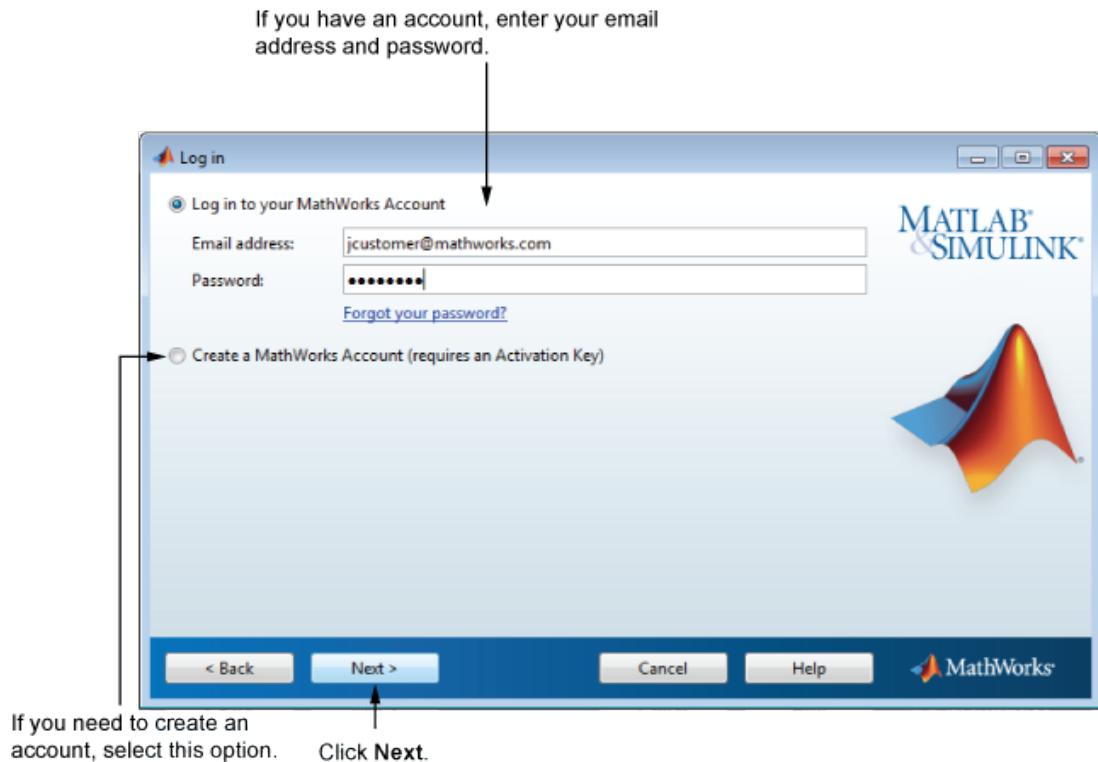
手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択し [次へ] をクリックします。

手順 4: 自分の MathWorks アカウントへのログイン

MathWorks アカウントにログインするには、電子メール アドレスとパスワードを入力して、[次へ] をクリックします。インストーラーにより MathWorks へのアクセスが行われ、アカウントに関連付けられたライセンスに関する情報が取得されます。

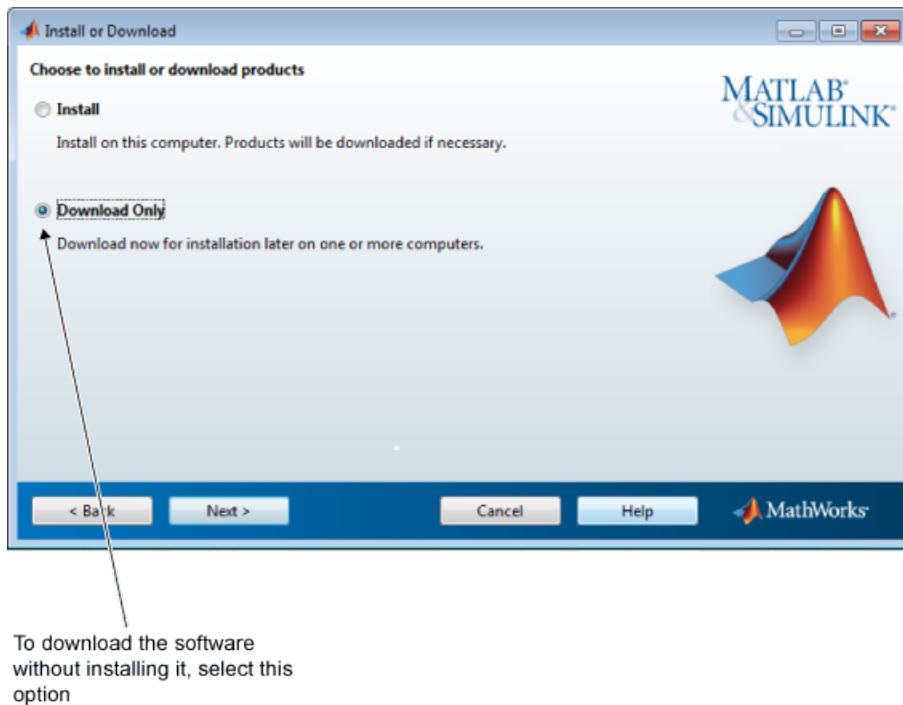
MathWorks アカウントを保有していない場合は、[MathWorks アカウントを作成する (アクティベーション キーが必要)] オプションを選択して [次へ] をクリックします。アカウントの作成に必要なデータの入力を指示するプロンプトが表示されます。



手順 5: [ダウンロードのみ] オプションの選択

[ダウンロードのみ] オプションを選択します。

このオプションを選択すると、後でインストールできるように MathWorks Web サイトから製品がダウンロードされます。



手順 6: ダウンロード フォルダーとプラットフォームの指定

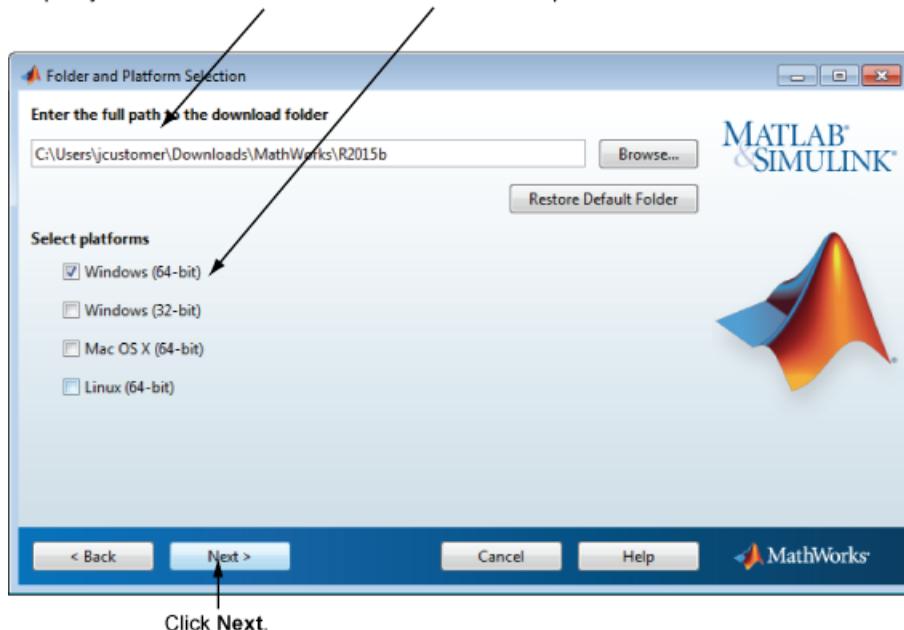
1 MathWorks ソフトウェアのダウンロード先のフォルダ名を指定します。

既定のダウンロード フォルダーをそのまま使用するか、[参照] をクリックして別のフォルダーを選択します。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

2 1つまたは複数のプラットフォームを選択します。

ダウンロードの完了後、ダウンロード場所のルート フォルダーまたはルート ディレクトリに、選択した各プラットフォーム用のインストーラーが格納されます。

Specify name of download folder. Select one or more platforms.



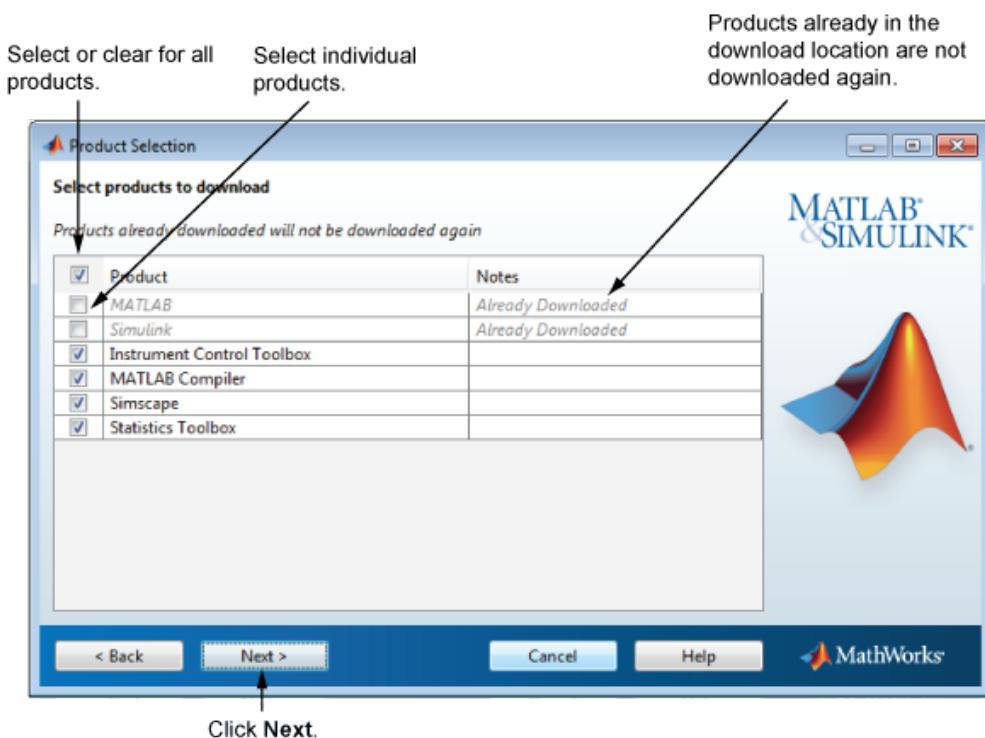
Click Next.

手順 7: ダウンロードする製品の指定

ダウンロードする製品を指定します。ダウンロードしない製品がある場合は、製品名の横にあるチェックボックスをオフにします。

指定したダウンロード場所に既に製品が存在する場合、その製品は選択できません。インストラーはそれらの製品の再ダウンロードを行いません。製品を再度ダウンロードする場合は、[フォルダーの選択] ダイアログ ボックスに戻り、別のダウンロードの場所を選択します。

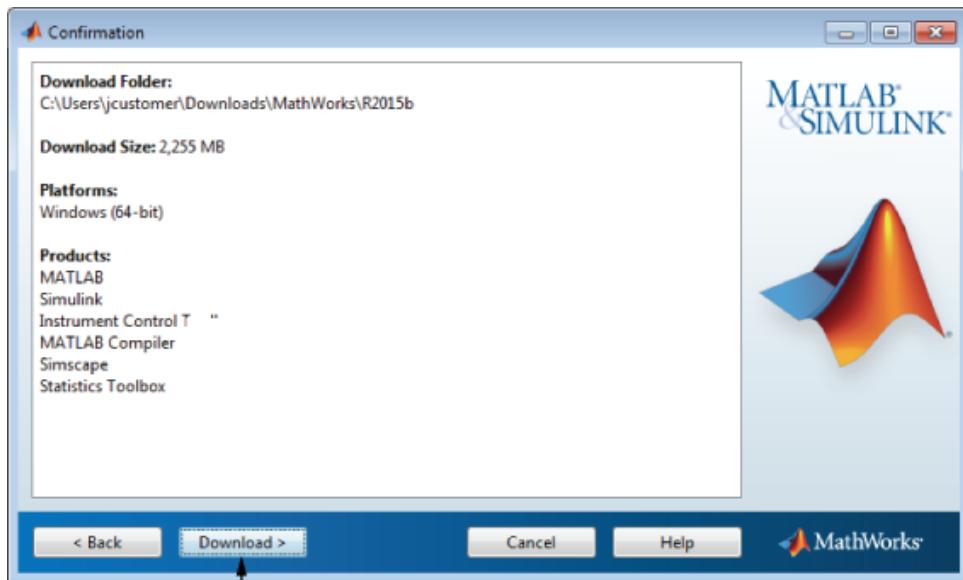
ダウンロードする製品を選択した後、[次へ] をクリックします。



手順 8: 選択内容の確認

ファイルをハードディスクにダウンロードする前に、インストーラーに選択内容の要約が表示されます。

- ・ ダウンロード場所または選択した製品を変更するには、[戻る] をクリックします。
- ・ インストールを続行するには、[ダウンロード] をクリックします。

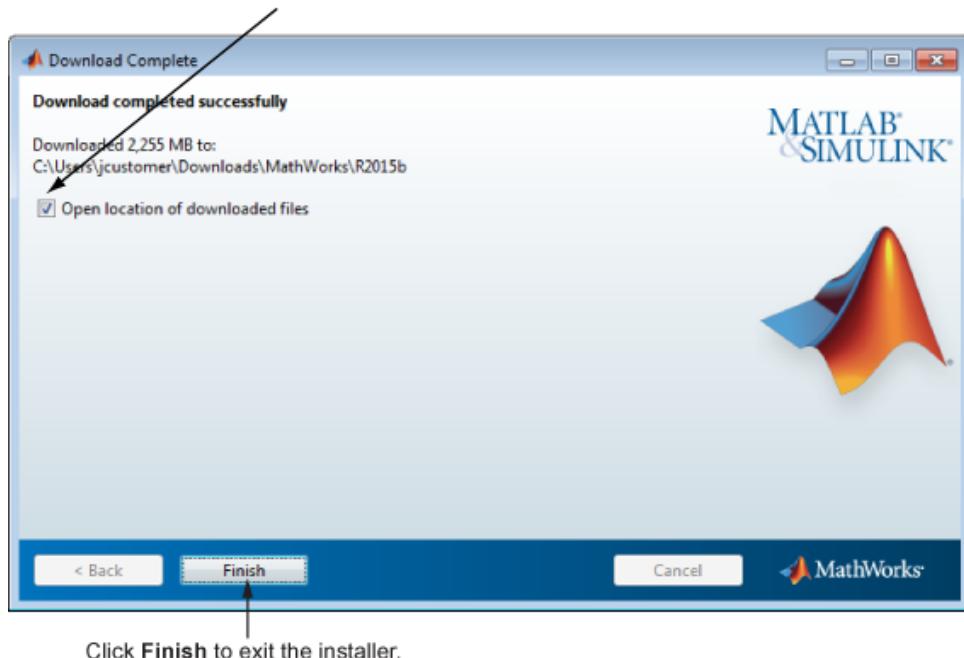


手順 9: ダウンロードの完了

ダウンロードが正常に完了すると、ダウンロードしたファイルの合計サイズが表示され、ダウンロード場所を開くことができます。

[終了] をクリックしてダウンロード手順を終了します。

To view downloaded files, select this option.



Click **Finish** to exit the installer.

ダウンロードしたソフトウェアのインストールおよびアクティベーション

ソフトウェアをダウンロードした後、ダウンロード場所からいつでもソフトウェアをインストールできます。ファイル インストール キーを使用してソフトウェアをインストールする場合は、インストーラー ファイルを含むダウンロードした製品ファイルが、ネットワーク接続がないコンピューターがアクセスできる場所に格納されていることを確認します。たとえば、ネットワーク接続がないコンピューターの既定のダウンロード フォルダーにファイルをコピーするか、またはソフトウェアを DVD などのメディアにコピーできます。コンピューターの既定のダウンロード フォルダーにファイルをコピーしない場合は、インストーラー ファイルが製品ファイルと同じフォルダー内にあることを確認してください。

ソフトウェアをインストールするには、以下のいずれかの手順に従います。

- インターネット接続を使用してライセンス情報にアクセスし、ソフトウェアをインストールする。「MathWorks アカウントを使用する製品のインストール」(p. 1-4)を参照
- ネットワーク接続がない場合に、ファイル インストール キー (FIK) を使用してインストールを行う。「ファイル インストール キーを使用した製品のインストール」(p. 1-39)を参照

ネットワークライセンスオプションのインストール

このトピックでは、コンカレントユーザーまたはネットワークネームドユーザーなどのライセンスで、ネットワーク上にあるコンピューターに MathWorks 製品をインストールしてアクティベーションを行う方法を説明します。Microsoft Windows オペレーティングシステム(32ビットまたは64ビット)、Linux オペレーティングシステム(64ビット)または Mac OS X オペレーティングシステムを実行しているコンピューターを使用できます。

- ・「ライセンスファイルについて」(p. 3-2)
- ・「ネットワークインストールの計画」(p. 3-4)
- ・「推奨されるインストール手順」(p. 3-9)
- ・「ファイルインストールキーを使用したライセンスマネージャーのインストール」(p. 3-10)
- ・「MathWorksアカウントを使用したライセンスマネージャーのインストール」(p. 3-22)
- ・「ライセンスマネージャーデーモンのダウンロード」(p. 3-39)
- ・「クライアントへの製品とライセンス情報の提供」(p. 3-40)
- ・「クライアントシステムへのMathWorksソフトウェアのインストール」(p. 3-41)
- ・「ライセンスマネージャーでの作業」(p. 3-60)
- ・「非対話モードのインストール(サイレントインストール)」(p. 3-66)
- ・「非対話モードでのアンインストール」(p. 3-68)

ライセンス ファイルについて

この節の内容...

「ライセンス ファイルの説明」(p. 3-2)

「ライセンス ファイルの検索パス」(p. 3-2)

ライセンス ファイルの説明

ライセンス ファイルとは特殊な形式の ASCII テキスト ファイルで、実行するライセンスのある各製品の暗号化されたパスコードが記載されています。各製品のパスコードは、該当する製品で使用可能なライセンス キーの数を指定します。ライセンス マネージャーによって、各製品に関連付けられているライセンス キーの使用状況に応じて、その製品へのアクセスを許可するか拒否するかが決定されます。

次の図は、ライセンス ファイルのサンプルを示しています。各 INCREMENT 行では、製品、製品に対して使用可能なキーの数、およびその他の情報が指定されます（この例に示されているすべての要素がライセンス ファイルの INCREMENT 行に含まれているとは限りません）。バックスラッシュまたは円記号 (\) は、その行が次の行に続くことを示します。

シャープ記号 (#) で始まる行はコメント行です。MathWorks インストーラーは、インストール中のライセンス ファイルの処理に際して、これらのコメント行の情報（ライセンス サーバー ホストの ID またはインターネット アドレス）を使用します。

```
# BEGIN-----cut here-----CUT HERE-----BEGIN
# MATLAB license passcode file.
# LicenseNo: 12345           HostID: INTERNET=144.212.101.43
INCREMENT TMW_Archive MLM 18 01-sep-2015 0 \
BC9DE773A77D15AF8 VENDOR_STRING=83 HOSTID=DEMO SN=12345
INCREMENT MATLAB MLM 18 01-sep-2015 1 \
4C9D3348561BE9E3B USER_BASED DUP_GROUP=U SN=12345
INCREMENT SIMULINK MLM 18 01-sep-2015 1 \
1CD148466EF58DF8B USER_BASED DUP_GROUP=U SN=12345
INCREMENT Signal_Toolbox MLM 18 01-sep-2015 1 \
6CF74B458BA143DC3 USER_BASED DUP_GROUP=U SN=12345
# END-----cut here-----CUT HERE-----END
```

ライセンス ファイルの検索パス

MATLAB を起動するとライセンス ファイルが読み込まれ、製品のライセンス情報が確認されます。MATLAB は次の場所を順番に検索してライセンス ファイルを見つけます。ライセンス ファイルが見つかると、MATLAB は検索を停止します。

- 1 MATLAB のスタートアップ コマンド ラインで、-c オプションを使用して指定されたライセンス ファイル。検索を行うパスの一覧を指定できます。-c オプションを使用すると、環境変数の検索を明示的に禁止することになります。-c オプションを使用する場合は、次のことに注意してください。
 - ・ ライセンス ファイルへのパスがスペースを含む場合は、パス名を引用符で囲みます。
 - ・ 複数のライセンス ファイルを指定する場合は、ライセンス ファイルの一覧全体を引用符で囲みます。
- 2 MATLAB のコマンド ラインでライセンス ファイルが指定されていない場合、MATLAB では次の表に示す 2 つの環境変数が検索されます。MATLAB はベンダー固有の環境変数 MLM_LICENSE_FILE を最初に検索します。

環境変数	目的
MLM_LICENSE_FILE	ライセンス ファイルの場所を指定しますが、MathWorks 製品のみを対象とします (MathWorks 製品のみ影響するので推奨)。
LM_LICENSE_FILE	このサーバーで FlexNet® ライセンスを使用するすべてのアプリケーションのライセンス ファイルの場所を指定します。

- 3 環境変数を使用して指定されたライセンス ファイルが見つからない場合、MATLAB はプログラムを起動したユーザーのプロファイル フォルダーを検索します。ライセンスが個々のユーザーにロックされている場合は、アクティベーション アプリケーションによってライセンス ファイルがユーザー プロファイルのフォルダーに配置されます。
- 4 ライセンス ファイルが環境変数で指定されておらず、ユーザー プロファイルにも見つからない場合、MATLAB は、インストールした MATLAB の \licenses フォルダーで、license.dat という名前のファイルや、拡張子 .lic をもつすべてのファイルを検索します。

ネットワーク インストールの計画

共有ネットワーク構成では、ユーザーがネットワークへのアクセスを介して MathWorks 製品を使用できるようになります。この構成では、ライセンス キーを使用して MathWorks 製品へのアクセスを制御します。ユーザーは MATLAB を起動したとき、もしくは他の製品の関数を使用したときに、ライセンス キーをチェック アウトします。特定の製品のキーがすべてチェック アウトされると、ライセンスマネージャーがそれ以降の要求を拒否します。

ネットワーク インストールを設定する場合、以下を行わなければなりません。

- 1 ユーザー用の製品設定方法を決定する — 複数の設定方法が使用できます。ユーザーがコンピューターに MATLAB をインストールするか、ネットワーク経由で MATLAB にアクセスするかを決定します。
- 2 構成に必要なコンピューターにソフトウェアをインストールする — サーバーにライセンスマネージャーをインストールし、構成に従ってサーバーまたはクライアントシステムに MathWorks 製品をインストールしなければなりません。MathWorks インストーラーを使用してこれらのすべてのインストールを実行できます。

メモ: インストーラーを実行する前にインストールするライセンスのアクティベーションを行わなければなりません。使用している構成に必要なライセンス ファイルを取得するには、MathWorks Web サイトの ライセンス センター にアクセスしてください。ライセンス ファイルを要求する際には、ライセンスマネージャーの実行予定先のシステムのホスト ID を知らせる必要があります。インストール時にライセンス ファイルの場所を指定します。

ネットワーク インストールの設計

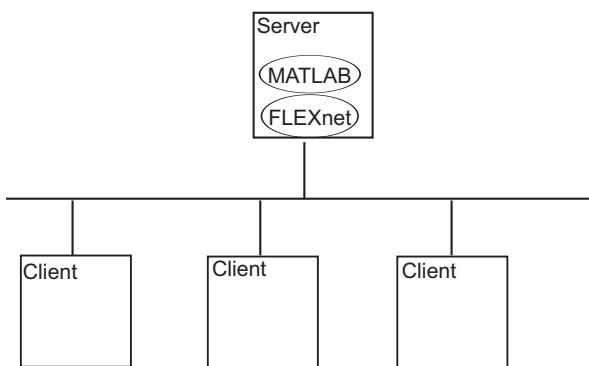
ネットワーク インストールでは、MathWorks は、Flexera Software, Inc の製品である FlexNet Publisher というライセンス マネージャー プログラムを使用します。ネットワーク インストールを設定するには、このライセンス マネージャーをインストールしてから MathWorks 製品をインストールしなければなりません。どちらのインストールを実行する場合も MathWorks インストーラーを使用します。既に確立されているライセンス管理スキームに MathWorks 製品を統合する場合は、インストーラーを使用してライセンス マネージャーをインストールする代わりに、MathWorks ライセンス管理デーモンをシステムにコピーできます。

MATLAB のネットワーク インストールを実行する前に、設定のタイプを決定します。これにより、インストールを実行する回数が決まります。この節では、これらのオプションについて説明します。

3 ネットワーク ライセンス オプションのインストール

リモート クライアント アクセス構成の設定

“リモート クライアント アクセス” 構成では、MATLAB とライセンス マネージャーを集中管理されたファイル サーバーにインストールします（ここでは、このシステムを “ライセンス サーバー” と呼びます）。クライアント システムで操作するユーザーは、ネットワークを経由して MATLAB にアクセスします。次の図は、構成の例を示しています。ライセンス マネージャーと MATLAB は、同じサーバーにインストールすることも、別々のサーバーにインストールすることもできます。

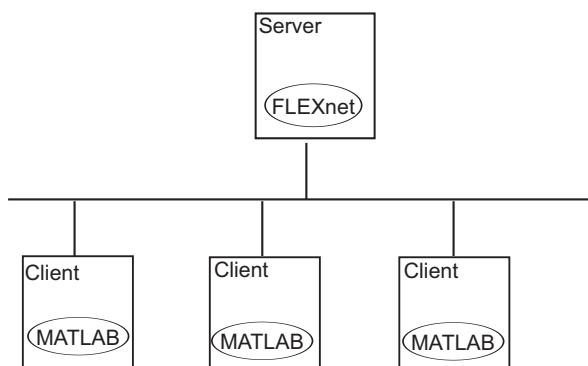


ライセンス サーバーが Windows オペレーティング システムを実行している場合は、インストール ガイドの指示に従います。システムが混在した構成を利用できます。たとえば、Linux ライセンス サーバーで Windows を実行しているクライアントにサービスを提供できます。

リモート クライアント アクセス構成では、クライアントにスクリプトを渡し、それによって MATLAB のネットワーク コピーへのショートカットを設定し、MATLAB の既定の起動フォルダーを指定するようになるのが便利です。

ローカル クライアント アクセス構成の設定

“ローカル クライアント アクセス” 構成では、ライセンス マネージャーをサーバーにインストールし、MATLAB を各クライアントシステムにインストールします。クライアントシステム上のユーザーが MATLAB を起動すると、MATLAB はネットワークを経由してライセンス マネージャーに接続し、ライセンス キーをチェック アウトします。次の図は、構成の例を示しています。



クライアントシステムに MathWorks 製品をインストールするには、基本的なネットワーク インストールと同じ手順を実行します。

必要なインストール数の決定

ネットワーク設定によっては、複数のインストールを実行しなければならないことがあります。

- ・ サーバーへのライセンス マネージャーのインストール – ネットワーク インストールの場合、製品へのアクセスをコントロールするために FlexNet ライセンス マネージャーをインストールしなければなりません。ライセンス マネージャーは、すべてのネットワーク ユーザーが利用できるサーバーにインストールします。このドキュメンテーションでは、このサーバーを “ライセンス サーバー” と呼びます。
- ・ MathWorks 製品のサーバーへのインストール – MathWorks 製品をローカル システムにインストールするのではなく、集中管理された場所から使用するように構成する場合は、製品ファイルをサーバーにインストールします。このサーバーはライセンス サーバーと同じシステムである必要はありませんが、同じシステムである場合は、MathWorks 製品をライセンス マネージャーと一緒にインストールできます。
- ・ 各クライアントシステムへの MathWorks 製品のインストール – ネットワーク設定において、MathWorks 製品を各ユーザーのシステムにインストールし、ネットワークを通じてライセンス サーバーにアクセスする必要がある場合は、製品ファイルを各システムにインストールします。

クライアント システムは、ネットワークを通じてライセンス サーバーに接続できなければなりません。「クライアント システムへの MathWorks ソフトウェアのインストール」(p. 3-41)を参照。

各ダイアログ ボックスで必要な情報を入力してインストールを対話的に実行する代わりに、インストーラーを非対話モードで実行することができます。このモードでは、通常、インストーラーのダイアログ ボックスを使用して対話形式で入力するすべての情報をプロパティ ファイルに入力します。詳細は、「非対話モードのインストール (サイレント インストール)」(p. 3-66)を参照してください。

推奨されるインストール手順

ネットワーク構成において、ライセンス マネージャーと MATLAB ソフトウェアを同じサーバーで実行する必要がある場合は、MathWorks インストーラーを使用して両方のインストールを同時に実行できます。

次の推奨事項を参考にして、適切なインストール手順を選択してください。

タスク	推奨される手順
ライセンス マネージャーのみをインストールします。	「ファイル インストール キーを使用したライセンス マネージャーのインストール」(p. 3-10)
ライセンス マネージャーと MathWorks 製品を同時にインストールします。 このタスクでは、最初に製品をダウンロードするか、または製品の DVD を所有していなければなりません。製品をインストールせずにダウンロードのみを行う方法については、「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」(p. 2-15)を参照してください。	「ファイル インストール キーを使用したライセンス マネージャーのインストール」(p. 3-10)
MathWorks アカウントにログインして、ライセンス マネージャーと MathWorks 製品を同時にインストールします。	「MathWorks アカウントを使用したライセンス マネージャーのインストール」(p. 3-22)
ライセンス マネージャー デーモンの最新バージョンを既存の構成と統合します。	「ライセンス マネージャー デーモンのダウンロード」(p. 3-39)

ファイル インストール キーを使用したライセンス マネージャーのインストール

ライセンス ファイルの運用に関する潜在的な問題を回避するために、MATLAB ソフトウェアをアップグレードする際には常にライセンス マネージャー ソフトウェアのアップグレードを検討してください。

メモ: R2013b 以降、ネットワーク ライセンス ファイルには新しいファイル形式が採用されています。そのため、R2013b 以降のリリースでは、R2013b 以降に同梱の最新バージョンのライセンス マネージャーに更新する必要があります。R2013b 以降のリリースにアップグレードしない場合は、MATLAB ソフトウェアの古いライセンス ファイルと以前のバージョンを継続して使用できます。

この節の内容...

- 「インストール前の準備」(p. 3-10)
- 「手順 1: インストーラーの起動」(p. 3-13)
- 「手順 2: [ファイル インストール キーを使用する] の選択」(p. 3-14)
- 「手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認」(p. 3-15)
- 「手順 4: ファイル インストール キーの指定」(p. 3-15)
- 「手順 5: インストール フォルダーの指定」(p. 3-16)
- 「手順 6: インストールに使用するライセンス マネージャーの選択」(p. 3-17)
- 「手順 7: ライセンス ファイルの場所の指定」(p. 3-18)
- 「手順 8: ライセンス マネージャーの設定: Windows システムのみ」(p. 3-19)
- 「手順 9: 選択内容の確認」(p. 3-20)
- 「手順 10: インストールの完了」(p. 3-21)

インストール前の準備

- ・ ライセンス マネージャーを実行するコンピューターのホスト ID を取得します。
 - ・ Windows システム - ホスト ID は、最初のイーサネット アダプターの MAC アドレス (物理 アドレス) または IP アドレスになります。MAC アドレスを取得するには、コマンド プロンプト ウィンドウを開いて、次のコマンドを実行します。

```
getmac
```

リストされている最初の物理アドレスを使用します (例: 00-11-22-aa-bb-cc)。

IP アドレスを取得するには、コマンド プロンプト ウィンドウを開いて、次のコマンドを実行します。

`ipconfig`

- Linux システム – ホスト ID は eth0 デバイス (最初のイーサネット デバイス) の MAC アドレスになります。ターミナル ウィンドウで、次のコマンドを実行します。

`/sbin/ifconfig eth0`

ホスト ID は、タグ “HWaddr” の横にある値です。

- Mac OS X システム – ホスト ID は、内蔵イーサネット デバイス (en0) の MAC アドレスです。/Applications/Utilities の Terminal を使用して、次のコマンドを実行します。

`netstat -I en0`

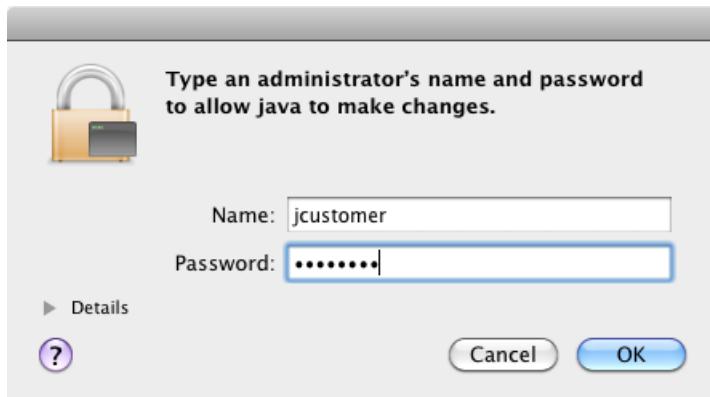
ホスト ID は、出力の最初の行の [Address] 列にリストされます。

- ライセンスのアクティベーションを行います。以前にライセンスのアクティベーションを行っている場合は、ライセンス ファイルを取得します。
 - 1 MathWorks Web サイトのライセンス センターにアクセスしてください。
 - 2 アクティベーションを行うライセンスを選択します。
 - 3 [Activation and Installation (アクティベーションとインストール)] タブを選択し、[Activate (アクティベーション)] をクリックします。
 - 4 ライセンス マネージャーを実行するコンピューターのオペレーティング システムの種類とホスト ID を指定します。オプションで、アクティベーションにわかりやすいラベルを割り当てることもできます。[Continue (続行)] をクリックします。
 - 5 ライセンス ファイルとファイル インストール キーをダウンロードするか、または電子メールで受信するかを選択します。[Continue (続行)] をクリックします。
- ライセンス マネージャーを実行中の場合は終了します。詳細は、「ライセンス マネージャーの起動」(p. 3-60)を参照してください。
- ライセンス マネージャーのみをインストールする場合、MathWorks Web サイトからインストーラーを実行するか、DVD を使用します。
- ライセンス マネージャーとその他の MathWorks 製品を同時にインストールするには、MathWorks 製品をあらかじめコンピューター上に用意しておくか、DVD として用意しておく

3 ネットワーク ライセンス オプションのインストール

なければなりません。DVDがない場合は、MathWorks インストーラーを使用して、製品をインストールせずにダウンロードします。

- ソフトウェアをインストールするための適切な権限があることを確認してください。権限に関する質問は、システム管理者にお問い合わせください。
- Windows システム – 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。
- Linux システム – ルート パスワードを取得します。MATLAB ソフトウェアはスーパーユーザー権限がなくてもインストールできますが、特定のインストール オプションが制限されます。たとえば、matlab コマンドへのシンボリック リンクの設定、保護されているフォルダーへの製品ファイルのインストール、またはシステム起動スクリプトの編集を行うには、スーパーユーザーのステータスが必要です。
- Mac OS X システム – 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。管理者アカウントは Mac OS X システムの構成時に設定されたユーザー アカウントであり、MathWorks アカウントではありません。インストール中に、この名前とパスワードを [Authenticate] ダイアログ ボックスに入力しなければなりません。



- インストール中は、システムのウイルス対策ソフトウェアとインターネット セキュリティ アプリケーションを無効にしてください。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応がなくなったように見えたりすることがあります。

ライセンス マネージャーは、各環境で 1 回のみインストールします。MathWorks ソフトウェアのクライアントへのインストールの詳細は、「クライアント システムへの MathWorks ソフトウェアのインストール」(p. 3-41)を参照してください。

手順 1: インストーラーの起動

- 1 MathWorks Web サイトからインストーラーをダウンロードするか、お持ちの MATLAB の DVD を見つけます。

Web サイトでインストーラーを選択すると、製品ファイルではなく、選択したプラットフォームでインストーラーを実行するために必要なファイルが渡されます。インストーラーを実行して、ログインしているコンピューターにインストールする製品を選択します。必要に応じて、インストーラーが MathWorks から製品をダウンロードします。

- 2 インストーラーを起動します。インストーラーの起動方法は、プラットフォームによって異なります。また、MathWorks Web サイトからインストーラーをダウンロードしたか、DVD を使用するかによっても異なります。

- Windows

- ダウンロードしたインストーラー ファイル – MathWorks Web サイトでインストーラーを選択して [実行] をクリックすると、インストーラーが自動的に起動します。インストーラーを保存した場合は、保存先のフォルダーにある自己解凍形式のインストーラー ファイルをダブルクリックします。自己解凍形式のインストーラー ファイルの名前は `matlab_release_$ARCH` です。`release` はインストールするリリース (R2015b など) を、`$ARCH` は選択したアーキテクチャを示します。

解凍の完了後に、インストーラーが自動的に起動します。

後でインストーラーを再起動するには、`setup.exe` をクリックします。このファイルは、ファイルを解凍したフォルダーの最上位にあります。

- DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入します。通常、インストーラーが自動的に起動します。

- Mac OS X

- ダウンロードしたインストーラー ファイル – MathWorks Web サイトからダウンロードしたアーカイブ ファイルをダブルクリックして、ファイルを解凍します。ファイルの解凍後、インストーラー フォルダーを開いて `InstallForMacOSX.app` をダブルクリックします。
- DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入します。DVD アイコンがデスクトップに表示されたら、アイコンをダブルクリックして DVD の内容を表示し、`InstallForMacOSX` アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。



- Linux
 - ダウンロードしたインストーラー ファイル – `unzip` コマンドを使用して、MathWorks Web サイトからダウンロードしたアーカイブ ファイルからファイルを解凍します。ファイルの解凍後、次のインストーラー コマンドを実行します。
`./install`

DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入し、次のコマンドを実行します。

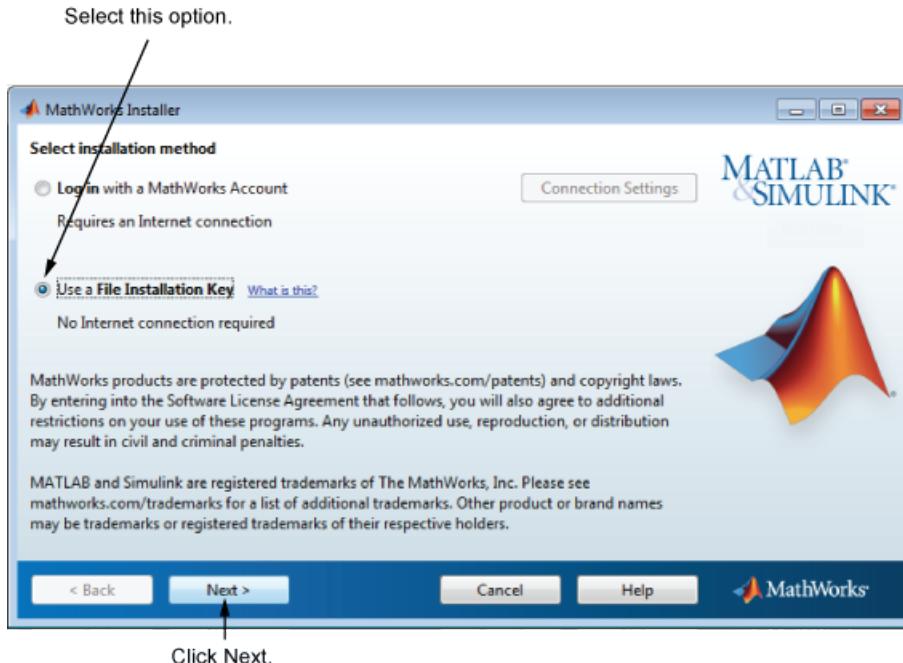
```
/path_to_dvd/install &
```

システムの構成によっては、最初に DVD をマウントしなければならないことがあります。次の例のように、必ず実行権限を指定してマウントしてください。DVD ドライブの名前は、お使いのシステムでは異なっている場合があります。

```
mount -o exec /media/cdrom0
```

手順 2: [ファイルインストールキーを使用する] の選択

[ファイルインストールキーを使用する] を選択して [次へ] をクリックします。

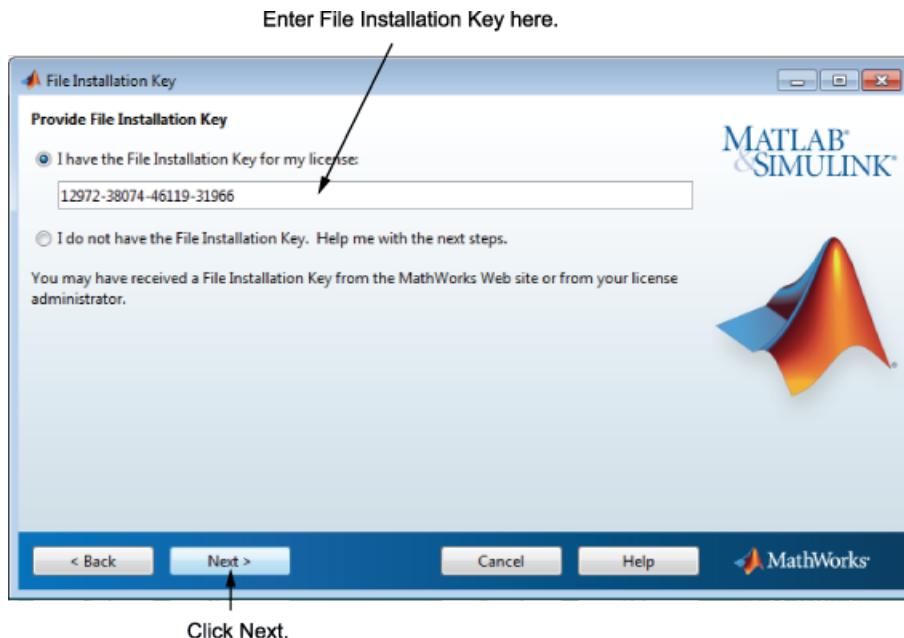


手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認

ソフトウェア ライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択し [次へ] をクリックします。

手順 4: ファイル インストール キーの指定

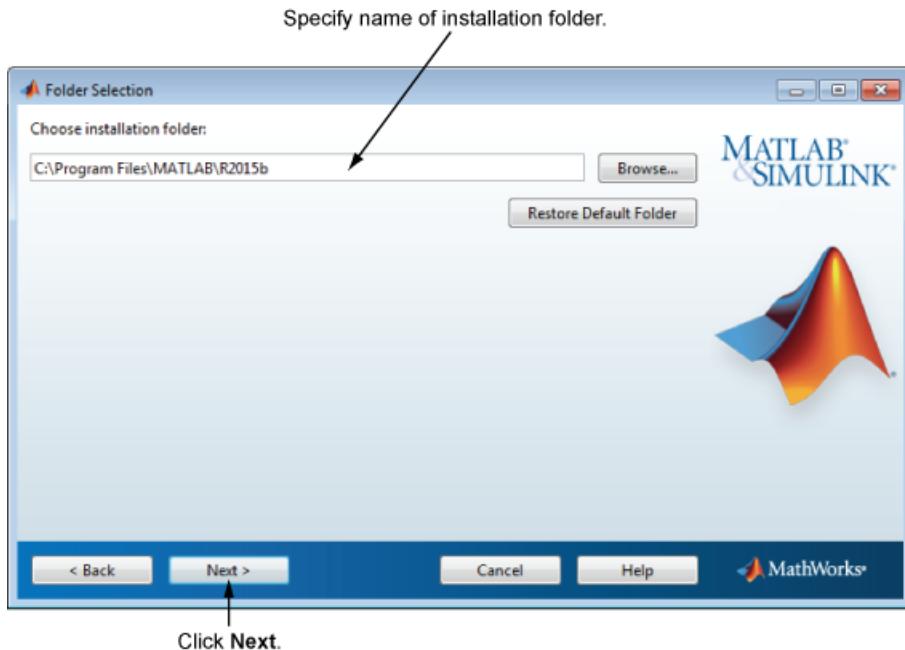
[ライセンスに対するファイル インストール キーを保有しています] オプションを選択して、ファイル インストール キーを入力し、[次へ] をクリックします。



手順 5: インストールフォルダーの指定

ライセンスマネージャーをインストールするフォルダーの名前を指定します。既定のインストールフォルダーを使うか、[参照] をクリックして別のフォルダーを選択します。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

選択を行ったら、[次へ] をクリックします。



手順 6: インストールに使用するライセンス マネージャーの選択

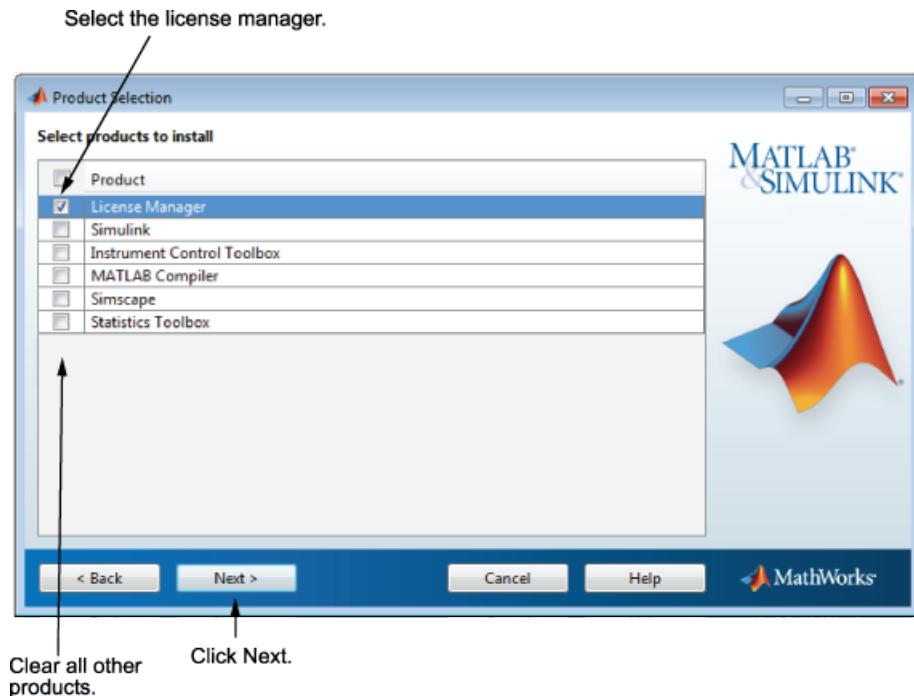
製品リストでライセンス マネージャーを選択します。既定では、ライセンス マネージャーはインストール用に選択されていません。

サーバーにライセンス マネージャーのみをインストールする場合は、他の製品の横にあるチェックボックスをクリアします。集中管理サーバー上でユーザーが MathWorks 製品を実行するためのリモートアクセス構成を設定し、かつ、この集中管理サーバーがライセンス サーバーである場合には、インストールする製品を選択する一覧のほかのすべての製品は選択されたままの状態にしておきます。

メモ: ライセンス マネージャーをインストールする際に、同時に他の MathWorks 製品もインストールする場合、その製品の DVD を用意するか、ローカル コンピューター上に用意しておく必要があります。製品をコンピューターにダウンロードする方法についての詳細は、「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」(p. 2-15)を参照してください。

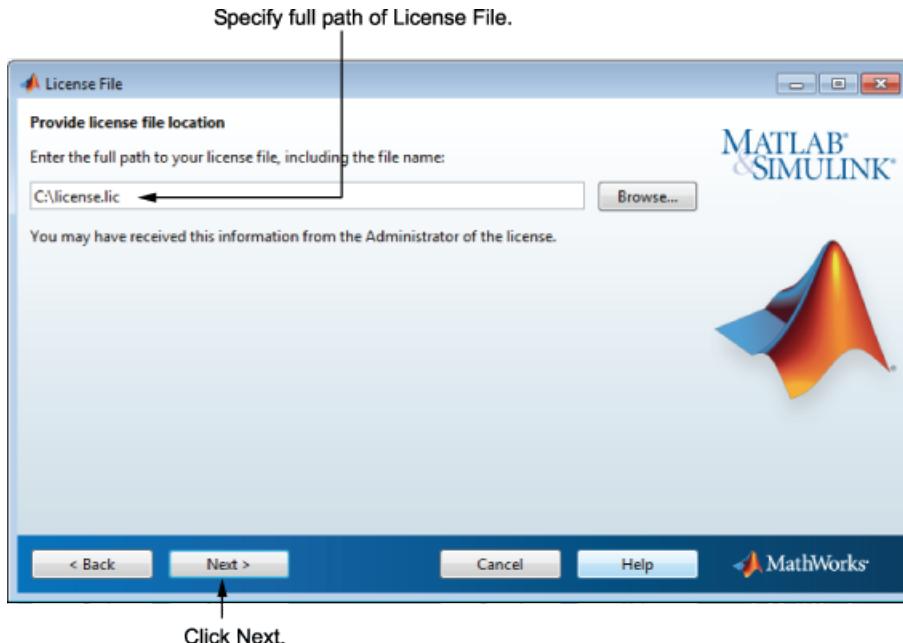
3 ネットワークライセンスオプションのインストール

選択が完了したら [次へ] をクリックして続行します。[次へ] をクリックした後、選択した製品の一部が他の製品に依存しているという警告メッセージが表示されることがあります。



手順 7: ライセンスファイルの場所の指定

テキストボックスで、MathWorks Web サイトのライセンスセンターから取得したライセンスファイルの絶対パスを入力します。[次へ] をクリックします。



Click Next.

サーバーでのライセンス ファイルの処理

インストーラーでは、このライセンス ファイルについて以下の処理が実行されます。

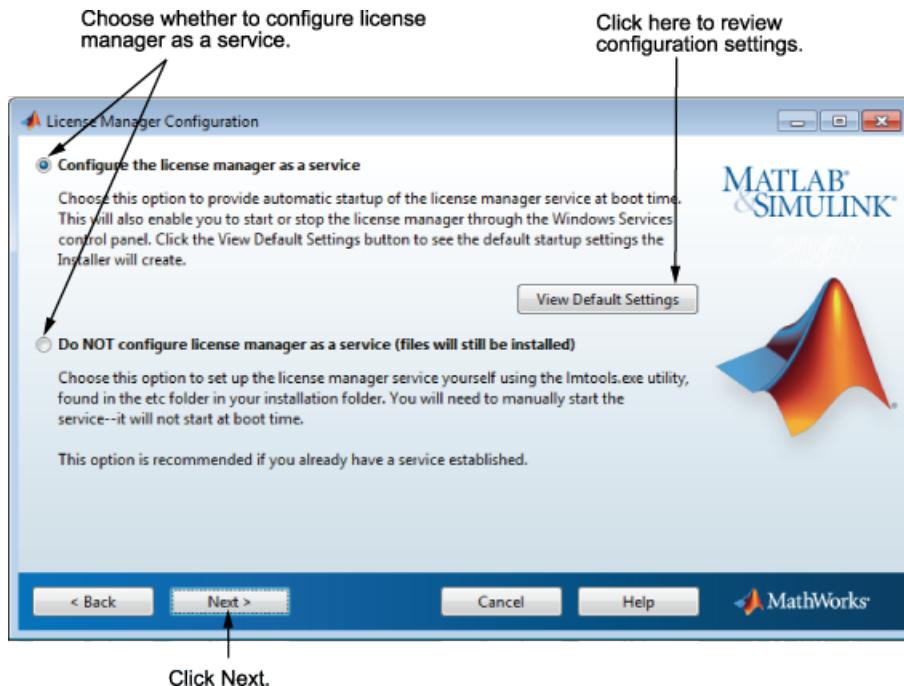
- ライセンス ファイルのコピーを作成して、`license.dat` という名前を付け、MATLAB インストール フォルダーの `\etc` フォルダーにこのコピーを配置します。
- ファイルに SERVER 行と DAEMON 行を追加します。SERVER 行はサーバー ホストとポート番号を識別します。DAEMON 行は、ライセンス マネージャー デーモンの名前を特定します。
- 処理したライセンス ファイルは `matlabroot/etc` に格納します。ここで、`matlabroot` は MATLAB インストール フォルダーです。

手順 8: ライセンス マネージャーの設定: Windows システムのみ

ライセンス マネージャー サービスを設定することにより、システム起動時にライセンス マネージャーが自動的に起動し、Windows の [サービス] コントロール パネルでライセンス マネージャーを集中管理できます。既定のライセンス マネージャー設定を確認するには、「既定の設定の表示」をクリックします。ライセンス マネージャー サービスを設定しないように選択した場合は、後から設定することができます。

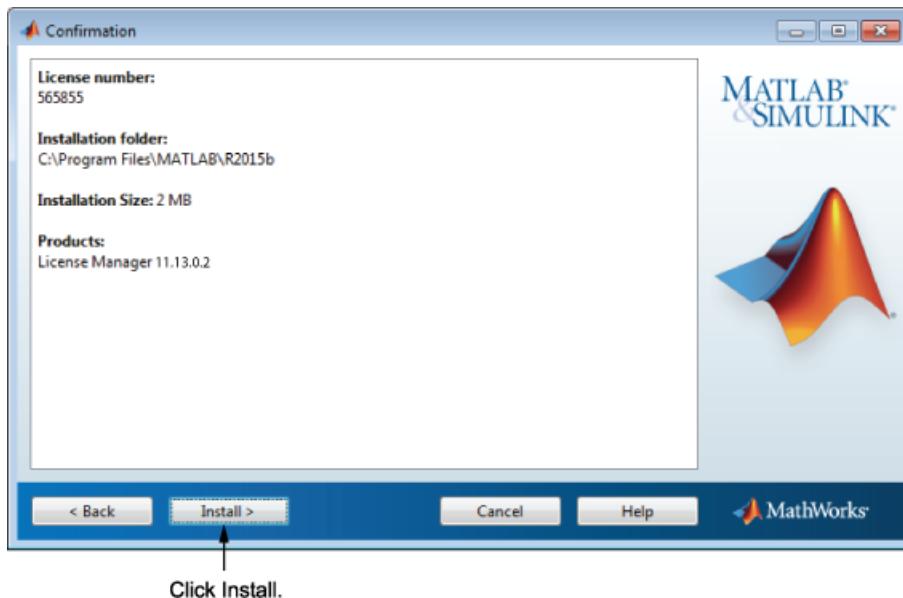
3 ネットワークライセンスオプションのインストール

メモ: 新しいライセンスマネージャーをインストールするまで既存のライセンスマネージャーを継続して使用する場合は、[サービスとしてライセンスマネージャーを設定しない(ファイルはインストールされます)]オプションを選択します。この場合でも、ライセンスマネージャーファイルはインストールされます。インストールが完了したら、既存のライセンスマネージャーを停止して、新しいライセンスマネージャーを起動します。



手順 9: 選択内容の確認

ファイルをハードディスクにコピーする前に、インストーラーにインストール内容の要約が表示されます。設定を変更するには、[戻る]をクリックします。インストールを続行するには、[インストール]をクリックします。



手順 10: インストールの完了

インストールが完了したら、[終了] をクリックしてインストーラーを終了します。

ライセンス マネージャーをサービスとしてインストールする場合は、インストールの完了後にコンピューターを再起動してください。クライアント システムで MATLAB を起動するには、ライセンス マネージャーが実行中でなければなりません。ライセンス マネージャーはサービスなので、システムの起動時に自動的に開始されます。

MathWorks アカウントを使用したライセンス マネージャーのインストール

この節の内容...

- 「インストール前の準備」(p. 3-22)
- 「手順 1: インストーラーの起動」(p. 3-25)
- 「手順 2: [MathWorks アカウントでログインする] の選択」(p. 3-26)
- 「手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認」(p. 3-28)
- 「手順 4: 自分の MathWorks アカウントへのログイン」(p. 3-28)
- 「手順 5: インストール オプションの選択」(p. 3-29)
- 「手順 6: インストールするライセンスの選択」(p. 3-30)
- 「手順 7: インストール フォルダーの指定」(p. 3-31)
- 「手順 8: インストールに使用するライセンス マネージャーの選択」(p. 3-32)
- 「手順 9: ライセンス ファイルの場所の指定」(p. 3-34)
- 「手順 10: ライセンス マネージャーの設定: Windows システムのみ」(p. 3-34)
- 「手順 11: 選択内容の確認」(p. 3-35)
- 「手順 12: インストールの完了」(p. 3-38)

ライセンス ファイルの運用に関する潜在的な問題を回避するために、MATLAB ソフトウェアをアップグレードする際には常にライセンス マネージャー ソフトウェアのアップグレードを検討してください。

メモ: R2013b 以降、ネットワーク ライセンス ファイルには新しいファイル形式が採用されています。そのため、R2013b 以降のリリースでは、R2013b 以降に同梱の最新バージョンのライセンス マネージャーに更新する必要があります。R2013b 以降のリリースにアップグレードしない場合は、MATLAB ソフトウェアの古いライセンス ファイルと以前のバージョンを継続して使用できます。

インストール前の準備

- ・ ライセンス マネージャーを実行するコンピューターのホスト ID を取得します。
 - ・ Windows システム - ホスト ID は、最初のイーサネット アダプターの MAC アドレス (物理 アドレス) または IP アドレスになります。MAC アドレスを取得するには、コマンド プロンプト ウィンドウを開いて、次のコマンドを実行します。

```
getmac
```

リストされている最初の物理アドレスを使用します (例: 00-11-22-aa-bb-cc)。

IP アドレスを取得するには、コマンド プロンプト ウィンドウを開いて、次のコマンドを実行します。

```
ipconfig
```

- Linux システム – ホスト ID は eth0 デバイス (最初のイーサネット デバイス) の MAC アドレスになります。ターミナル ウィンドウで、次のコマンドを実行します。

```
/sbin/ifconfig eth0
```

ホスト ID は、タグ "HWaddr" の横にある値です。

- Mac OS X システム – ホスト ID は、内蔵イーサネット デバイス (en0) の MAC アドレスです。/Applications/Utilities の Terminal を使用して、次のコマンドを実行します。

```
netstat -I en0
```

ホスト ID は、出力の最初の行の [Address] 列にリストされます。

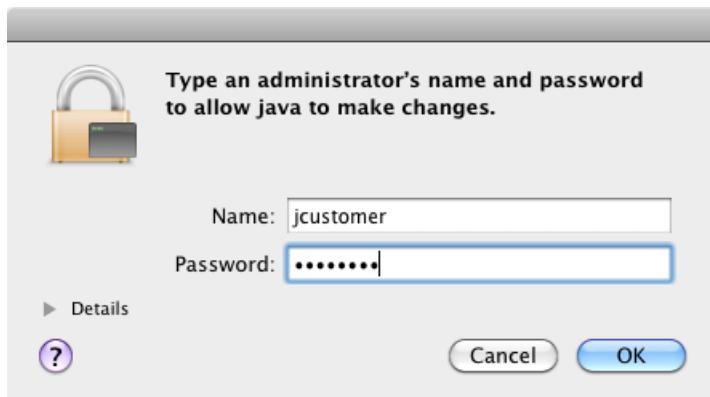
- ライセンスのアクティベーションを行います。以前にライセンスのアクティベーションを行っている場合は、ライセンス ファイルを取得します。
 - 1 MathWorks Web サイトのライセンス センターにアクセスしてください。
 - 2 アクティベーションを行うライセンスを選択します。
 - 3 [Activation and Installation (アクティベーションとインストール)] タブを選択し、[Activate (アクティベーション)] をクリックします。
 - 4 ライセンス マネージャーを実行するコンピューターのオペレーティング システムの種類とホスト ID を指定します。オプションで、アクティベーションにわかりやすいラベルを割り当てることもできます。[Continue (続行)] をクリックします。
 - 5 ライセンス ファイルをダウンロードするか、または電子メールで受信するかを選択します。[Continue (続行)] をクリックします。
- ライセンス マネージャーを実行中の場合は終了します。詳細は、「ライセンス マネージャーの起動」(p. 3-60)を参照してください。
- 電子メール アドレスと MathWorks アカウントのパスワードをお手元にご用意ください。これらは、インストール中にユーザー アカウントにログインするために必要になります。ユーザー アカウン

3 ネットワーク ライセンス オプションのインストール

トに複数のライセンスが関連付けられている場合は、インストールするライセンス番号を確認しておきます。

MathWorks アカウントを保有していない場合は、インストール中にアカウントを作成できます。ただし、“アクティベーション キー”が必要です。アクティベーション キーとは、ライセンスを識別する固有のコードのことです。ライセンスのアクティベーションに使用します。また、アクティベーション キーを使用することで、ライセンスを付与されたエンド ユーザーは各自の MathWorks アカウントにライセンスを関連付けることができます。アクティベーション キーは、ライセンス管理者から入手できます。

- インストーラーを実行するための適切な権限があることを確認してください。権限に関する質問は、システム管理者にお問い合わせください。
- Windows システム – 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。
- Linux システム – ルート パスワードを取得します。MATLAB ソフトウェアはスーパーユーザー権限がなくてもインストールできますが、特定のインストール オプションが制限されます。たとえば、matlab コマンドへのシンボリック リンクの設定、保護されているフォルダーへの製品ファイルのインストール、またはシステム起動スクリプトの編集を行うには、スーパーユーザーのステータスを保有していなければなりません。
- Mac OS X システム – 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。管理者アカウントは Mac OS X システムの構成時に設定されたユーザー アカウントであり、MathWorks アカウントではありません。インストール中に、この名前とパスワードを [Authenticate] ダイアログ ボックスに入力しなければなりません。



- インストール中は、システムのウイルス対策ソフトウェアとインターネット セキュリティ アプリケーションを無効にしてください。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応がなくなったように見えたりすることがあります。

ライセンス マネージャーは、各環境で 1 回のみインストールします。MathWorks ソフトウェアのクライアントへのインストールの詳細は、「クライアント システムへの MathWorks ソフトウェアのインストール」(p. 3-41)を参照してください。

手順 1: インストーラーの起動

- 1 MathWorks Web サイトからインストーラーをダウンロードするか、お持ちの MATLAB の DVD を見つけます。

Web サイトでインストーラーを選択すると、製品ファイルではなく、選択したプラットフォームでインストーラーを実行するために必要なファイルが渡されます。インストーラーを実行して、ログインしているコンピューターにインストールする製品を選択します。必要に応じて、インストーラーが MathWorks から製品をダウンロードします。

- 2 インストーラーを起動します。インストーラーの起動方法は、プラットフォームによって異なります。また、MathWorks Web サイトからインストーラーをダウンロードしたか、DVD を使用するかによっても異なります。

- Windows

- ダウンロードしたインストーラー ファイル – MathWorks Web サイトでインストーラーを選択して [実行] をクリックすると、インストーラーが自動的に起動します。インストーラーを保存した場合は、保存先のフォルダーにある自己解凍形式のインストーラー ファイルをダブルクリックします。自己解凍形式のインストーラー ファイルの名前は `matlab_release_$.ARCH` です。`release` はインストールするリリース (R2015b など) を、`$.ARCH` は選択したアーキテクチャを示します。

解凍の完了後に、インストーラーが自動的に起動します。

後でインストーラーを再起動するには、`setup.exe` をクリックします。このファイルは、ファイルを解凍したフォルダーの最上位にあります。

- DVD によるインストーラー システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入します。通常、インストーラーが自動的に起動します。
- Mac OS X

- ・ダウンロードしたインストーラー ファイル – MathWorks Web サイトからダウンロードしたアーカイブ ファイルをダブルクリックして、ファイルを解凍します。ファイルの解凍後、インストーラー フォルダーを開いて `InstallForMacOSX.app` をダブルクリックします。
- ・DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入します。DVD アイコンがデスクトップに表示されたら、アイコンをダブルクリックして DVD の内容を表示し、`InstallForMacOSX` アイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。



- ・Linux
 - ・ダウンロードしたインストーラー ファイル – `unzip` コマンドを使用して、MathWorks Web サイトからダウンロードしたアーカイブ ファイルからファイルを解凍します。ファイルの解凍後、次のインストーラー コマンドを実行します。
`./install`

DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入し、次のコマンドを実行します。

```
/path_to_dvd/install &
```

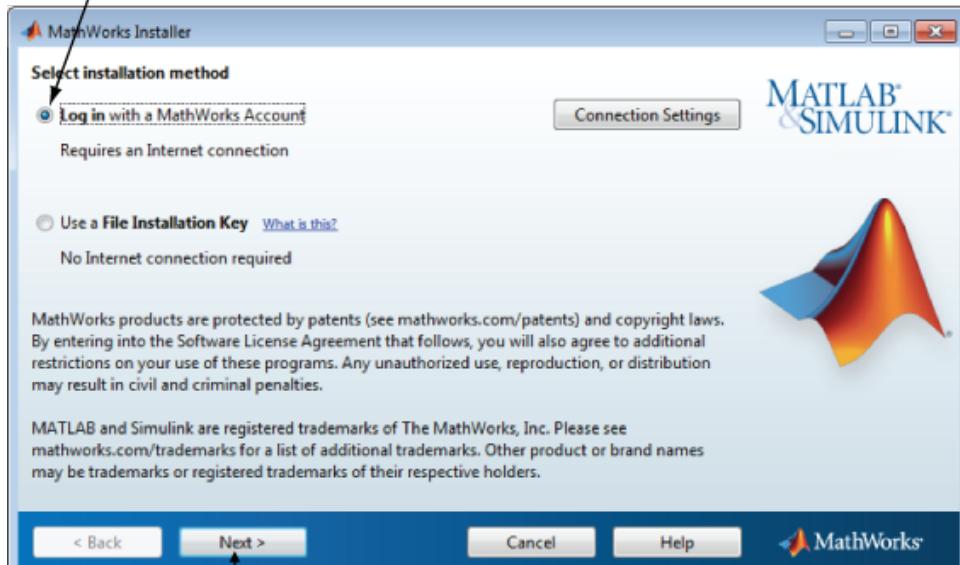
システムの構成によっては、最初に DVD をマウントしなければならないことがあります。次の例のように、必ず実行権限を指定してマウントしてください。DVD ドライブの名前は、お使いのシステムでは異なっている場合があります。

```
mount -o exec /media/cdrom0
```

手順 2: [MathWorks アカウントでログインする] の選択

[MathWorks アカウントでログインする] オプションをオン（既定）にしておき、[次へ] をクリックします。インストール中に MathWorks アカウントにログインし、インストールするライセンスを選択してインストーラーの指示に従います。

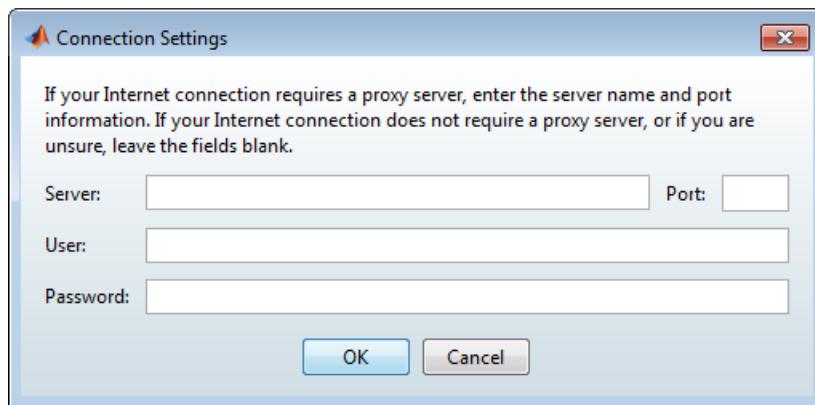
Select this option to install products using an Internet connection.



Click Next.

3 ネットワークライセンスオプションのインストール

インターネット接続にプロキシサーバーを必要とする場合は、[接続設定] をクリックします。[接続設定] ページに、サーバー名、ポートおよびパスワードを入力します。MathWorks は基本認証とダイジェスト認証のプロキシ設定をサポートしています。



メモ: Windows システムでは、インストーラーは、既定でシステムのプロキシ設定を使用します。プロキシサーバーがログインを要求する場合、インストーラーはログイン情報の入力を指示するプロンプトを表示します。

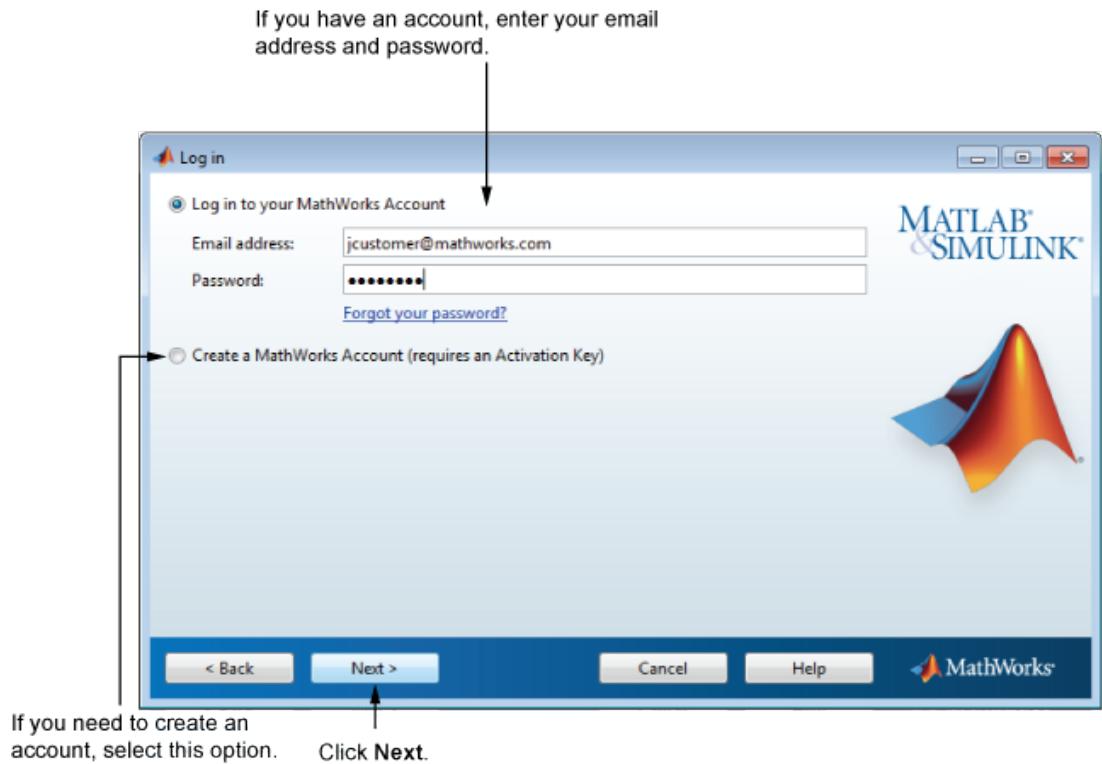
手順 3: ソフトウェアライセンス許諾書の確認

ソフトウェアライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は [はい] を選択し [次へ] をクリックします。

手順 4: 自分の MathWorks アカウントへのログイン

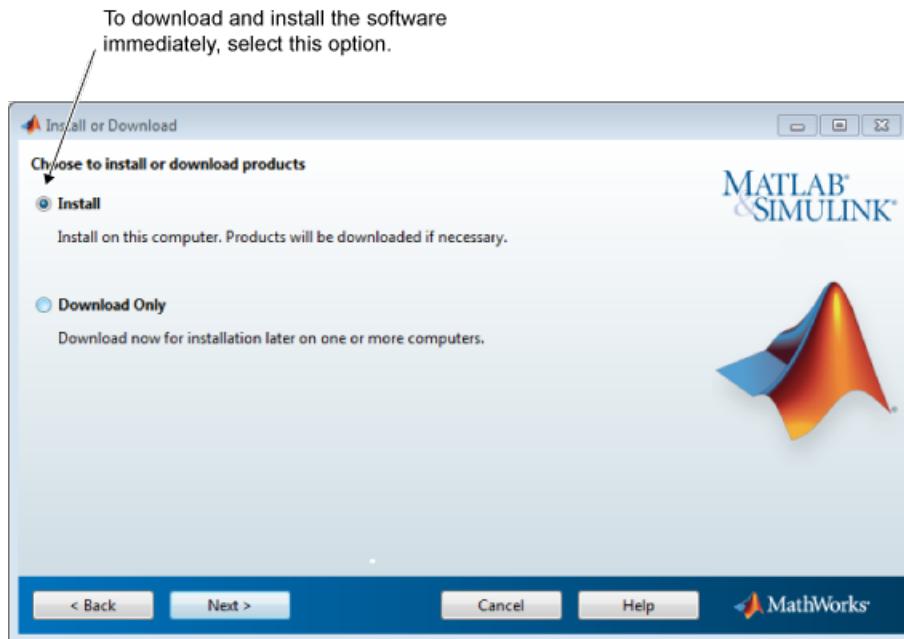
MathWorks アカウントにログインするには、電子メールアドレスとパスワードを入力して、[次へ] をクリックします。インストーラーにより MathWorks へのアクセスが行われ、アカウントに関連付けられたライセンスに関する情報が取得されます。

MathWorks アカウントを保有していない場合は、[MathWorks アカウントを作成する (アクティベーションキーが必要)] オプションを選択して [次へ] をクリックします。アカウントの作成に必要なデータの入力を指示するプロンプトが表示されます。



手順 5: インストール オプションの選択

[インストール] オプションをオン (既定) にしておき、[次へ] をクリックします。



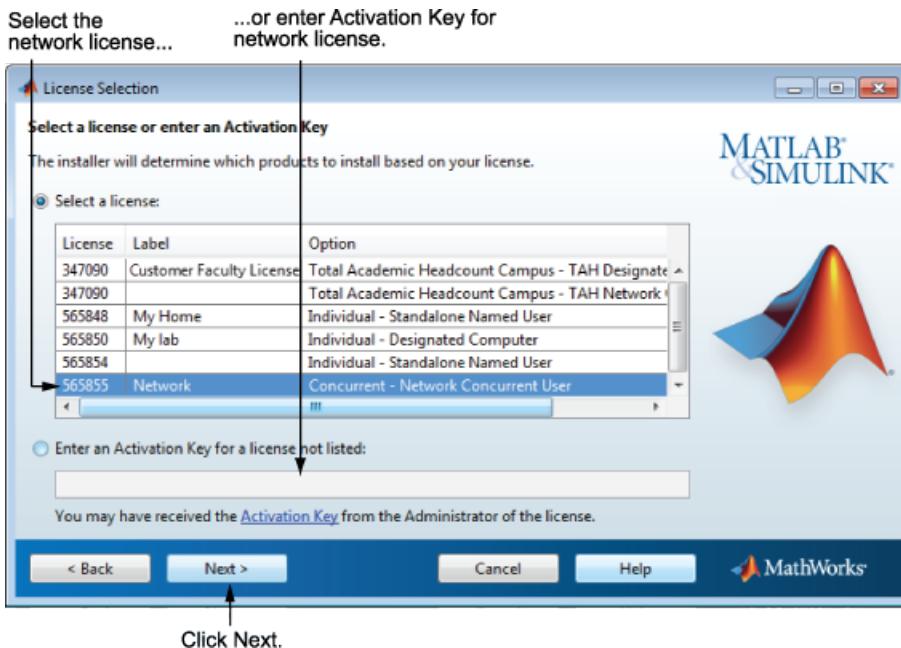
手順 6: インストールするライセンスの選択

MathWorks アカウントに関連付けられたライセンスとネットワーク ライセンス オプションの一覧から、目的のライセンスを選択して [次へ] をクリックします。この一覧には、ライセンスに関する以下の情報が含まれています。

- ・ ライセンス番号。
- ・ ライセンスの識別に役立つ説明テキスト ラベル（オプション）。
- ・ ライセンス オプションとアクティベーション タイプを識別する情報。サーバー インストールの場合は、ネットワーク ライセンス オプションが指定されたライセンスを選択します。

自分の MathWorks アカウントに関連付けられていないライセンスの製品をインストールする場合は、[リストされていないライセンスのアクティベーション キーを入力] オプションを選択し、アクティベーション キーを入力して、[次へ] をクリックします。“アクティベーション キー”とは、ライセンスを識別する固有のコードのことです。

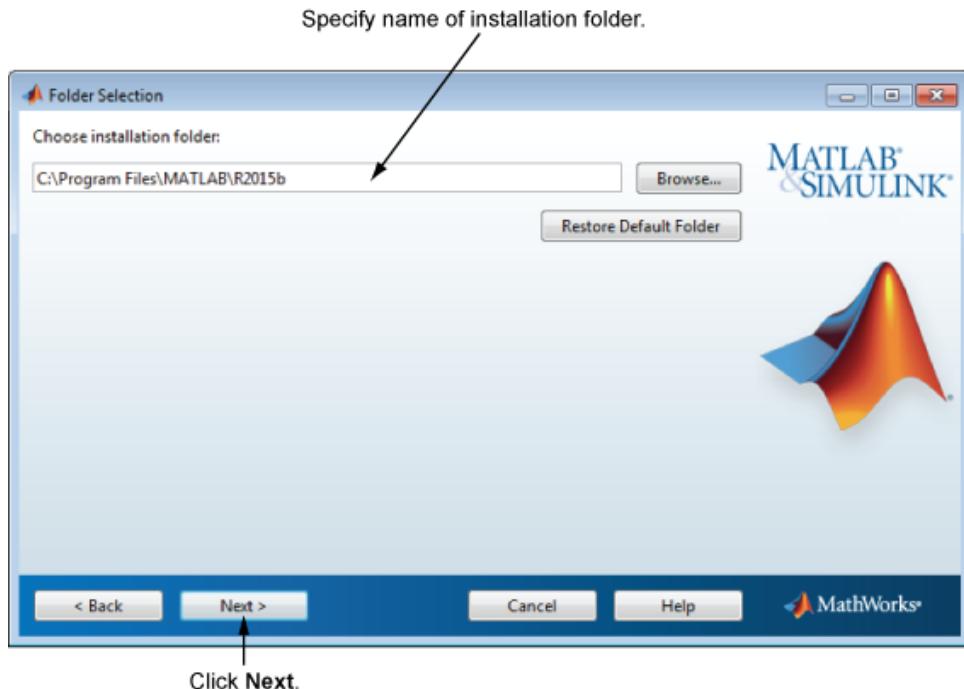
メモ: アクティベーション キーのダッシュやスペースの入力は任意です。



手順 7: インストール フォルダーの指定

MathWorks 製品をインストールするフォルダーの名前を指定します。既定のインストール フォルダーを使うか、[参照] をクリックして別のフォルダーを選択します。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

フォルダ名を指定するときは、任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。フォルダ名の入力を誤った場合にやり直すには、[既定のフォルダーに戻す] をクリックします。選択を行ったら、[次へ] をクリックします。

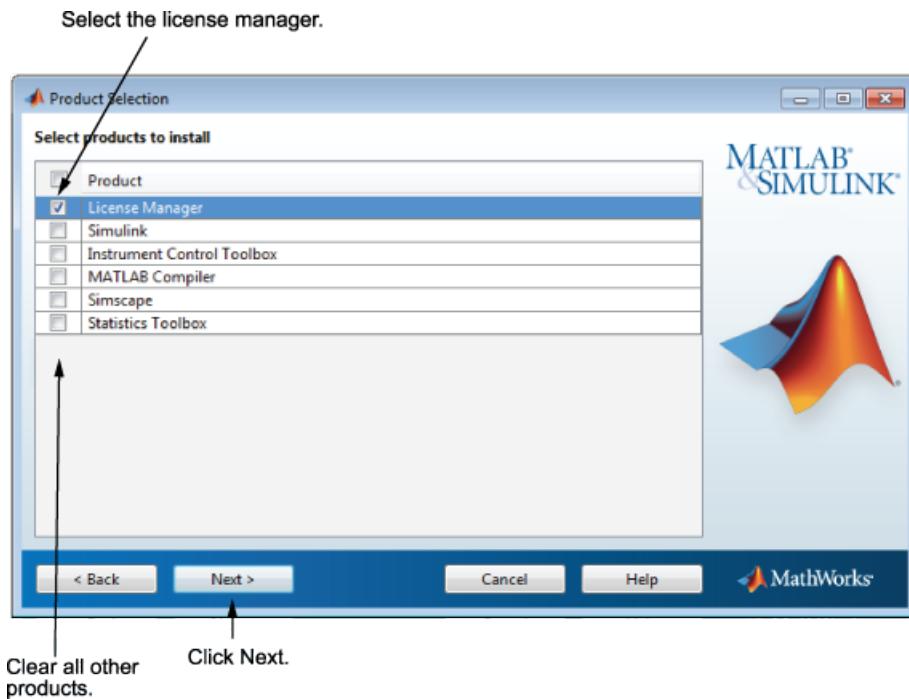


手順 8: インストールに使用するライセンス マネージャーの選択

製品リストでライセンス マネージャーを選択します。既定では、ライセンス マネージャーはインストール用に選択されていません。

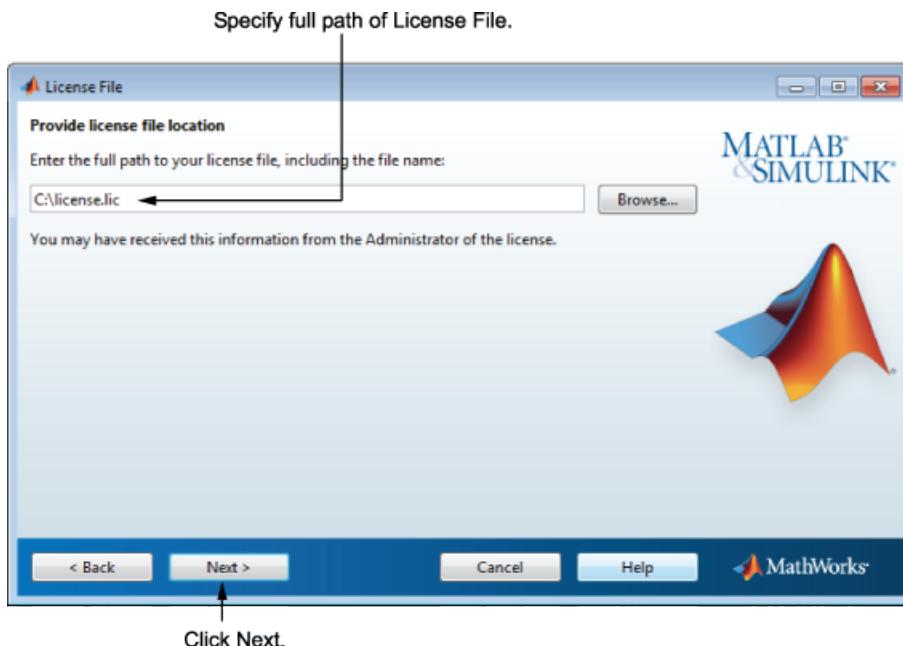
サーバーにライセンス マネージャーのみをインストールする場合は、他の製品の横にあるチェックボックスをクリアします。集中管理サーバー上でユーザーが MathWorks 製品を実行するためのリモート アクセス構成を設定し、かつ、この集中管理サーバーがライセンス サーバーである場合には、インストールする製品を選択する一覧のほかのすべての製品は選択されたままの状態にしておきます。

選択が完了したら [次へ] をクリックして続行します。[次へ] をクリックした後、選択した製品の一部が他の製品に依存しているという警告メッセージが表示されることがあります。



手順 9: ライセンス ファイルの場所の指定

テキスト ボックスで、MathWorks Web サイトのライセンス センターから取得したライセンス ファイルの絶対パスを入力します。[次へ] をクリックします。



サーバーでのライセンス ファイルの処理

ライセンス マネージャーをインストールする際に、インストーラーはこのライセンス ファイルを次のように処理します。

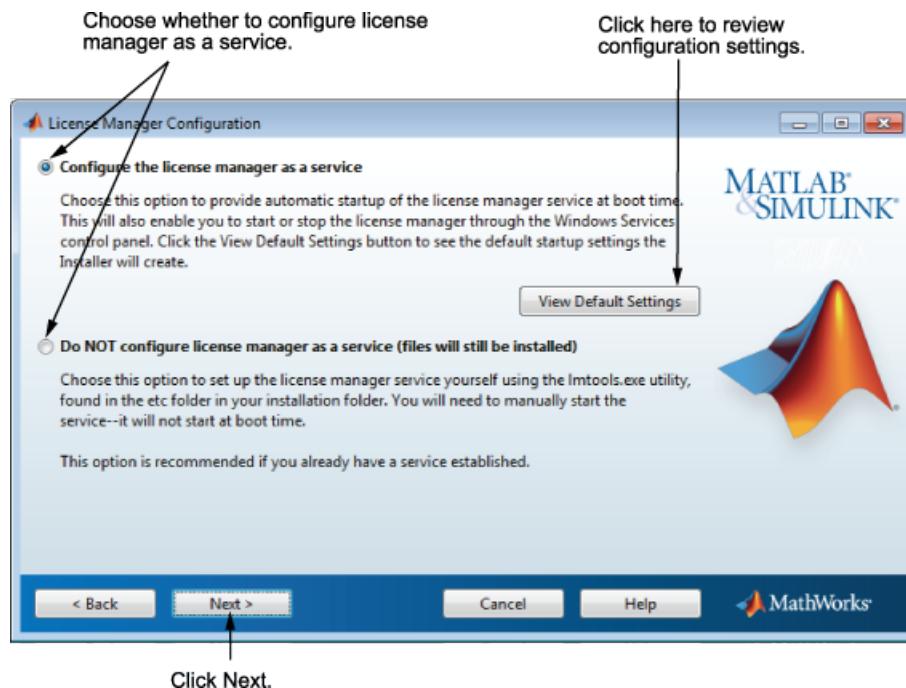
- ライセンス ファイルのコピーを作成して、`license.dat` という名前を付け、MATLAB インストール フォルダーの `\etc` フォルダーにこのコピーを配置します。
- ファイルに SERVER 行と DAEMON 行を追加します。SERVER 行はサーバー（ホストとポート番号）を識別します。DAEMON 行は、ライセンス マネージャー デーモンの名前を特定します。

手順 10: ライセンス マネージャーの設定: Windows システムのみ

ライセンス マネージャー サービスを設定することにより、システム起動時にライセンス マネージャーが自動的に起動し、Windows の [サービス] コントロール パネルでライセンス マネージャーを集中

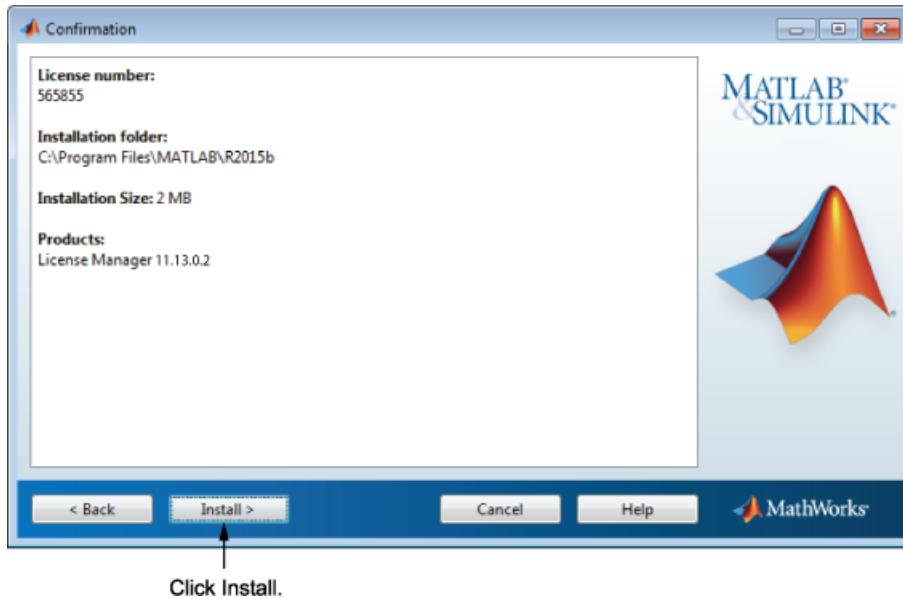
管理できます。既定のライセンス マネージャー設定を確認するには、[既定の設定の表示] をクリックします。ライセンス マネージャー サービスを設定しないように選択した場合は、後から設定することができます。

メモ: 新しいライセンス マネージャーをインストールするまで既存のライセンス マネージャーを継続して使用する場合は、[サービスとしてライセンス マネージャーを設定しない (ファイルはインストールされます)] オプションを選択します。この場合でも、ライセンス マネージャー ファイルはインストールされます。インストールが完了したら、既存のライセンス マネージャーを停止して、新しいライセンス マネージャーを起動します。



手順 11: 選択内容の確認

ファイルをハード ディスクにコピーする前に、インストーラーにインストール内容の要約が表示されます。設定を変更するには、[戻る] をクリックします。インストールを続行するには、[インストール] をクリックします。

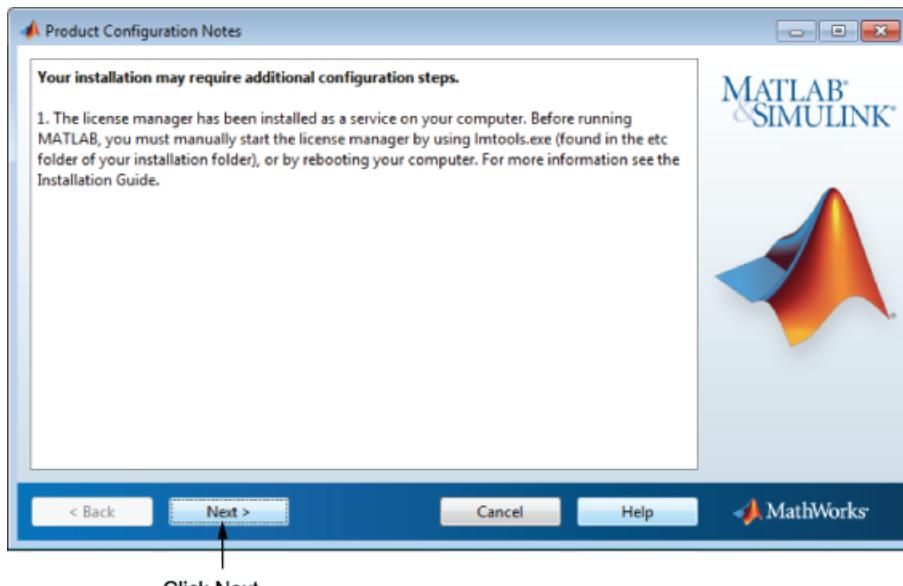


ファイルをハードドライブにコピーしている間は、インストールの進捗状況を示すダイアログ ボックスが表示されます。

製品設定に関するメモの確認

インストーラーに、サーバーでライセンス マネージャーを起動する方法の情報が表示されます。他の製品をインストールした場合は、この他の製品設定や製品更新に関する情報が表示されることもあります。

[次へ] をクリックしてインストールを続行します。



Click Next.

手順 12: インストールの完了

インストールが完了したら、[終了] をクリックしてインストーラーを終了します。

ライセンス マネージャーをサービスとしてインストールする場合は、インストールの完了後にコンピューターを再起動してください。クライアント システムで MATLAB を起動するには、ライセンス マネージャーが実行中でなければなりません。ライセンス マネージャーはサービスなので、システムの起動時に自動的に開始されます。

ライセンス マネージャー デーモンのダウンロード

ライセンス マネージャーが既にインストールされ、設定されている場合は、MathWorks インストラーを使用する代わりにサーバーに直接新しいライセンス マネージャー デーモンをダウンロードして、ソフトウェアの最新バージョンをインストールできます。ライセンス マネージャー デーモンには、次のものが含まれます。

- lmgrd – ライセンス マネージャー デーモン。
- MLM – MathWorks ベンダー デーモン。

- 1 MathWorks Web サイトの「License Manager Download (ライセンス マネージャーのダウンロード)」で、使用するプラットフォーム用の zip ファイルをダウンロードします。
- 2 ライセンス マネージャーを実行中の場合は終了します。詳細は、「ライセンス マネージャーの起動」(p. 3-60)を参照してください。
- 3 ファイルを zip ファイルからライセンス マネージャー フォルダーに解凍します。ライセンス マネージャー ファイルの既定の場所は、matlabroot\etc\\$ARCH フォルダーです。matlabroot は MATLAB インストール フォルダー、\$ARCH はプラットフォーム固有のサブフォルダーを示します。
- 4 ライセンス マネージャーを再起動し、必要に応じて設定を行います。

クライアントへの製品とライセンス情報の提供

ライセンス マネージャーをサーバーにインストールした後、MathWorks 製品のインストールを希望するユーザーに以下のものを提供します。

- ・ ライセンス ファイル – サーバーでのライセンス マネージャーのインストール時に処理したライセンス ファイルのコピーをユーザーに提供します。ライセンス ファイルには、使用しているライセンス サーバーについて SERVER の行が正しく記述されていなければなりません。このライセンス ファイルの詳細は、「サーバーでのライセンス ファイルの処理」(p. 3-34)を参照してください。

メモ: クライアントへのインストールを行うユーザーには、ライセンス電子メールから作成したオリジナルのライセンス ファイルのコピーは提供しないでください。このフォームのライセンス情報は使用できません。正しい SERVER 行が含まれないからです。また、MathWorks から受信したライセンス電子メールをユーザーに転送することも避けてください。

- ・ 製品ファイルへのアクセス – クライアントへのインストールを行うユーザーが製品ファイルを利用できるようにする方法がいくつかあります。MathWorks 製品 の DVD をユーザーと共有することができます。また、製品ファイルをダウンロードして、どのクライアントでもアクセスできるサーバーに用意しておくこともできます。これらの場合、ユーザーが製品をインストールするには、ファイル インストール キーが必要となります。

クライアントへのインストールを行うユーザーが MathWorks アカウントを保有している場合は、そのユーザーにライセンスのアクティベーション キーを提供することができます。これにより、ユーザーがインストールの際にそのアカウントにログインし、MathWorks 製品をインストールできます。

- ・ インストールの手順 – ユーザーに「クライアント システムへの MathWorks ソフトウェアのインストール」(p. 3-41)に記載されている手順のコピーを提供します。混乱を避けるため、ライセンスマネージャーのインストールの説明は渡さないようにしてください。

多くのクライアントへのインストールを行う場合は、インストーラー初期化ファイルを作成して、インストーラーを非対話モードで実行することができます。「非対話モードのインストール (サイレント インストール)」(p. 3-66)を参照してください。

クライアント システムへの MathWorks ソフトウェアのインストール

この節の内容...

- 「インストール前の準備」(p. 3-41)
- 「手順 1: インストーラーの起動」(p. 3-43)
- 「手順 2: インストール方法の選択」(p. 3-45)
- 「手順 3: ソフトウェア ライセンス許諾書の確認」(p. 3-46)
- 「手順 4: ファイル インストール キーの指定」(p. 3-46)
- 「手順 5: 自分の MathWorks アカウントへのログイン」(p. 3-47)
- 「手順 6: インストールするライセンスの選択」(p. 3-50)
- 「手順 7: インストール フォルダーの指定」(p. 3-51)
- 「手順 8: インストールする製品の指定」(p. 3-52)
- 「手順 9: ライセンス ファイルの場所の指定」(p. 3-54)
- 「手順 10: インストール オプションの指定」(p. 3-54)
- 「手順 11: 選択内容の確認」(p. 3-56)
- 「手順 12: インストールの完了」(p. 3-59)

インストール前の準備

ライセンス管理者から、必要なインストールとライセンスの情報を入手します。この情報は、次の項目を含みます。

- ・ 製品へのアクセス:

- ・ 製品が共有の DVD またはサーバー上にある場合、ライセンス管理者からファイル インストール キーを入手します。
- ・ ファイル インストール キーを使用してインストールを行う場合は、MATLAB インストーラーを含む製品ファイルが、コンピューターの既定のダウンロード フォルダー、ネットワーク共有フォルダーまたは DVD などのアクセス可能な場所から利用できることを確認します。製品ファイルがコンピューターの既定のダウンロード フォルダー以外の場所にある場合は、インストーラー ファイルは製品ファイルと同じフォルダー内に存在しなければなりません。

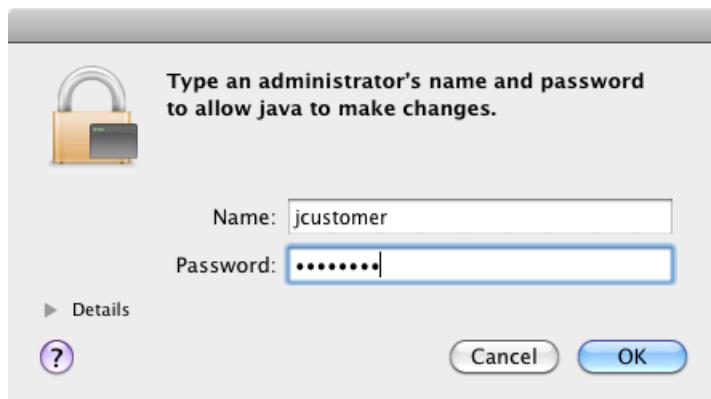
MATLAB 学生用ソフトウェアには DVD は含まれていません。製品をダウンロードしてインストールするには、MathWorks に接続しなければなりません。

3 ネットワーク ライセンス オプションのインストール

- MathWorks アカウントを使用して製品をインストールする必要がある場合、電子メール アドレスと MathWorks アカウントのパスワードを必ず用意しておきます。これらは、インストール中にユーザー アカウントにログインするために必要になります。

必要に応じて、アクティベーション キーを取得します。MathWorks アカウントを保有していない場合、インストール中にアカウントを作成するためにアクティベーション キーが必要です。アクティベーション キーとは、ライセンスを識別する固有のコードのことです。また、アクティベーション キーを使用することで、ライセンスを付与されたエンド ユーザーは各自の MathWorks アカウントにライセンスを関連付けることができます。

- クライアントのライセンス ファイル。ライセンス ファイルには、使用するライセンス サーバーについて SERVER の行が正しく記述されていなければなりません。
- ソフトウェアのインストールに適した権限。権限に関する質問は、システム管理者にお問い合わせください。
- Windows システム – 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。インストーラーによってインストール中にシステム レジストリが変更されます。
- Linux システム – ルート パスワードを取得します。MATLAB ソフトウェアはスーパーユーザー権限がなくてもインストールできますが、特定のインストール オプションが制限されます。たとえば、matlab コマンドへのシンボリック リンクの設定、保護されているフォルダーへの製品ファイルのインストール、またはシステム起動スクリプトの編集を行うには、スーパーユーザーのステータスを保有していなければなりません。
- Mac OS X システム – 使用しているコンピューターの管理者アカウントの名前とパスワードを取得します。管理者アカウントは Mac OS X システムの構成時に設定されたユーザー アカウントであり、MathWorks アカウントではありません。インストール中に、この名前とパスワードを [Authenticate] ダイアログ ボックスに入力しなければなりません。



- ・ ウイルス対策ソフトウェアとインターネット セキュリティ アプリケーションを無効にするかどうかの選択。これらのアプリケーションによって、インストールの処理が遅くなったり、反応がなくなったりすることがあります。

既存のインストールをアップグレードする場合

MATLAB を最新リリースにアップグレードする場合は、新しいインストール フォルダーに新しいバージョンをインストールすることをお勧めします。インストールされたプレリリース バージョンのソフトウェアをアップグレードする場合も、新しいインストール フォルダーにインストールしてください。新しいリリースをインストールする前に既存の MATLAB を削除する必要はありません。同一システム上で MATLAB の複数のバージョンを実行することができます。

手順 1: インストーラーの起動

メモ: 共有場所から製品にアクセスし、ファイル インストール キーを使用してインストールを行う場合は、製品ファイルを含むフォルダーのルートにインストーラー ファイルとアーカイブ フォルダーが含まれていることを確認します。インストーラー ファイルは、Windows では `setup.exe`、Linux では `install`、Mac OS X では `InstallForMacOSX` です。アーカイブ サブフォルダー内のファイル数が 3 つ未満である場合は、必要なファイルが欠落している可能性があります。管理者に「インストールを後で行う場合の製品のダウンロード」(p. 2-15)の手順を使用してファイルを再度ダウンロードするように要請してください。

- 1 インストーラーを起動します。インストーラーの起動方法は、プラットフォームによって異なります。また、ライセンス管理者が MathWorks Web サイトからダウンロードしたインストーラーを使用するのか、あるいは DVD を使用するのかによっても異なります。
 - ・ Windows
 - ・ ダウンロード済みの製品ファイル – ユーザーまたは管理者が以前に製品ファイルをダウンロードして、製品ファイルをコンピューター、ネットワーク共有フォルダーまたはメディアにコピーしている場合は、製品ファイルが格納されているフォルダーの最上位に移動し、`setup.exe` をクリックします。
 - ・ ダウンロードしたインストーラー ファイル – ダウンロードしたファイルのフォルダーで自己解凍形式のインストーラー ファイルをダブルクリックします。解凍の完了後に、インストーラーが自動的に起動します。

後でインストーラーを再起動するには、`setup.exe` をクリックします。このファイルは、ファイルを解凍したフォルダーの最上位にあります。

- ・ DVDによるインストール – システムに接続されているDVDドライブにDVDを挿入します。通常、インストーラーが自動的に起動します。
- ・ Mac OS X
 - ・ ダウンロード済みの製品ファイル – ユーザーまたは管理者が以前に製品ファイルをダウンロードして、解凍したファイルをコンピューター、ネットワーク共有フォルダーまたはメディアにコピーしている場合は、製品ファイルが格納されているフォルダーの最上位に移動し、InstallForMacOSXアイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。
 - ・ ダウンロードしたインストーラーファイル – ダウンロードしたファイルのフォルダーでアーカイブファイルをダブルクリックします。ファイルの解凍後、インストーラーフォルダーを開いて InstallForMacOSX.app をダブルクリックします。
 - ・ DVDによるインストール – システムに接続されているDVDドライブにDVDを挿入します。DVDアイコンがデスクトップに表示されたら、アイコンをダブルクリックしてDVDの内容を表示し、InstallForMacOSXアイコンをダブルクリックしてインストールを開始します。



InstallForMacOSX

- ・ Linux

- ・ ダウンロード済みの製品ファイル – ユーザーまたは管理者が以前に製品ファイルをダウンロードして、解凍したファイルをコンピューター、ネットワーク共有フォルダーまたはメディアにコピーしている場合は、製品ファイルが格納されているフォルダーの最上位に移動し、次のインストーラー コマンドを実行します。

```
./install
```

- ・ ダウンロードしたインストーラーファイル – unzip コマンドを使用して、ダウンロードしたファイルのフォルダーのアーカイブファイルからファイルを解凍します。ファイルの解凍後、次のインストーラー コマンドを実行します。

```
./install
```

DVDによるインストール – システムに接続されているDVDドライブにDVDを挿入し、次のコマンドを実行します。

```
/path_to_dvd/install &
```

システムの構成によっては、最初に DVD をマウントしなければならないことがあります。次の例のように、必ず実行権限を指定してマウントしてください。DVD ドライブの名前は、お使いのシステムでは異なっている場合があります。

```
mount -o exec /media/cdrom0
```

- ・ダウンロードしたインストーラー ファイル – unzip コマンドを使用して、ダウンロードしたファイルのフォルダーのアーカイブ ファイルからファイルを解凍します。ファイルの解凍後、次のインストーラー コマンドを実行します。

```
./install
```

DVD によるインストール – システムに接続されている DVD ドライブに DVD を挿入し、次のコマンドを実行します。

```
/path_to_dvd/install &
```

システムの構成によっては、最初に DVD をマウントしなければならないことがあります。次の例のように、必ず実行権限を指定してマウントしてください。DVD ドライブの名前は、お使いのシステムでは異なっている場合があります。

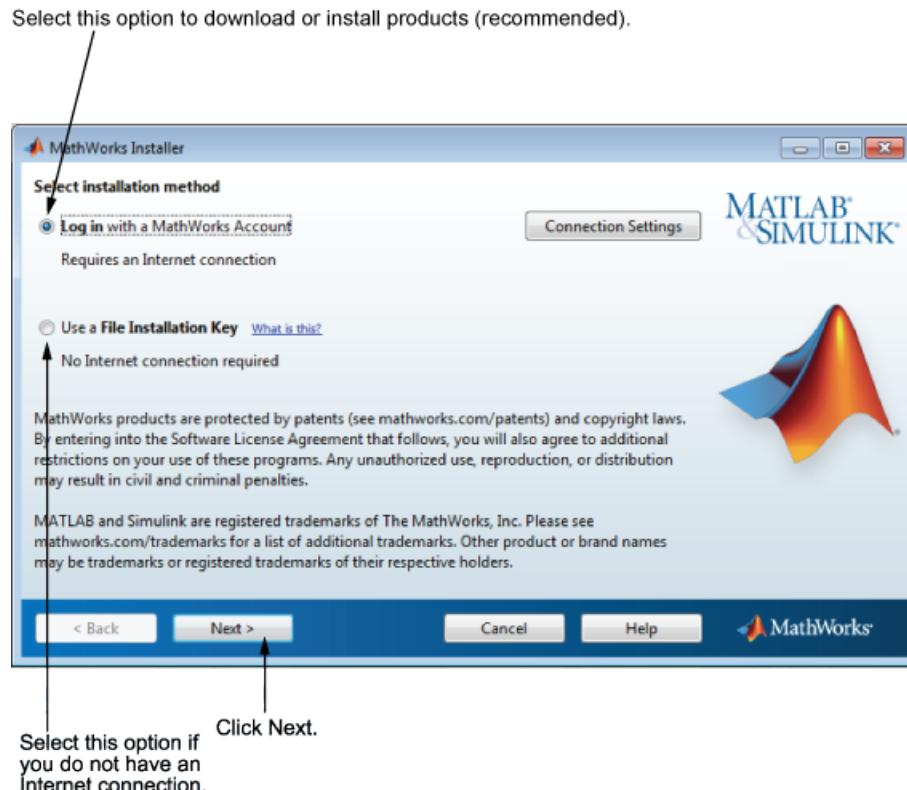
```
mount -o exec /media/cdrom0
```

手順 2: インストール方法の選択

インストールにファイル インストール キーと MathWorks アカウントのどちらを使用するかを選択します。ファイル インストール キーがある場合、[ファイル インストール キーを使用する] を選択して [次へ] をクリックします。

インターネットに接続されており、MathWorks アカウントを使用して製品をインストールする必要がある場合、[MathWorks アカウントでログインする] を選択します。このオプションでは、ライセンス管理者からアクティベーション キーを取得しなければならない場合があります。

3 ネットワークライセンスオプションのインストール



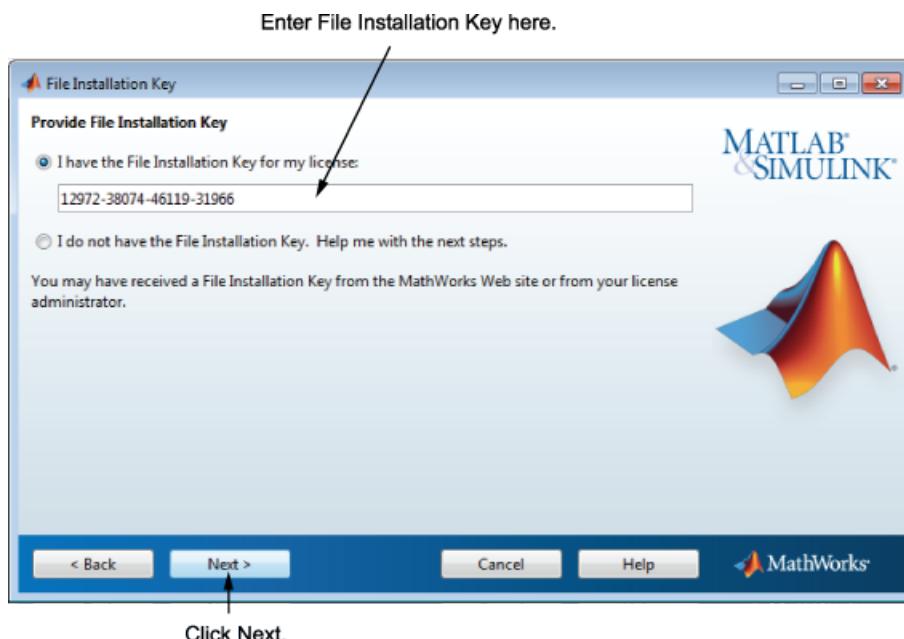
手順 3: ソフトウェアライセンス許諾書の確認

ソフトウェアライセンス許諾書を確認し、条件に同意する場合は[はい]を選択し[次へ]をクリックします。

手順 4: ファイルインストールキーの指定

MathWorksアカウントを使用してインストール対象の製品にアクセスする必要がある場合は、この手順を省略して手順5に進みます。

共有のDVDを使用している場合やサーバー上で製品ファイルにアクセスできる場合は、[ファイルインストールキーを使用する]を選択して[次へ]をクリックします。

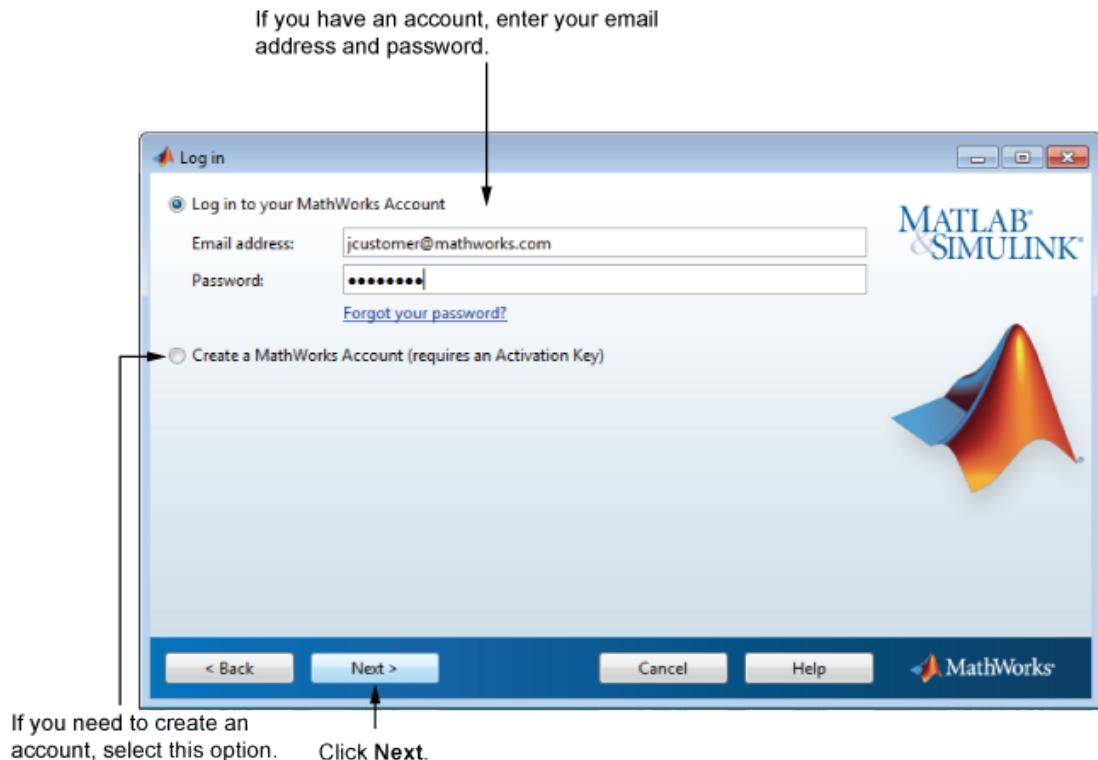


手順 5: 自分の MathWorks アカウントへのログイン

MathWorks アカウントにログインするには、電子メール アドレスとパスワードを入力して、[次へ] をクリックします。インストーラーにより MathWorks へのアクセスが行われ、アカウントに関連付けられたライセンスに関する情報が取得されます。

MathWorks アカウントを保有していない場合は、[MathWorks アカウントを作成する (アクティベーションキーが必要)] オプションを選択して [次へ] をクリックします。アカウントの作成に必要なデータの入力を指示するプロンプトが表示されます。

3 ネットワークライセンスオプションのインストール



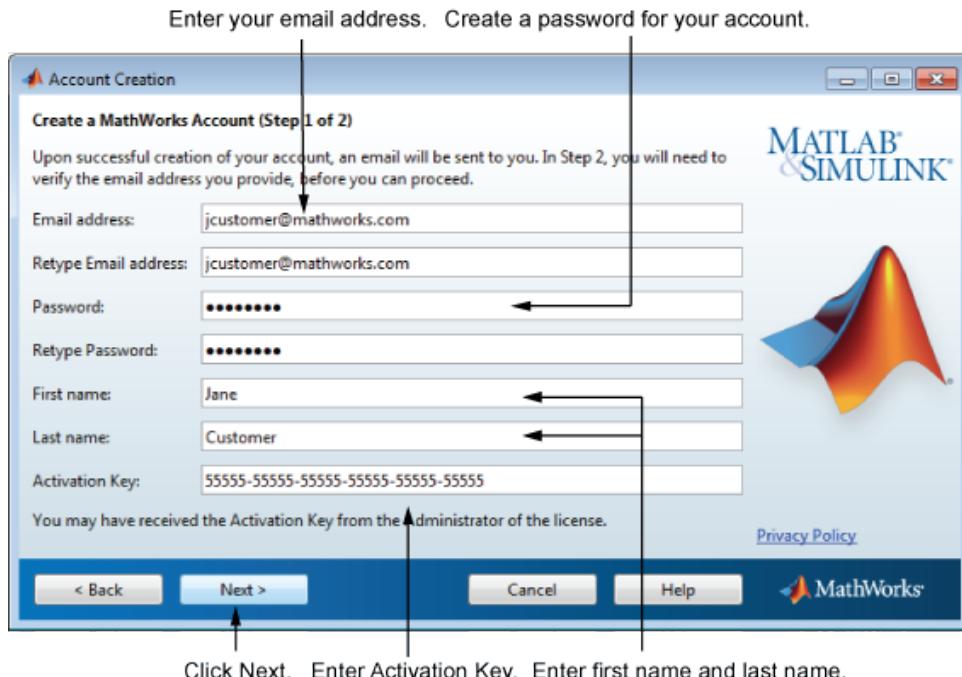
MathWorks アカウントの作成

アカウントを作成するには、電子メール アドレス、姓、名およびパスワードを入力します。新しく作成したアカウントにはライセンスが関連付けられていないので、アクティベーション キーも入力しなければなりません。

アクティベーション キーによって、インストールするライセンスが識別されます。このライセンスの管理者は、MathWorks Web サイトのライセンス センターからキーを取得できます。MATLAB 学生用ソフトウェアを購入した場合、アクティベーション キーは製品パッケージに含まれています。

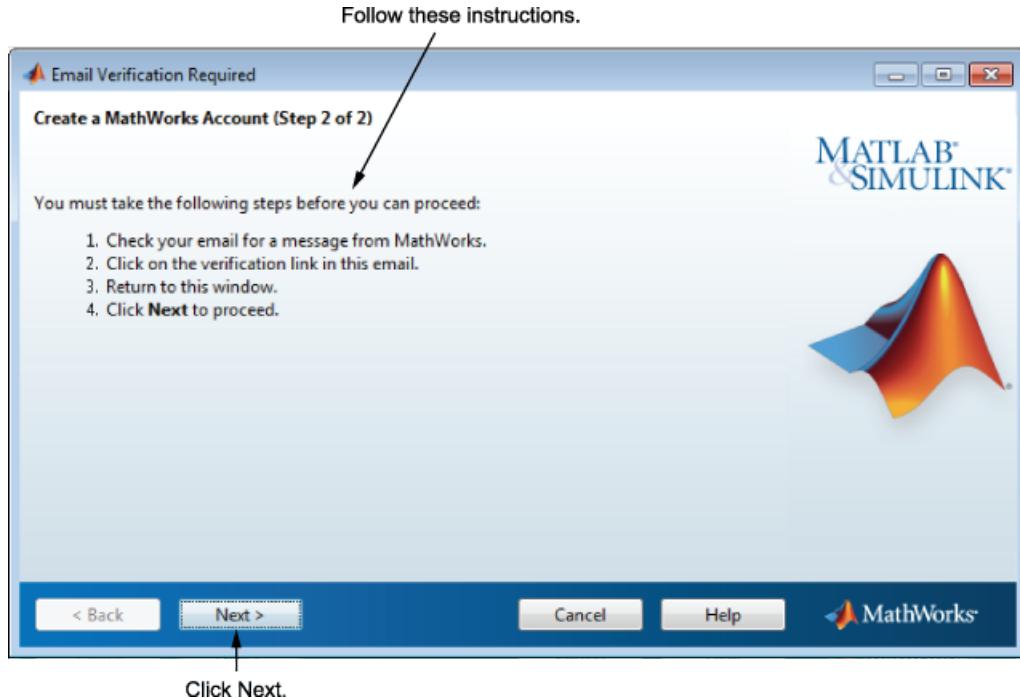
メモ: アクティベーション キーのダッシュやスペースの入力は任意です。

[次へ] をクリックして、アカウントを作成します。



メモ: 新しい MathWorks アカウントを作成したら、インストールを続行する前に、電子メール アドレスを確認しなければなりません。[電子メールの確認が必要] ダイアログ ボックスの [次へ] をクリックする前に、電子メール プログラムに移動して MathWorks から送信されたメッセージを開き、確認リンクをクリックします。次に、このダイアログ ボックスに戻り、[次へ] をクリックします。

3 ネットワーク ライセンス オプションのインストール



入力したアクティベーション キーによって特定のライセンスが指定されるため、インストーラーではライセンスを選択する手順が省略されます。

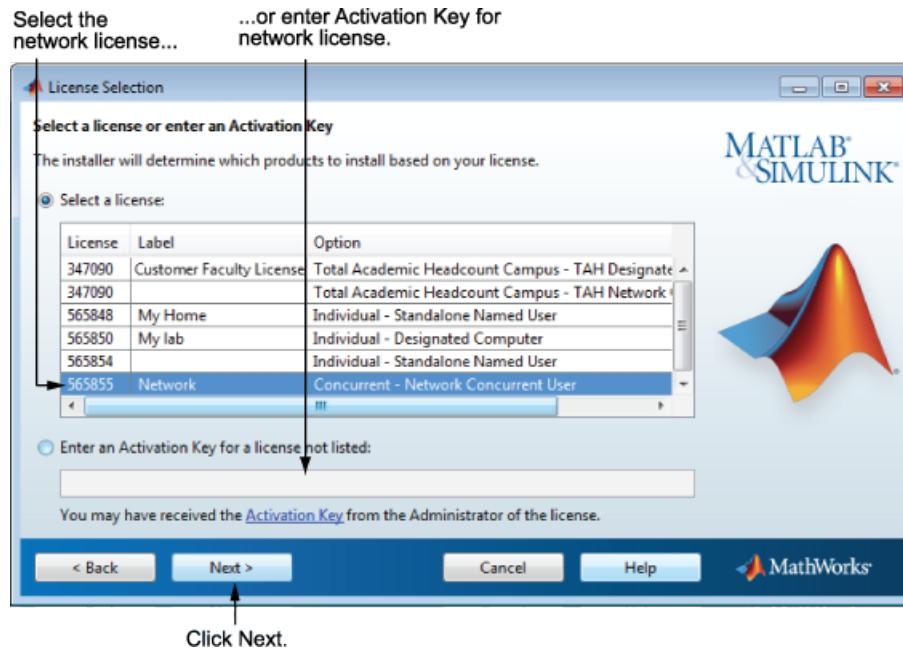
手順 6: インストールするライセンスの選択

メモ: 前の手順でアクティベーション キーを指定した場合、インストーラーではこの手順が省略されます。

MathWorks アカウントに関連付けられたライセンスの一覧からライセンスを選択して、「次へ」をクリックします。この一覧には、ライセンスに関する以下の情報が含まれています。

- ・ ライセンス番号。
- ・ ライセンスの識別に役立つ説明テキスト ラベル（オプション）。
- ・ ライセンス オプションとアクティベーション タイプを識別する情報。

一覧に目的のライセンスが表示されない場合は、[リストされていないライセンスのアクティベーションキーを入力]を選択して、アクティベーションキーを入力します。

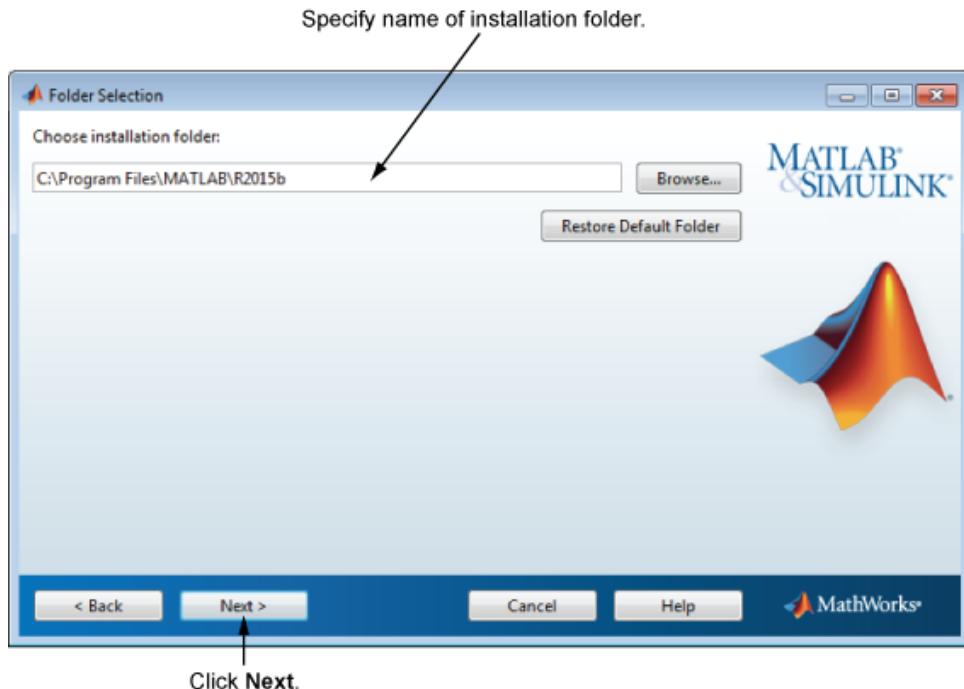


Click Next.

手順 7: インストール フォルダーの指定

MathWorks 製品をインストールするフォルダーの名前を指定します。既定のインストール フォルダーを使うか、[参照] をクリックして別のフォルダーを選択します。指定したフォルダーが存在しない場合は、インストーラーによって作成されます。

フォルダーネームを指定するときは、任意の英数字に加えて、アンダースコアなどの一部の特殊文字を使用できます。フォルダーネームの入力を誤った場合にやり直すには、[既定のフォルダーに戻す] をクリックします。選択を行ったら、[次へ] をクリックします。

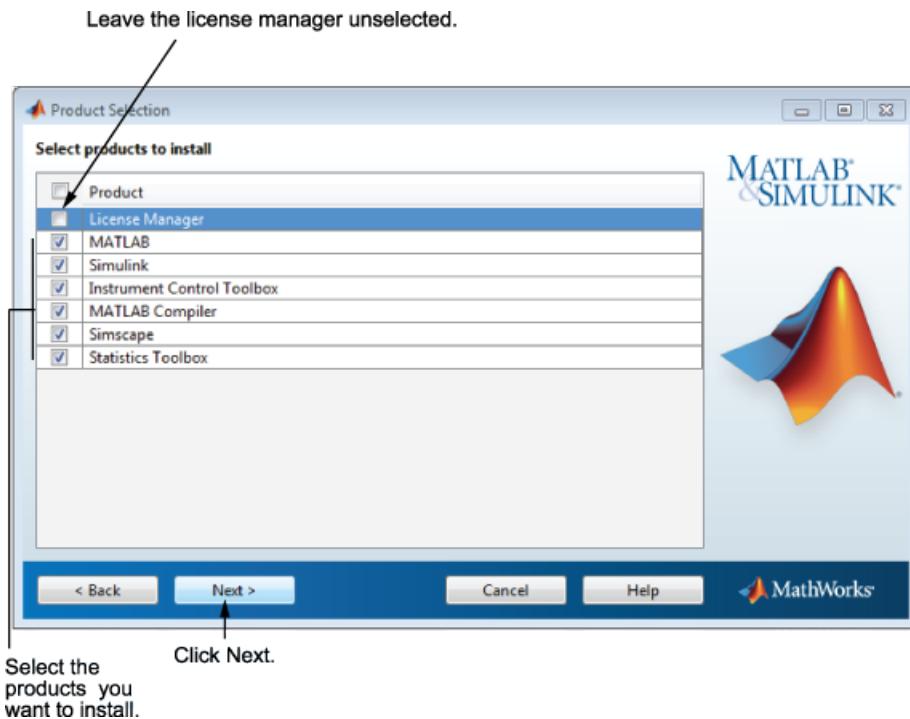


手順 8: インストールする製品の指定

インストールする製品を指定します。このダイアログボックスには、ライセンスでインストールが許可されているすべての製品が一覧表示されます。一覧内の製品は、あらかじめインストールするように選択されています。

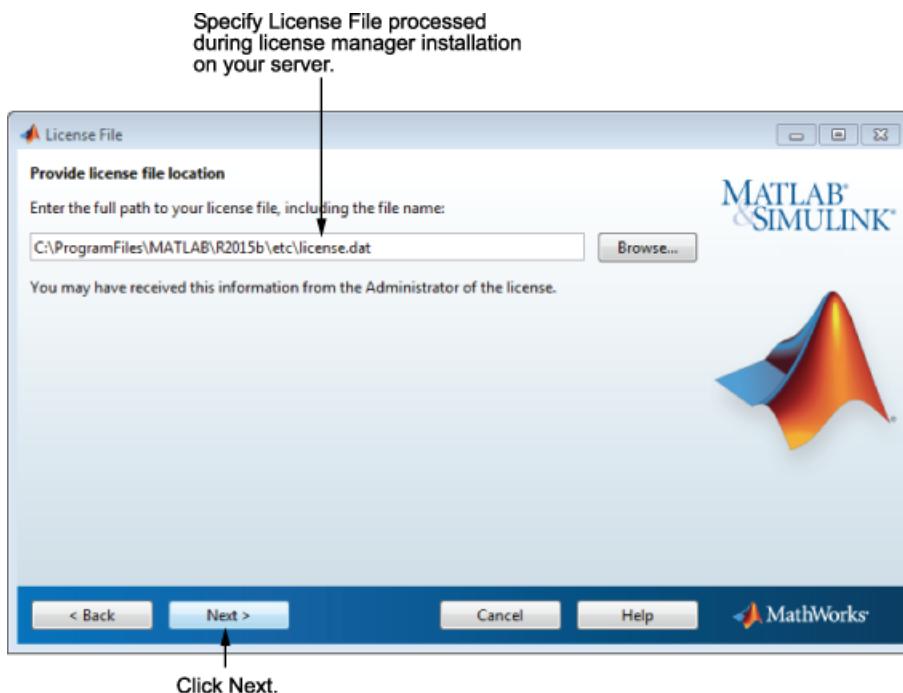
メモ: クライアントシステムには、ライセンスマネージャーはインストールしないでください。

選択が完了したら [次へ] をクリックして続行します。[次へ] をクリックした後、選択した製品の一部が他の製品に依存しているという警告メッセージが表示されることがあります。



手順 9: ライセンス ファイルの場所の指定

テキスト ボックスで、ライセンス管理者から受け取ったライセンス ファイルの絶対パスを入力して、[次へ] をクリックします。



クライアントにおけるライセンス ファイルの処理

インストーラーによって、クライアント システムでライセンス ファイルに以下の処理が行われます。

- ・ 指定したライセンス ファイルのコピーが作成され、`network.lic` という名前で MATLAB クライアントのインストール フォルダーにある `\licenses` フォルダーに配置されます。
- ・ ライセンス ファイルの SERVER 行はそのまま、すべての INCREMENT 行と DAEMON 行が削除されます。ファイルに、ステートメント `USE_SERVER` が追加されます。

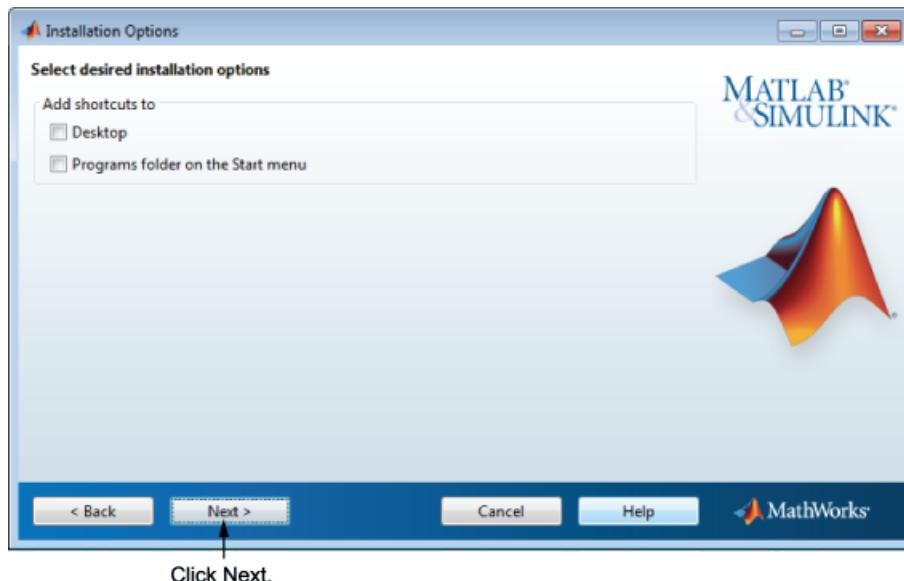
手順 10: インストール オプションの指定

インストール先のプラットフォームに応じて、インストール オプションを指定します。

Windows システム

Windows では、[インストール オプション] ダイアログ ボックスで、[スタート] メニューとデスクトップに MATLAB の起動用ショートカットを配置するかどうかを選択できます。

インストール オプションを選択したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

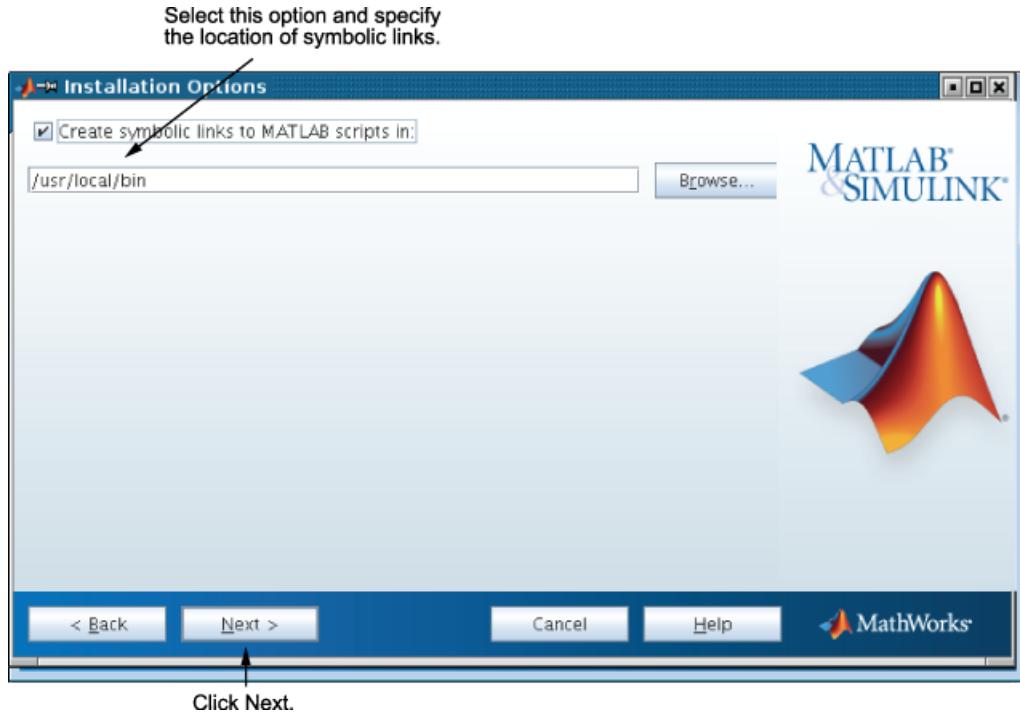


Linux システム

Linux システムでは、matlab および mex スクリプトへのシンボリックリンクを作成するかどうかを指定できます。書き込み権限のあるフォルダーを指定します。すべてのユーザーのパスに共通する、/usr/local/bin などのフォルダーにしてください。

インストール オプションを選択したら、[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

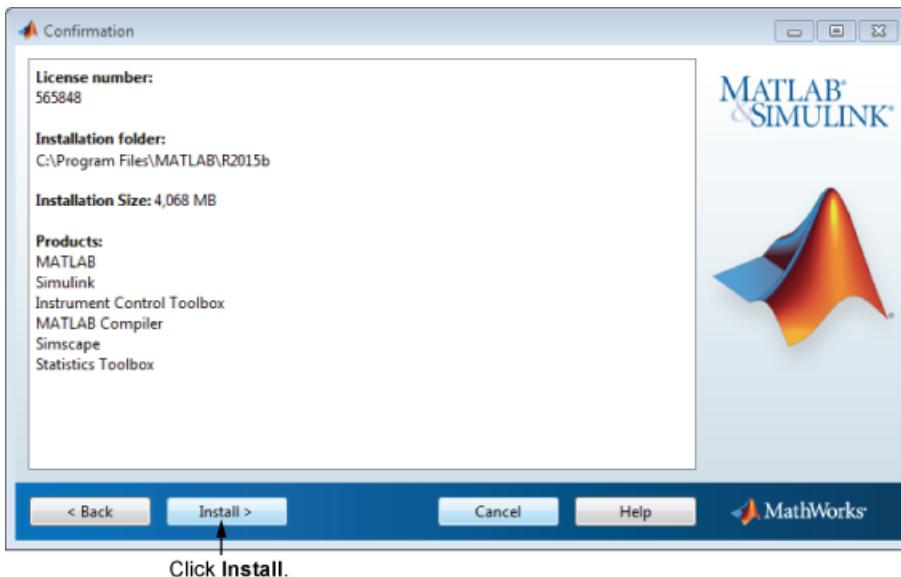
3 ネットワークライセンスオプションのインストール



手順 11: 選択内容の確認

ソフトウェアをハードディスクにインストールする前に、インストーラーにインストール内容の要約が表示されます。設定を変更するには、[戻る] をクリックします。インストールを続行するには、[インストール] をクリックします。

メモ: 使用するインストール方法によっては、確認情報がここで示される例とは異なる場合があります。



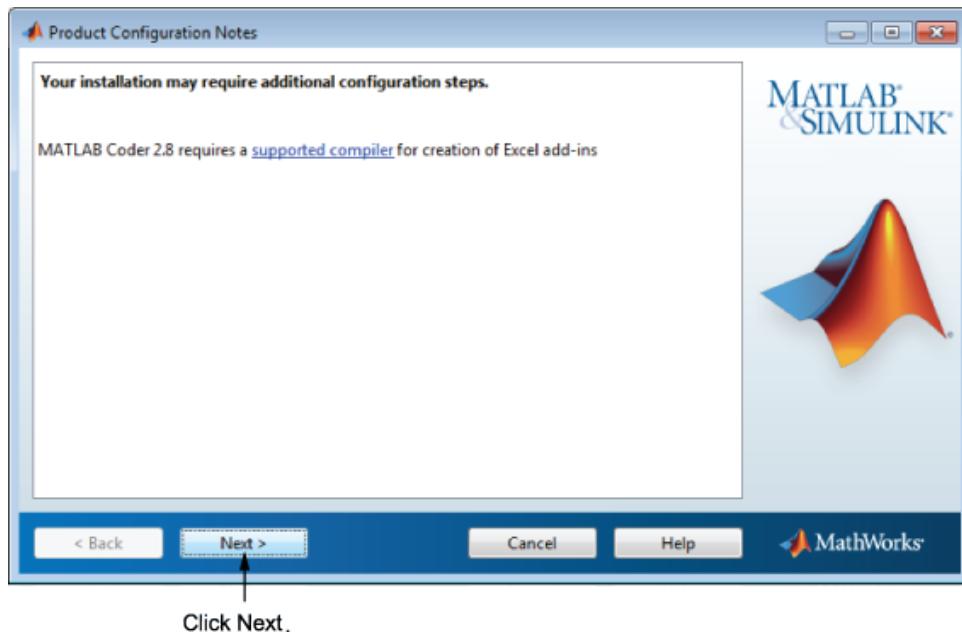
製品設定に関するメモの確認

インストールする製品によっては、インストーラーで次のような情報を含むダイアログ ボックスが表示されることがあります。

- ・ 製品の設定情報 – 一部の製品では追加の設定が必要になります。これらの製品をインストールした場合は、このダイアログ ボックスに設定コマンドの一覧が表示されます。これらのコマンドは、システムのクリップボードにコピーして、インストールの完了後に使用することができます。

[次へ] をクリックしてインストールを続行します。

3 ネットワークライセンスオプションのインストール



Click Next.

手順 12: インストールの完了

MathWorks インストーラーによるインストールが完了したら、[終了] をクリックしてインストーラーを終了します。

ライセンス マネージャーでの作業

この節の内容...

「ライセンス マネージャーの起動」(p. 3-60)

「Linux システムでライセンス マネージャーを自動的に起動するための設定」(p. 3-61)

「ライセンス マネージャーの管理」(p. 3-62)

ライセンス マネージャーの起動

MATLAB ソフトウェアをクライアント コンピューターで起動するには、ライセンス マネージャーがサーバーで実行されている必要があります。Windows システムでは、システムの起動時にライセンス マネージャーが自動的に起動するよう、インストーラーによって設定されます (Linux システムでは、システムの起動スクリプトを編集しなければなりません。「Linux システムでライセンス マネージャーを自動的に起動するための設定」(p. 3-61)を参照してください)。この既定の設定を受け入れた場合、ライセンス マネージャーを起動する最も簡単な方法は、ライセンス マネージャーがインストールされているコンピューターを再起動することです。ライセンス マネージャーを起動する方法は、プラットフォームに応じてほかにもいくつか存在します。次の節では、こうした方法について説明します。

- ・ 「Windows システム」(p. 3-60)
- ・ 「Linux および Mac OS X システム」(p. 3-61)

メモ: ライセンス マネージャー プロセスに関連付けられているユーザー名は、ネットワーク上で定義されているユーザーではなく、ローカルのシステム上で定義されているユーザーである必要があります。ライセンス マネージャーは、ネットワーク ユーザーが使用可能になる前に、起動プロセス中にユーザー名がコンピューター内で検出された場合にのみ正常に起動します。

Windows システム

Windows システムのライセンス マネージャーは次の方法を使用して起動できます。

- ・ インストール中にライセンス マネージャーをサービスとして設定した場合は、Windows の [サービス] コントロール パネルを使用してライセンス マネージャーの起動または停止を行います。Windows の [スタート] メニューから、[設定]、[コントロール パネル]、[管理ツール]、[サービス] を選択します。
- ・ ライセンス管理ユーティリティ lmtools.exe を使用します。このユーティリティは、MATLAB インストールの matlabroot\etc\\$ARCH フォルダー (\$ARCH はプラットフォーム固有の

サブフォルダー)に含まれています。lmtools.exe アプリケーションを起動し、[Start/Stop/Reread] タブを選択します。

Linux および Mac OS X システム

ライセンス マネージャー デーモンを Linux システムまたは Mac OS X システムで起動するには、matlabroot/etc フォルダー内の lmstart スクリプトを実行します。ここで、matlabroot は最上位の MATLAB インストール フォルダーの名前です。lmstart スクリプトは、現在実行されているデーモンをすべて停止し、新しいデーモンを起動します。

Mac OS X システムで lmstart を実行するには、/Applications/Utilities 内の Terminal アプリケーションを使用してターミナル ウィンドウを開き、MATLAB インストール フォルダーの /etc フォルダーに移動します。

```
cd /Applications/MATLAB_R2015b.app/etc
```

メモ: ルート以外のユーザーは、lmstart スクリプトを実行してください。ルート権限を必要としないプログラムをルートとして実行すると、セキュリティ上のリスクがあるためです。ライセンス マネージャー (lmgrd) はルート権限を必要としません。ライセンス マネージャーをルートとして起動する必要がある場合は、su コマンドを使用して非権限ユーザーとして lmgrd を起動します。

```
su username -c "lmgrd -c license_file -l /var/tmp/LM_TMW.log"  
ここで、username は非権限ユーザーです。
```

Linux システムでライセンス マネージャーを自動的に起動するための設定

Linux システムでの起動時にライセンス マネージャーが自動的に起動するように設定するには、使用している Linux ディストリビューションの標準的な自動サービス起動方法を使用します。

lmboot_TMW サービスを -u username オプションで開始します。ここで、username はルート以外の有効なユーザー名を示します。セキュリティ上の理由により、スーパーユーザーをライセンス マネージャー デーモンの所有者にはできません。

ライセンス マネージャーがシステム起動シーケンスの最後に開始することを確認します。ライセンス マネージャーを正しく起動するには、ネットワークが既に実行されていなければなりません。使用している Linux のバージョンに備わっているメカニズムを使用して、起動シーケンスを設定します。

ライセンス マネージャーの管理

この節では、ライセンス マネージャーの管理に使用できる、FlexNet のライセンスによって提供されるいくつかのユーティリティについて説明します。これらユーティリティの詳細は、MATLAB のインストールに付属している PDF 形式の『ライセンス管理ガイド』(matlabroot\etc\LicenseAdministration.pdf) を参照してください。

- ・ 「LMTOOLS の使用 (Windows システムのみ)」(p. 3-62)
- ・ 「ライセンス マネージャーのコマンド ライン ユーティリティの使用」(p. 3-63)

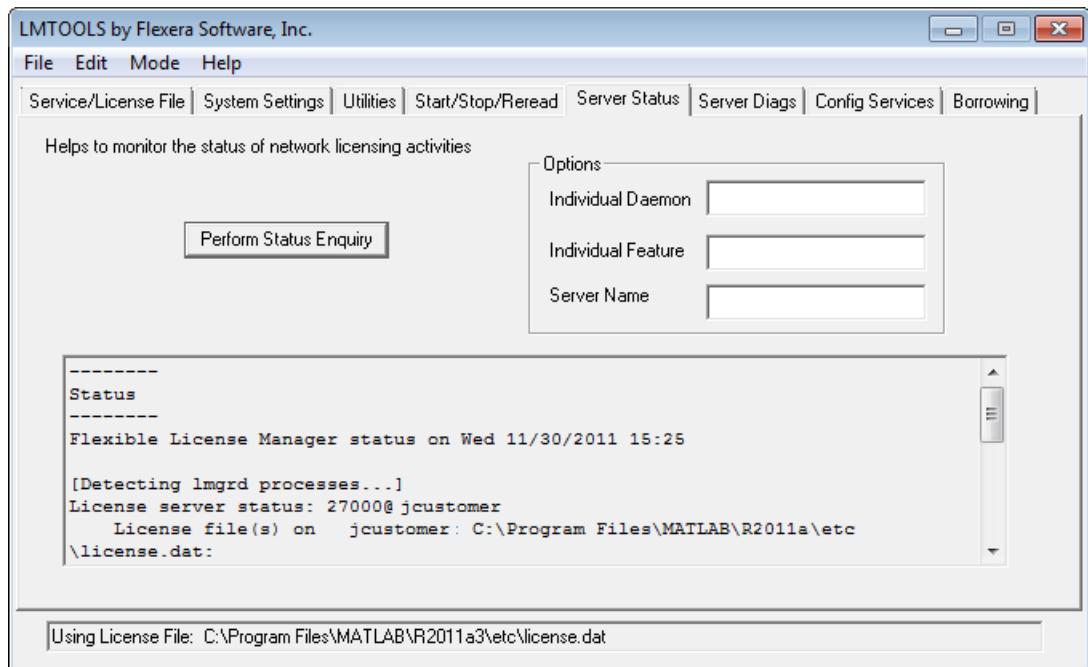
LMTOOLS の使用 (Windows システムのみ)

Windows システムでは、FlexNet Publisher ライセンスに LMTOOLS というツールが含まれています。LMTOOLS を使用すると、次のような数多くのライセンス管理タスクを実行できます。

- ・ ライセンス マネージャーのステータスの取得
- ・ ライセンス マネージャーの起動と停止
- ・ ライセンス マネージャーをサービスとして設定

以下の例では、LMTOOLS を使用して、ライセンス マネージャーの現在の状態を確認する方法を説明します。

- 1 matlabroot\etc\\$ARCH フォルダーにある lmtools.exe ファイルをダブルクリックして、LMTOOLS を起動します。ここで、matlabroot は MATLAB インストール フォルダー、\$ARCH は win64 などのプラットフォーム固有のサブフォルダーです。
- 2 [Server Status] タブをクリックします。
- 3 [Perform Status Enquiry] ボタンをクリックします。LMTOOLS によって、コマンド lmutil lmstat -a を入力したときと同じ情報が表示されます。



ライセンス マネージャーのコマンド ライン ユーティリティの使用

FlexNet ライセンスには、ライセンス マネージャーの起動、停止、および監視に使用できる一連のライセンス管理ユーティリティが含まれています。

Windows システムでは FlexNet によって、lmutil.exe と呼ばれる単一のコマンド ライン実行可能ファイルにすべてのユーティリティがパッケージ化されます。このプログラムは matlabroot\etc\\$ARCH フォルダーに含まれています。ここで、matlabroot は MATLAB をインストールしたフォルダーで、\$ARCH は win64 などのプラットフォーム固有のサブフォルダーです。たとえば、ライセンス マネージャーの状態チェックを実行するには、DOS コマンド ウィンドウを開き、lmstat を引数として指定して lmutil を実行します。

```
lmutil lmstat -a -c "C:\Program Files\MATLAB\R2015b\etc\license.dat"
```

-a オプションを指定すると、詳細なリストが表示されます。-c オプションを含めて、使用するライセンス ファイルを指定する必要があります。このオプションは、lmutil オプションを指定するときに必ず使用しなければなりません。インストールのパスがスペースを含む場合は、パスを引用符で囲んでください。以下は、返された情報の一部を示したものです。

3 ネットワークライセンスオプションのインストール

```
lmutil - Copyright (c) 1989-2014 Flexera Software Inc. All Rights Reserved.  
Flexible License Manager status on Tue 11/5/2014 10:11  
  
[Detecting lmgrd processes...]  
License server status: 27000@ah-jcustomer  
License File(s) on customerj: C:\Program Files\MATLAB\R2015b\etc\license.dat:  
  
customerj: license server UP (MASTER) v.11.9  
  
Vendor daemon status (on ah-jcustomer):  
  
MLM: UP v11.9  
  
Feature usage info:  
  
Users of MATLAB: (Total of 5 licenses available)  
Users of SIMULINK: (Total of 5 licenses available)  
Users of Control_Toolbox: (Total of 5 licenses available)  
Users of Identification_Toolbox: (Total of 5 licenses available).
```

lmutil パッケージ内の全ユーティリティの一覧を表示するには、次のように入力します。

```
lmutil -h
```

特定のユーティリティのヘルプを取得するには、次に示すように、-h オプションを使用してユーティリティ名を入力します。

```
lmutil lmstat -h
```

Linux および Mac OS X システムでは、これらのライセンス管理ユーティリティは個別の実行可能ファイルの形式で matlabroot/etc フォルダーに含まれています。たとえば、ライセンスマネージャーの状態を表示するには、次のように lmstat ユーティリティを使用します。

```
lmstat -a
```

```
lmutil - Copyright (c) 1989-2014 Flexera Software Inc. All Rights Reserved.  
Flexible License Manager status on Thur 11/5/2015 10:11
```

```
License server status: 27000@ah-jcustomer  
License File(s) on customerj: /user/local/MATLAB/R2015b/etc/license.dat:  
  
customerj: license server UP (MASTER) v.11.9  
  
Vendor daemon status (on customerj):  
  
MLM: UP v11.9  
  
Feature usage info:
```

```
Users of MATLAB: (Total of 5 licenses available)
```

```
Users of SIMULINK: (Total of 5 licenses available)
```

特定のユーティリティのヘルプを取得するには、次のように -h オプションを使用します。

```
lmstat -h
```

次の表には、最も役立つライセンス管理ツールの名前が一覧表示されています。

ユーティリティ	説明
lmdiag	ライセンス チェックアウトの問題を診断します。
lmdown	ライセンス サーバー ノードにおけるすべてのライセンス デーモン (lmgrd とすべてのベンダー デーモン) をシャットダウンします。
lmhostid	システムのホスト ID を報告します。
lmreread	ライセンス マネージャー デーモンがライセンス ファイルの再読み取りを行い、任意の新しいベンダー デーモンを起動するようにします。 メモ: lmreread を使用してユーザーベース ライセンスのライセンス ファイルを再処理する場合、関連する FlexNet オプション ファイルにおける INCLUDE ステートメントへの変更は、15 分遅れで有効となります。
lmstat	すべてのネットワーク ライセンス アクティビティの状態を表示します。
lmswitchr	レポート ログ ファイルを切り替えます。
lmver	ライブラリまたはバイナリ ファイルのバージョンを確認します。

非対話モードのインストール(サイレントインストール)

この節の内容...

「非対話モードのインストールを使用する状況」(p. 3-66)

「インストーラー プロパティファイルの使用」(p. 3-66)

非対話モードのインストールを使用する状況

メモ: 非対話モードでの MATLAB インストールの削除(アンインストール)の詳細は、「非対話モードでのアンインストール」(p. 3-68)を参照してください。

MATLAB ソフトウェアのインストールを多数回実行する必要があり、各インストールで入力する情報が同じである場合、この情報をプロパティファイルに設定して、MathWorks インストーラーを非対話モードで実行することができます。プロパティファイルはインストーラーの起動時にコマンド ラインで指定します。このファイルは、通常であればインストーラーのダイアログ ボックスで対話的に指定する情報をインストーラーに与えます。非対話モードのインストール(サイレントインストールとも呼ばれます)では、時間を節約し、間違いを防ぐことができます。

インストーラー プロパティファイルの使用

メモ: インストーラー プロパティファイルを使用するには、ファイル インストール キーが必要です。

インストーラーを非対話モードで実行するには、次の手順に従います。

- 1 インストーラー プロパティファイルを作成します。

`installer_input.txt` という名前のインストーラー プロパティファイルのテンプレートのコピーを作成します。このファイルは、MathWorks DVD の最上位レベルのフォルダーか、ソフトウェアをダウンロードしたフォルダーの最上位レベルに含まれています(通常 C:\Users\user\AppData\Local\Temp\mathworks_downloads)。

- 2 任意のテキストエディターを使用してインストーラー プロパティファイルを開き、指定されているすべてのパラメーターの値を入力します。たとえば、製品をインストールする場所を指定するには、`destinationFolder=` パラメーターの値にインストール フォルダーの絶対パスを設定します。

```
destinationFolder=C:\Program Files\MATLAB\R2015b
```

インストーラー プロパティ ファイルのテンプレートには、各パラメーターの説明が有効な値と共に含まれています。ファイル インストール キーを fileInstallationKey= パラメーターの値として指定します。

- 3 ファイルへの変更を保存します。
- 4 -inputFile オプションを使用してインストーラーを起動し、インストーラー プロパティ ファイルの絶対パスをコマンド ライン引数として指定します。

たとえば、Windows システムでは [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] オプションを選択します。[ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックスに次のように入力します。

```
setup.exe -inputFile C:\temp\my_installer_input.txt
```

Linux および Mac OS X システムでインストーラー プロパティ ファイルを指定する方法の詳細は、インストーラー プロパティ ファイルのテンプレートに含まれている手順を参照してください。

非対話モードでのアンインストール

メモ: 非対話モードでの MATLAB のインストールの詳細は、「非対話モードのインストール (サイレントインストール)」(p. 3-66)を参照してください。

インストーラーを非対話モードで実行するには、次の手順に従います。

- 1 アンインストーラーのプロパティファイルを作成します。

MATLAB インストール フォルダーの `uninstall` フォルダーに `uninstaller_input.txt` という名前のアンインストーラー プロパティ ファイルのテンプレートがあります。このファイルをコピーします。たとえば、Windows システムでは次のコマンドを実行します。

```
copy matlabroot\uninstall\uninstaller_input.txt C:\temp\my_uninstall.txt
```

- 2 任意のテキストエディターを使用してアンインストーラー プロパティ ファイルを開き、指定されているすべてのパラメーターの値を入力します。たとえば、`outputFile=` パラメーターを使用して、出力ログ ファイルの名前を指定できます。テンプレートには、各パラメーターの詳細な説明が例と共に含まれています。

既定では、アンインストーラーによって特定の MATLAB インストール内の製品がすべてアンインストールされますが、アンインストールする製品を指定することもできます。テンプレートの製品一覧で、製品名の先頭にあるコメント文字を削除します。サイレントモードでは、インストールされている製品以外の製品を削除の対象として指定した場合、アンインストーラーは終了し、ログ ファイルにメッセージが書き込まれます。`mode=automated` を指定した場合、アンインストーラーは [製品選択] ダイアログ ボックスを表示し、製品選択を調整できるように一時停止します。

- 3 ファイルへの変更を保存します。
- 4 コマンドラインの引数としてプロパティ ファイルを指定する `-inputFile` フラグを使用して、アンインストーラー (`uninstall.exe`) を実行します。

たとえば、[スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] オプションを選択します。[実行] ダイアログ ボックスで、コマンド `uninstall` を入力し、プロパティ ファイルの絶対パスをコマンド ライン引数として指定します。

```
uninstall.exe -inputFile C:\temp\my_uninstall.txt
```

トラブルシューティング

このトピックでは、MathWorks ソフトウェアをインストールする際に発生する可能性のある、一般的な問題の解決に役立つ情報を提供します。

- ・「インストール中の問題」(p. 4-2)
- ・「インストール後の問題」(p. 4-5)

自分の問題に該当する説明が見つからない場合は、MathWorks 製品に付属の MATLAB の『リリース ノート』を参照してください。このドキュメントには、製品やインストールの手順に関する最新情報が掲載されています。インストールのトラブルシューティングに関する情報は、MathWorks Web サイトのサポート ページ (www.mathworks.co.jp/support/) でもご利用いただけます。

インストール中の問題

この節の内容...

- 「インストーラーが自動的に起動しない」(p. 4-2)
- 「製品の依存関係のメッセージが表示される理由」(p. 4-2)
- 「プロキシ サーバーの設定を指定する方法」(p. 4-2)
- 「MathWorks アカウントなしでアクティベーションを行う方法」(p. 4-3)

メモ: インストーラーが反応しなくなった場合は、システムで実行中のウイルス対策ソフトウェアをオフにして、インストーラーを再起動することを検討してください。

インストーラーが自動的に起動しない

MathWorks DVD を DVD ドライブに挿入するか、MathWorks Web サイトからダウンロードしたインストーラー ファイルをダブルクリックすると、インストーラーが自動的に起動します。

インストーラーが起動しない場合は、Microsoft Windows のエクスプローラー ウィンドウを開き、DVD ドライブを選択して、最上位フォルダーにある setup.exe プログラムをダブルクリックします。

製品の依存関係のメッセージが表示される理由

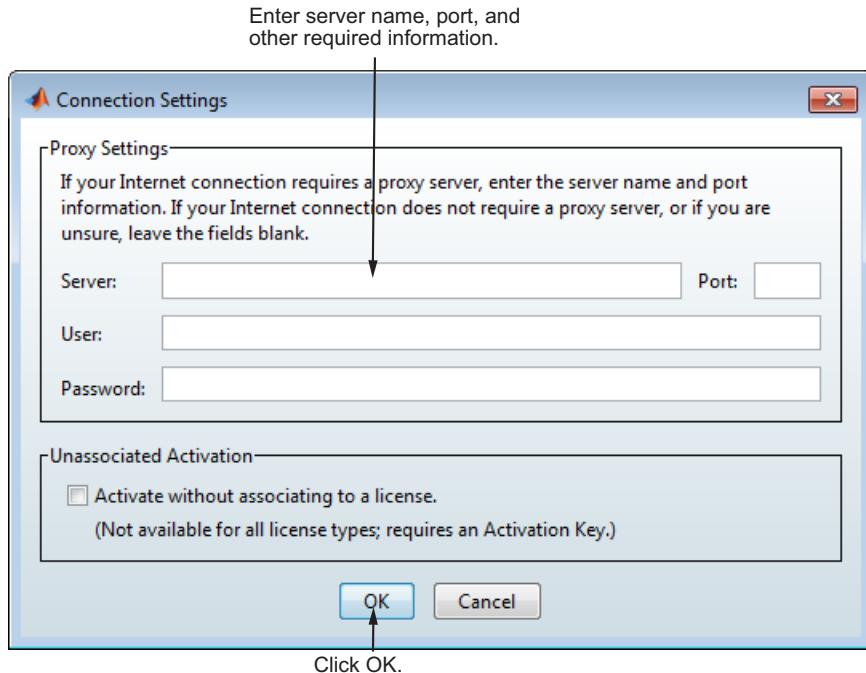
[製品選択] ダイアログ ボックスで [次へ] をクリックすると、インストールに選択した製品の一部が、選択しなかった他の製品に依存していることを警告するメッセージが表示されることがあります。メッセージを閉じてインストールを続行するには、[OK] をクリックします。カスタム インストールで製品の選択を変更する場合は、[キャンセル] をクリックします。

プロキシ サーバーの設定を指定する方法

インターネット接続にプロキシ サーバーが必要な場合、インストール プロセスまたはアクティベーション プロセスの開始時に、プロキシ サーバーのサーバー名、ポートおよびパスワードを入力できます。MathWorks では、いくつかの種類のプロキシ設定をサポートしています。基本認証、ダイジェスト認証などです。

インストール中にプロキシ情報を指定するには、インストーラーで最初に表示されるダイアログ ボックスの [接続設定] をクリックします。アクティベーション中にプロキシ情報を指定するには、アクティベーション アプリケーションで最初に表示されるダイアログ ボックスの [詳細オプション] をクリックし

ます（非関連付アクティベーションの詳細は、「MathWorks アカウントなしでアクティベーションを行う方法」(p. 4-3)を参照してください）。



MathWorks アカウントなしでアクティベーションを行う方法

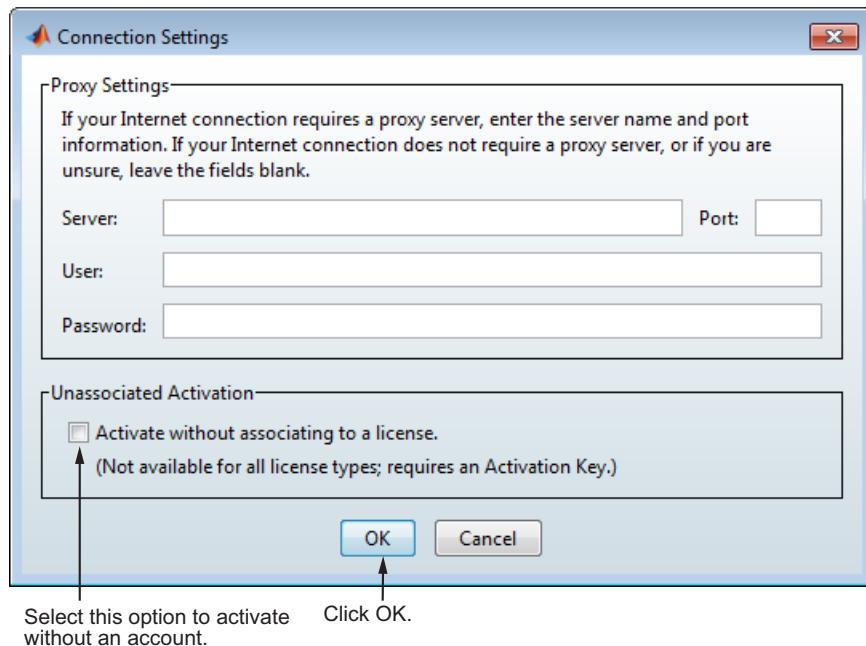
MathWorks アカウントがあると便利ですが、アカウントがなくても MathWorks ソフトウェアをインストールして実行できます。たとえば、環境によっては、特定のユーザーがセキュリティ上の理由でアカウントを作成できないことがあります。

MathWorks アカウントの情報を入力せずにアクティベーションを行うには、次の手順に従います。

- 1 インストールするライセンスのファイル インストール キーを取得します。ライセンス管理者は、このキーを MathWorks ライセンス センターから入手することができます。
- 2 MathWorks インストーラーを起動します。DVD を DVD ドライブに挿入すると、インストーラーは自動的に起動します。
- 3 [ファイル インストール キーを使用する] オプションを選択します。
- 4 インストールが終了し、インストーラーに [インストールの完了] ダイアログボックスが表示されたら、[MATLAB のアクティベーション] オプションを選択した状態で、[次へ] をクリックします。

5 [MathWorks ソフトウェアのアクティベーション] ダイアログ ボックスで、以下の操作を行います。

- ・ [インターネットを使って自動的にアクティベーションを行う] を選択します。非関連付アクティベーションを行うには、インターネットを使用しなければなりません。
- ・ [詳細オプション] をクリックします。[詳細オプション] ダイアログ ボックスで [ライセンスに関連付けずにアクティベーションを行います] オプションを選択し、[OK] をクリックします。



- ・ [MathWorks ソフトウェアのアクティベーション] ダイアログ ボックスに戻ったら、[次へ] をクリックします。

6 [アクティベーションキー] ダイアログ ボックスで、アクティベーション キーを入力し、[次へ] をクリックします。アカウントにログインしていないので、アクティベーション キーを入力してライセンスを特定しなければなりません。

メモ: 非関連付アクティベーションで利用可能なアクティベーションの種類は、[コンピューター指定] のみです。

7 [アクティベーション] をクリックします。

インストール後の問題

インストールが正常に完了した後、MATLAB ソフトウェアの起動に問題が生じる場合があります。

ライセンス マネージャーでエラーが発生する意味

インストール後の MATLAB ソフトウェアの起動に関する問題は、多くの場合、MathWorks 製品で使用される FLEXnet® ライセンス マネージャーが原因で発生しています。問題が発生すると、ライセンス マネージャーによって画面のウィンドウにエラー メッセージが表示され、このメッセージが matlabroot\etc\\$ARCH フォルダー内の FlexNet ログ ファイル、lmlog.txt に書き込まれます。エラー メッセージを確認します。エラー メッセージでは問題解決の手がかりになる情報が提供されています。ライセンス マネージャーのログ ファイルの表示は、「ライセンス マネージャーの管理」(p. 3-62)を参照してください。

特定のエラーメッセージに関する診断情報の検索

- 1 MathWorks Web サイトのインストール ヘルプのサポート ページ (<http://www.mathworks.co.jp/support/install>) を開きます。
- 2 エラー メッセージを検索します。

ライセンス マネージャーのエラー メッセージについての詳細は、FlexNet Publisher Licensing Toolkit の『ライセンス管理ガイド』でも、PDF 形式での入手が可能です (matlabroot\etc\LicenseAdministration.pdf)。

ライセンス マネージャー デーモンへのアクセスを許可する方法

セキュリティ ファイアウォールで保護されているサーバー上でライセンス マネージャーを実行する場合、クライアント インストールがライセンス マネージャー デーモンと通信できるように、ファイアウォールを開きます。これらのデーモンの詳細は、『ライセンス管理ガイド』を参照してください。

ライセンス マネージャー デーモンへのアクセスの許可

ファイアウォール プログラムで提供されているインターフェイスを使用して、ライセンス マネージャー デーモンに対してポート 27000 でのアクセスを許可します。このポートは、ライセンス マネージャーとの通信に使用される既定のポートです。このポート番号を変更した場合は、環境で使用しているポート番号を指定します。ライセンス マネージャー デーモンのポート番号の指定についての詳細は、『ライセンス管理ガイド』を参照してください。

ベンダー デーモンへのアクセスの許可

ベンダー デーモンで使用されるポートは、動的に割り当てられます。ファイアウォールでベンダー デーモンへのアクセスを許可するには、この動的なポート番号の割り当てを使用する代わりに、ベンダー デーモンとの通信用ポートを割り当てます。次に、ファイアウォールで割り当てたポート番号へのアクセスを許可します。

ベンダー デーモンのポート番号を指定するには、ライセンス サーバー上のライセンス ファイルを編集して、DAEMON 行に port=<構文>を追加します。ベンダー デーモンのポート番号の指定についての詳細は、『ライセンス管理ガイド』を参照してください。